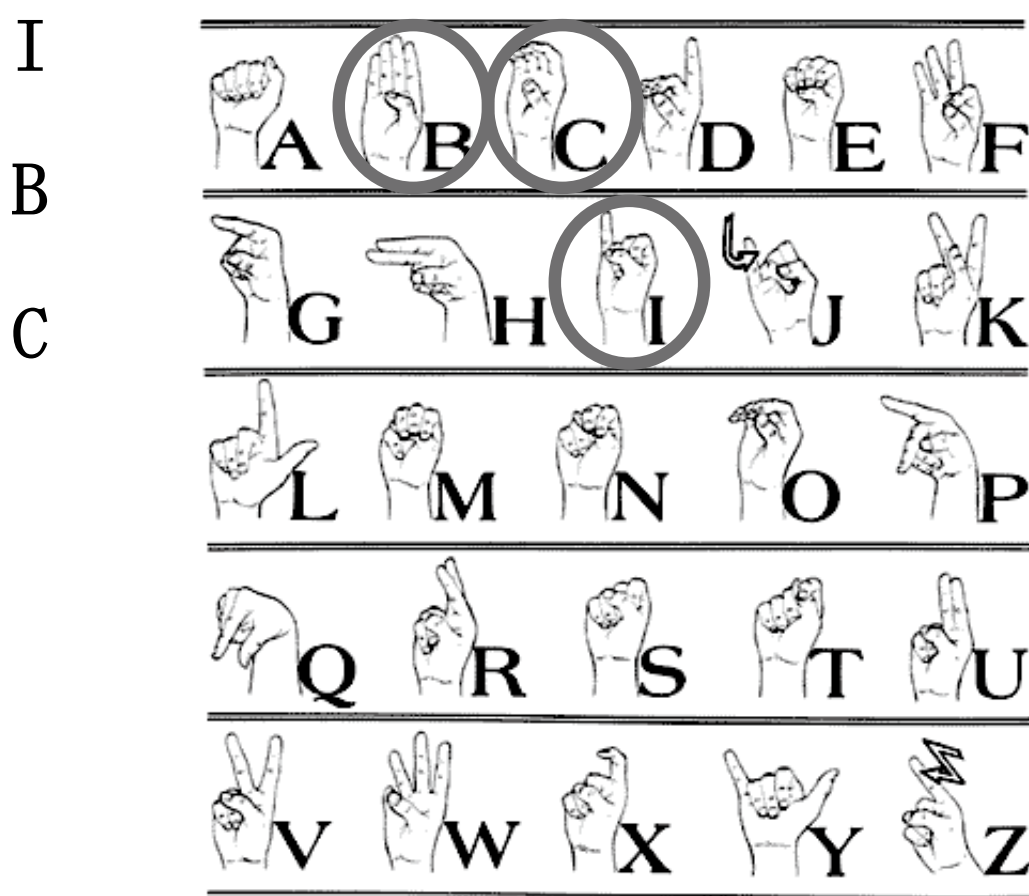


2016年度 前期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通・・・・・・・・・・・・・・・・P1～20

ホテル・ブライダル・・・・・・・・P21～62

トラベル・鉄道・・・・・・・・P63～116

エアライン・エアポート・・・・P117～148

夜間総合観光・・・・・・・・P149～164

共通科目

(語学関連、ビジネス・マナー関連、
就職関連・教養科目等)

共通

学年	科目名	クラス	ページ
1	英検対策Ⅰ	AHKMOVZ	1
1	英検対策Ⅱ①	OV ①	2
1	英検対策Ⅱ②	OV ②	3
1	英検対策Ⅱ③	OV ③	4
1	オーラルイングリッシュ	KOV	5
1	ビジネス検定ジョブパス対策(3級)	AKMOVZ	6
1	コンピューター	全科共通	7
1	SPI非言語対策	全科共通(鉄道科を除く)	8
1	SPI言語対策	全科共通(鉄道科を除く)	9
1、2	韓国語	EINWKO	10
2	韓国語	LQR	11
2	中国語	EINWKO	12
2	中国語	LQR	13
2	英検対策	EILQRW	14
2	TOEIC対策	EILQRW	15
2	観光英語	QRW	16
2	面接対策	E1・E2・QR①・QR②・QR③・ N1・N2・Wクラス	17
2	コンピューター	LQRWNY	18
2	SPI非言語対策	全科共通(鉄道科を除く)	19
2	SPI言語対策	全科共通(鉄道科を除く)	20

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル・プライダル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート・夜間総合観光科	
科目名	英検対策Ⅰ		担当講師	内川・挽田・中牟田・平島
到達目標				
2016年度第1回英語検定において、各クラスの目標とする級を取得し、実用英語運用能力を身に付ける。				
* 各クラスの習熟度等により、シラバスの進捗とは異なる場合があります。				
使 用 テキスト				
英検過去問題集(旺文社)				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験70%・平常点(小テスト等)20%・検定得点10%				

	テーマ	授業内容
第1週	イントロダクション	授業や評価方法についてのオリエンテーション等
第2週	語彙・文法・リスニング対策	語彙力の強化を図る 文法力の強化を図る リスニング力の強化を図る
第3週	語彙・文法・リスニング対策	語彙力の強化を図る 文法力の強化を図る リスニング力の強化を図る
第4週	語彙・文法・リスニング対策	語彙力の強化を図る 文法力の強化を図る リスニング力の強化を図る
第5週	語彙・文法・リスニング対策	語彙力の強化を図る 文法力の強化を図る リスニング力の強化を図る
第6週	語彙・文法・リスニング対策	語彙力の強化を図る 文法力の強化を図る リスニング力の強化を図る
第7週	語彙・文法・リスニング対策	語彙力の強化を図る 文法力の強化を図る リスニング力の強化を図る
第8週	第1回一次試験問題の解説及び自己採点	各自試験問題に必ず解答を記入し、自己採点する 一次試験の解答・解説 二次試験の概要について
第9週	二次試験対策	二次試験対策(全体 / 個別)
第10週	期末試験対策	学習内容の復習 期末試験に向けて重要事項の再確認をする 質問を通して、各自弱点の克服を図る
第11週	語彙・文法・リスニング対策	期末試験の返却・解説 語彙力の強化を図る 文法力の強化を図る リスニング力の強化を図る
第12週	前期総括	前期授業の総括

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	OV ① クラス
科目名	英検対策Ⅱ①		担当講師	挽田雅子
到達目標				
英文法の基礎を学び、英検の問題を解く力をつける。 なぜその答えになるのかという理屈を納得することで、簡単には忘れない文法理解をする。				
使 用 テキスト				
入門英文法 問題精講				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 学期末試験80% 平常点20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 基本の整理 主語、述語
第2週	1. 動詞と文型	自動詞と他動詞 動詞と名詞の関係 英語では他動詞
第3週	1. 動詞と文型	文型 補語になる品詞 練習問題
第4週	2. 時制	未来のことを現在形で表す 過去完了形 練習問題
第5週	3. 助動詞	助動詞のさまざまな意味 can would と used to
第6週	3. 助動詞	shall と should may might 助動詞+have done
第7週	4. 疑問文	付加疑問文 間接疑問文 語順整序
第8週	5. 受動態	能動態と受動態 時制と受動態 助動詞つきの受動態
第9週	5. 受動態	動詞表現の受動態 受動態を用いた熟語 語順整序
第10週	6. 不定詞	名詞用法 形容詞用法 副詞用法 仮主語のit 動詞+to do 動詞+～ing
第11週	6. 不定詞	仮目的語のit seem to do 不定詞の否定形 進行形 受け身
第12週	総復習	前期のまとめ 期末試験のフィードバック

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン・エアポート科	OV②クラス
科目名	英検対策Ⅱ②		担当講師	日高 郁子
到達目標 ・中学1年生からの英語を総復習。基本的な文法を徹底的に復習し基礎力を身につけ、英検3級、準2級合格を目指す。 *講師独自のプリントなどを用意することも多くシラバスどおりに進まないこともあります。				
使 用 テキスト 中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく（Gakken）				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ※成績は平常点30% 期末テスト70% で評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週	主語と動詞 Be動詞	英語の文の構造を覚える。主語、動詞の区別 Be動詞と一般動詞の区別
第2週	Be動詞	Be動詞の肯定文、疑問文、否定文の作り方。 Be動詞総復習
第3週	一般動詞	よく使う動詞を覚えよう 一般動詞の肯定文（主語が、I you 複数の場合） 疑問文、否定文
第4週	一般動詞	一般動詞の肯定文（主語が、3人称単数の場合） 疑問文、否定文
第5週	代名詞	主格、所有格、目的格、所有代名詞
第6週	疑問詞	what, where, who, when, why, how などの疑問詞の使い方、答え方
第7週	現在進行形	Be+ing の文章の作り方、肯定文、否定文
第8週	過去形	過去形の動詞の変化を覚える 肯定文、疑問文、否定文
第9週	未来形	be going to / will
第10週	助動詞	can,must, should, may など助動詞の意味、使い方
第11週	命令文	命令文、否定命令文の作り方
第12週	総復習	前期の総復習

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	全学科	OV③クラス
科目名	英検対策Ⅱ③		担当講師	羽矢 茂
【到達目標】 ①コミュニケーションの手段として英語が楽しいと感じられること。 ②次のステップに進むための基礎的な英文法と英語の総合力を身に着ける。				
使 用 テキスト: ①総合英語「One」				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度、提出物、ミニテストなど平常点20%＋期末テストを80%で評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週 4/12(火)	単語(品詞)の種類	・授業の進め方、期末試験、評価方法の説明 ・「単語の種類」名詞・動詞(be動詞・一般動詞)・補語・副詞 ・確認小テスト P.18-92
第2週 4/19(火)	文の種類	・「文の種類」肯定文・否定文・疑問文・命令文・文型」 ・確認小テスト P.93-122
第3週 4/26(火)	時制	・「時制」現在・過去・未来・進行形・未来形 ・確認小テスト P.123-142 ・3級練習問題
第4週 5/10(火)	完了形	・「完了形」現在完了・過去完了・未来完了形 ・確認小テスト P.143-164 ・3級練習問題
第5週 5/17(火)	助動詞	・「助動詞」can/be able to/may/will/had better など。 ・確認小テスト P.165-202 ・3級練習問題
第6週 5/24(火)	受動態	・「受動態」 ・確認小テスト P.203-220 ・3級練習問題
第7週 5/31(火)	不定詞	・「不定詞」 ・確認小テスト P.221-252 ・3級練習問題
第8週 6/7(火)	動名詞	・「動名詞」 ・確認小テスト P.253-268 ・3級練習問題
第9週 6/14(火)	分詞	・「分詞」 ・文法解説(関係副詞) ・練習問題 P.269-290
第10週 6/21(火)	前期総復習	・前期総復習 ・期末試験対策 ・3級練習問題
第11週 7/5(火)	関係代名詞	・「関係代名詞・関係副詞」 ・確認小テスト P.291-327 ・3級練習問題
第12週 7/12(火)	関係副詞	・「関係副詞」 ・確認小テスト P.291-327 ・3級練習問題

6月4日(土) 英検1次試験

7月3日(日) 英検2次試験

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	トラベル・エアライン エアポート科	KOVクラス
科目名	オーラルイングリッシュ		担当講師	ジェフリー、マリア、内田、グスマン
到達目標				
To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially.				
To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
Eg: Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner.				
Practicing role plays. Understanding various culture points.				
使 用 テキスト				
Challenge Book #4				
Little America Young Adults' Dialog Book Nishitetsu International Business College				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
Class work and attitude(50%), Oral Test (50%)				

	テーマ	授業内容
第1週	前期オリエンテーション Challenge Book #4 P7-8 Dialog Book P1-2	オリエンテーション: クラスルールの説明と確認 Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Role Play: Dialog 1 At the School Cafeteria 1
第2週	Challenge Book #4 P9 Dialog Book P3-4	Q&A: Personal Information Role Play: Dialog 2 At the School Cafeteria 2 Original Sentences: Do you want to _____? , etc.
第3週	Challenge Book #4 P10 Dialog Book P5-6	Presentation: Introducing a Friend Role Play: Dialog 3 At the School Cafeteria 3 Original Sentences: I _____ yesterday. , etc.
第4週	Challenge Book #4 P11 Dialog Book P7-8	Q&A: Family Test Role Play: Dialog 4 At the Library 1 Original Sentences: Let me _____, etc.
第5週	Challenge Book #4 P12 Dialog Book P9-10	Presentation: My Family Presentation Role Play: Dialog 5 In the Hallway 1 Original Sentences: I hope _____, etc.
第6週	Challenge Book #4 P13 Dialog Book P11-12	Q&A: Sports Interview Role Play: Dialog 6 In the Classroom 1 Original Sentences: I usually _____, etc.
第7週	Challenge Book #4 P14 Dialog Book P13-14	Presentation: My Favorite Sport Role Play: Dialog 7 In the Classroom 2 Original Sentences: Can you _____? , etc.
第8週	Challenge Book #4 P15 Dialog Book P15-16	Q&A: Cuisine Interview Role Play: Dialog 8 In the Classroom 3 Original Sentences: I'm going to _____ this weekend. , etc.
第9週	Challenge Book #4 P16 Dialog Book P17-18	Presentation: My Favorite Restaurant Role Play: Dialog 9 In the Classroom 4 Original Sentences: _____ because _____, etc.
第10週	Challenge Book #4 P17-18 Dialog Book P19-20	Review & Culture Point: Shaking Hands Role Play: Dialog 10 At the School Cafeteria 4 Original Sentences: How long did it take to _____? , etc.
第11週	Oral Test	Teacher will choose 1 challenge which students have already learned from the Challenge Book.
第12週	Oral Test (If not finished) Challenge Book #4 P21 Dialog Book P21-22	Q&A: School Memory Lane Role Play: Dialog 11 At a Department Store 1 Original Sentences: May I _____? , etc.

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科を除く全科	AKMOVZクラス
科目名	ビジネス検定ジョブパス対策(3級)	担当講師	徳永・石田・榎本・田中・池田	
到達目標				
・ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す(12月受験)				
・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。				
・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ				
使 用 テキスト				
・ビジネス能力検定 3級テキスト 2016年度版				
・問題プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験 60%				
平常点 40%(出席率・課題)				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業内容、成績評価方法
第2週	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ 第2章 仕事の基本となる8つの意識
第3週	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事時のマナー
第4週	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談
第5週	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性
第6週	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客対応と訪問の基本マナー 第7章 会社関係での付き合い
第7週	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本
第8週	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話対応
第9週	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方 第5章 情報収集とメディアの活用 ・ビジネス用語
第10週	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用 ・ビジネス用語
第11週	復習	前期の補足説明 質疑応答
第12週	復習	前期の補足説明 質疑応答

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	全科共通	全科共通
科目名	コンピュータ		担当講師	乙咩 清美 / 原 加代子
到達目標				
Microsoft Wordの基礎知識の習得				
Microsoft Excelの基礎知識を学び、ICT表計算技能標準試験3級レベルの技術を習得する				
Windows ムービーメーカーの基本操作の習得				
使 用 テキスト				
ICT表計算技能標準試験過去問題集				
タイピング問題・Word・Excel基礎問題プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点20%・期末試験80%				
※評価の基準点は便覧を参照のこと				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作 タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力
第2週	Word基礎	タイピング練習 シンプルな社内文書作成 ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け・切取線など)
第3週	Word基礎	タイピング練習 表を含むビジネス文書作成 ※表作成、ビジネス文書の基本など
第4週	Word基礎	タイピング練習 画像などを含む文書作成 ※クリップアート、ワードアート、ページ罫線など
第5週	ムービーメーカー	タイピング練習 基本操作の習得 ※画面切替効果、BGMの挿入、テロップを付けるなど サンプルムービーの作成 題材「学校紹介」
第6週	ムービーメーカー	タイピング練習 各自でムービー作成
第7週	ムービーメーカー	タイピング練習 各自でムービー作成
第8週	Excel基礎	タイピング練習 Excelの画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレススン 計算式
第9週	Excel基礎	タイピング練習 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)
第10週	Excel基礎	タイピング練習 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める
第11週	Excel基礎	タイピング練習 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒、横棒、折れ線、円グラフ)
第12週	前期期末試験	前期期末試験実施

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	1年		対象クラス	全 科		全科共通(鉄道科を除く)
科目名	SPI非言語			担当講師	俣野・榎木田	
到達目標						
採用試験等を通して企業が共通して求める汎用的な知的能力である数的論理的リテラシーとロジックの演習講義を主眼とする。						
論理的な思考能力を養い						
四則演算能力の向上、図表の正確な解釈を実践する。数量的処理能力及び論理的思考を主体とする演習を行なう。						
各講座において数的能力、論理的処理能力の向上を図り、将来においても社会人の基礎力となりうる有用性を保つ講座を旨とする。						
使 用 テキスト						
SPI基本問題集(大和書房) ,他レジュメ等						
成績評価方法						
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
学期末テストを原則とするが、授業態度、出席率、小テストなどを考慮する場合もある						

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 基礎事項の確認	講義指針、内容等に関する事項 数的処理、判断推理分野における基礎事項の確認 企業活動での統計的な処理、数値管理などの重要性を説明する。
第2週	年齢算	年齢の推移を図表化、立式解法を目的とする。 年齢算について学習する。 方程式を用いて、解き理解を深める。
第3週	割合	SPI非言語分野で重要な割合を学習する。 問題を読み取り図表化、立式解法を目的とする。 濃度算などへの応用を理解し、方程式を用いて、解き理解を深める。
第4週	表の読み取り問題	図表の読み取りを基本として問題演習を実践する。 割合を求めたり、数値の取り得る範囲を求めたりして、 表から必要な情報を読み取り、整理、計算し理解を深める。
第5週	金銭の問題1	割合の考え方を基本として問題演習を実践する。 問題を読み取り図表化、立式解法を目的とする。 割引、割増の考え方を理解し、方程式を用いて、解き理解を深める。
第6週	金銭の問題2	割合の考え方を基本として問題演習を実践する。 問題を読み取り図表化、立式解法を目的とする。 割引、割増の考え方を理解し、方程式を用いて、解き理解を深める。
第7週	金銭の問題3	割合の考え方を基本として問題演習を実践する。 問題を読み取り図表化、立式解法を目的とする。 割引、割増の考え方を理解し、方程式を用いて、解き理解を深める。
第8週	速さ・時間・距離	速度、時間、距離の関係を図表化、立式解法を目的とする。 旅人算、通過算、流水算について学習する。 速度の単位量あたりの考えを用いて、数値化し理解を深める。
第9週	割合について 濃度算	全体・割合・比べられる量の関係について 図指、図表化による数式、解法手順を学習する。 数量関係を把握し、演算決定から柔軟に数的処理ができることを目的とする。
第10週	濃度算 損益算	全体・割合・比べられる量の関係について 図指、図表化による数式、解法手順を学習する 数量関係を把握し、演算決定から柔軟に数的処理ができることを目的とする。
第11週	損益算	原価・定価・売価・利益についての認識を深め、 図指、数式化、解法手順を学習する。 数量関係を把握し、演算決定から柔軟に数的処理ができることを目的とする。
第12週	損益算 前期総括	損益算における演習。 前期重要事項総括。

前期シラバス

2016年度		前期	
対象学年	1年	対象クラス	全クラス(鉄道科を除く)
科目名	SPI言語対策	担当講師	前田 恭子 ・ 山本 真美
到達目標 就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業。 SPI言語の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す。 同時に他の試験問題(時事問題、一般常識、適性検査など)にも対応できるよう実力を養成する。			
使 用 テキスト 一般常識チェック&マスター (実教出版株式会社) 一般常識&時事 一問一答 (高橋書店)			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 前期試験+提出物(宿題、課題など)+授業態度			

	テーマ	授業内容
第1週	目指せ『漢検二級』	授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定 / 模擬試験 (合格している級より上の級の問題を解く) (6/17校内で実施される漢字検定に向けての準備 / 任意受験)
第2週	全国制覇を目指せ！	日本の白地図を使用して県名を確認する。 うろ覚えの知識を確かな知識に変える第一歩
第3週	世界地図を広げよう①	日本をおさえたら、次は世界。白地図で主要な国の位置と首都を把握。
第4週	世界地図を広げよう②	2週にわたり、世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします。
第5週	グローバル社会の住人①	『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ 1年に1回集まって地球の将来を決める？今年は日本の三重県・伊勢志摩での開催です。
第6週	グローバル社会の住人②	世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます。 中学・高校でも学んだILOやWHOの登場です。
第7週	グローバル社会の住人③	程よい付き合いは、人にとっても国にとっても重要。 国同士の『付き合い』を地域協定(EU・ASEANなど)を通して考えます。
第8週	あなたの『1票』は軽い？	国会議員の人数や任期を知ると共に国会の仕組みについて学びます。
第9週	裁判員裁判？って何？	裁判所について学びます。裁判員制度は聞いたことあるけど・・・？
第10週	循環する『お金』	銀行に預けたお金はどこへ行く？お金の流れを考え、『経済』をもっと身近に。
第11週	『おれ』は技術の結晶	偽れは国を揺るがす大犯罪。各国は国の威信をかけておれをつくります。 日本の技術を実際に肌で感じて、おれを通して経済に興味を持ちましょう。
第12週	前期 総復習 & 課題	前期試験の解説、前期試験問題からの発展問題に取り組む。 夏休みの課題説明。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年・2年	対象クラス	全科(夜間除く)	EINWKO クラス
科目名	韓国語		担当講師	宋 珉鎬 / 権 京愛
到達目標				
韓国語文字の仕組みと正しい発音を学び、読む、書く練習を重ね、ハングル文字が読める、書けるようになる。 また、授業関連の韓国文化を取り入れ楽しみながら、将来職場で活用できるように韓国語の基礎を自然に身に付けることを目標とする。				
ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名:鶴見ユミ 出版社:Jリサーチ出版				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 定期試験と平常点を総合的に評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	ORIENTATION・基本母音	韓国語の特徴を知ろう！ 基本母音を学び、書く練習をしながら覚える。 簡単な挨拶表現、教室用語を覚え、授業中に使えるように練習する。
第2週	基本子音と基本母音	基本子音を学んで、前回覚えた基本母音と組み合わせ、正しく発音ができるように練習を重ねる。 子音＋母音、関連単語の発音と書く練習する。
第3週	合成母音と練習問題	合成母音を学んで子音と組み合わせ、発音の練習と書く練習を重ねる。 子音＋合成母音、関連単語の練習をし、覚える。
第4週	激音、濃音の練習	激音、濃音を学び、発音の練習、書く練習をする。 激音＋母音の練習、関連単語を書く練習をしながら覚える。 小テスト1
第5週	パッチムの発音	代表的なパッチムの音の表記と関連単語を書く練習をしながら覚える。 二重パッチムの発音の仕方と関連単語を学び、しっかり発音できるように練習を重ねる。
第6週	存在	存在の表現「あります」、「います」を学び、テキストの文章を声を出して読む練習をする。 関連単語を覚え、会話の練習をする。
第7週	存在の否定	存在の否定の表現「ありません」、「いません」を学び、テキストの文章を声を出して読む練習をする。 買い物の表現を学び、会話の練習をする。 小テスト2
第8週	肯定・疑問と否定	肯定・疑問「～です、～ですか」と否定「～ではありません」の表現を学び、覚えるまで繰り返し練習を 韓国語で自己紹介したり、物を尋ねたりしながら会話の練習する。
第9週	疑問の尊敬と要求	疑問の尊敬「～でいらっしゃいますか？」と要求「ください」に当たる表現を学び、言えるまで練習を重ねる。 将来、職場で自然に尊敬語が使えるように身に付ける。
第10週	総まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。 文字が 読める、書けるようになっているかを確認しながら、復習する。 小テスト3
第11週	値段を尋ねる、漢数字	値段を尋ねる表現「いくらですか」と漢数字を学んで買い物ができるように覚える。 漢数字を使った価格の表現の仕方を学び、会話の練習をする。
第12週	韓国文化に触れる	期末テストの内容について詳しく復習をする。 韓国映画鑑賞を通し、韓国文化に触れ、後期もより楽しく韓国語の勉強が続けることができるようにする。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	トラベル、エアライン科	L QR クラス
科目名	韓国語		担当講師	宋 珉鎬 / 権 京愛
到達目標				
昨年度の引き続き、様々な場面で使える会話を身に付ける。 韓国文化を取り入れ、楽しみながら自然に言葉が身に付くことと将来職場で活用できることを目標とする。				
ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名:鶴見ユミ 出版社:Jリサーチ出版				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 定期試験と出席と平常点を総合的に評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	自己紹介と復習	韓国語で自己紹介をする。今まで習った学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特に忘れてしまったハングル文字があれば、復習をし、読める、書けるようにする。
第2週	人を尋ねる表現	「だれに会いますか?」「あの方はだれですか?」「だれと〜」「だれが〜」に当たる表現を学ぶ。 覚えるまで繰り返し、会話の練習をする。
第3週	理由を尋ねる表現	「どうして」に当たる疑問詞を使った表現を覚え、会話の練習をする。 「どうして遅れましたか?」「どうして韓国語を勉強していますか?」など、繰り返し会話の練習をする。 小テスト1
第4週	状態を尋ねる表現	「気分はどうですか?」「明日の天気はどうですか?」などに当たる表現を学び、会話の練習をする。 クラスメートと一緒に質問したり、答えたりしながら覚える
第5週	手段・方法を表す表現	「どうやって」「どのように」になど、方法を尋ねる時に用いる表現を身に付け、会話の練習をする。 クラスメートと一緒に質問したり、答えたりしながら覚える
第6週	良好を表す表現	「〜がいいです」「〜がいいですか?」 「〜はよくないです」に当たる表現を覚え、韓国旅行で買い物に使えるようにしっかり身に付ける。 小テスト2
第7週	好みを表す表現	「〜が好きです」「〜が嫌いです」に当たる表現を学ぶ。 特に韓国語の助詞に気を付けながら覚える。 会話の練習をする。
第8週	練習問題	テキストの練習問題を解きながら、まだ覚えきれない文法・表現などを復習する。 会話の練習をする。
第9週	韓国旅行に役立つ表現	韓国料理のメニューを覚え、レストランで注文したり料金を支払ったりする会話の練習をする。 道を尋ねたり切符を買ったりする表現を覚え、韓国旅行に役立つようにしっかり身に付ける。 小テスト3
第10週	総まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。 まだ理解できていない文法、表現などをしっかり復習し、覚える。
第11週	韓国文化に触れる	韓国映画鑑賞を通して、韓国文化に触れ、どれぐらい韓国語が聞き取れるか自分の実力を試してみる。 期末テストの内容を復習し、理解する。
第12週	韓国語ロールプレイ	趣味、家族関係などについて韓国語でクラスメートとロールプレイする。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1・2年	対象クラス	全科	KOEINWクラス
科目名	中国語	担当講師	青山 祐子	
到達目標 中国語の正確な発音、簡単な日常会話を習得し、中国と中国語についての初歩的な理解を目標とする。 また、業務上使える会話表現を学びながら、楽しい授業にすることを心がける。				
使 用 テキスト はじめまして！中国語(白水社) 喜多山 幸子・鄭 幸枝 著				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業への取り組み姿勢及び小テスト(35%)＋期末テスト(65%)				

	テーマ	授業内容
第1週	中国一般事情	中国および中国語についての理解 教室の指示言葉
第2週	中国語の発音”声調” ”母音””子音”	発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)
第3週	中国語の発音”母音” 声調の変化	発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声＋第3声→第2声＋第3声などの練習
第4週	第1課 校門で	1. 人称代名詞 2. 動詞 ” 是 ” を使った文 3. ” 吗 ” を使った疑問文
第5週	トレーニング1 第2課 廊下で	4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文 6. 省略疑問文 ◆人の呼び方
第6週	トレーニング2 第3課 キャンパスで	7. 指示代名詞 8. 形容詞述語文 9. ” ～ 的 ” 10. 語気助詞 ” 吧 ”
第7週	トレーニング3 第4課 携帯を見ながら	11. 所有を表わす ” 有 ” 12. 反復疑問文 13. 数 詞
第8週	トレーニング4 復習1 自己紹介	ポイント 1. 動詞述語文(1) 2. 形容詞述語文 3. 疑問文
第9週	第5課 学生食堂で	14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす ” 有 ” 16. 副詞 ” 也 ” と ” 都 ” 17. 二重目的語文 ◆方位詞
第10週	トレーニング5 今までの復習	期末テスト対策
第11週	期末テストの答え合わせ	今まで勉強した内容についてのおさらい
第12週	音楽鑑賞	中国語の歌を習いましょう！

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	全科	LQRクラス
科目名	中国語	担当講師	青山 祐子	
到達目標 中国語の正確な発音、簡単な日常会話を習得し、中国と中国語についての初歩的な理解を目標とする。 また、業務上使える会話表現を学びながら、楽しい授業にすることを心がける。				
使 用 テキスト 中国語1年め （白水社） 緒方 昭 ・ 小林 光考 ・ 胡 慶華 著				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業への取り組み姿勢(35%)＋期末テスト(65%)				

	テーマ	授業内容
第1週	第1課 中国人留学生と知り合う	1. 人称代名詞 2. 動詞 ” 是 ” の文 3. ” 吗 ” の疑問文 ■ 姓名の言い方
第2週	トレーニング1 第2課携帯の写真を見て	1. 動詞が述語になる文 2. 指示代名詞 3. 疑問詞疑問文 4. ” 的 ”
第3週	トレーニング2 第3課いっしょに勉強しよう!	1. 形容詞が述語になる文 2. 副詞 ” 也 ” と ” 都 ” 3. 所有を表す ” 有 ” 4. 時を表す語の位置
第4週	トレーニング3 第4課ファストフード店で	1. 場所を表す代名詞 2. 存在を表す ” 有 ” 3. 省略疑問文 ” 呢 ” 4. 反復疑問文
第5週	トレーニング4 第5課Tシャツを買う	1. 数詞 2. 量詞 3. ” 几 ” と ” 多少 ” 4. 所在を表わす動詞 ” 在 ”
第6週	トレーニング5 第6課いっしょに遊びに出かける	1. 日付・曜日の言い方 2. 時刻の言い方 3. 助動詞 ” 想 ” ・ ” 要 ” 4. 語気助詞の ” 吧 ”
第7週	トレーニング6 第9課カラオケに行く	1. 様態補語 2. 前置詞 ” 给 ” ・ ” 跟 ” 3. 連動文
第8週	トレーニング9 第10課中国の映画を見る	1. 結果補語 2. 動作の進行を表わす ” 在 ” 3. 主述述語
第9週	トレーニング10 第11課 帰国を前にして	1. 方向補語 2. 比較の言い方 3. 選択疑問文の ” 还是 ”
第10週	トレーニング11 今までの総復習	期末テストの対策
第11週	期末テストの答え合わせ 第12課空港で	1. 可能補語 2. ” 是 ～ 的 ” の文 3. 2つの目的語をとる動詞
第12週	今までの復習	今まで勉強した内容についてのおさらい

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル・トラベル・エアライン・エアポート科	EILQRWクラス
科目名	英検対策		担当講師	佐藤、中牟田、羽矢、内川
到達目標				
6月11日に実施される英検に合格できる力をつける。				
クラスによってもレベルが異なるため講師独自のプリントなどを用意することもあり、シラバスどおりに進まないこともあります				
使 用 テキスト				
英検7日間完成英検予想問題ドリル(旺文社)				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
授業態度、提出物、小テストなど平常点20%＋期末テストを80%で評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週	テキスト1st day	語彙問題、会話文問題 語彙、熟語の強化。
第2週	テキスト1st day & 2nd day	並べ替え、長文 長文は学生がもっとも苦手とするため、 出来る限り短時間で解答するよう指導。
第3週	テキスト 3th day	語彙問題、会話文問題 語彙、熟語の強化。
第4週	テキスト3rd day & 4th day	並べ替え、長文 長文は学生がもっとも苦手とするため、 出来る限り短時間で解答するよう指導。
第5週	テキスト 4th day	語彙問題、会話文問題 語彙、熟語の強化。
第6週	テキスト4th day & 5th day	並べ替え、長文 長文は学生がもっとも苦手とするため、 出来る限り短時間で解答するよう指導。
第7週	テキスト 5th day	語彙問題、会話文問題 語彙、熟語の強化。
第8週	テキスト5thday & 6th day	並べ替え、長文 長文は学生がもっとも苦手とするため、 出来る限り短時間で解答するよう指導。
第9週	テキスト6th day	語彙問題、会話文問題 語彙、熟語の強化。 出来る限り短時間で解答するよう指導。
第10週	テキスト6th day	並べ替え、長文、リスニング 長文は学生がもっとも苦手とするため、 出来る限り短時間で解答するよう指導。 リスニングにも慣れるよう指導。
第11週	進度調整 及び 二次試験対策	筆記問題、リスニングを時間内に解くようチャレンジ 2次対策
第12週	期末試験フィードバック	筆記部分のみ。 前期で学んだ内容を試験 ※成績の80%にあたります

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科・ブライダル科・トラベル科・エアライン科・エアポート科	EILQRWクラス
科目名	TOEIC対策		担当講師	挽田雅子
到達目標				
TOEIC受験に向けて、試験形式に慣れる。聴解力、語彙力、読解力の強化を目指す。				
TOEICに頻出テーマの語彙力をつける				
TOEICに頻出の文法項目を理解する				
使 用 テキスト				
Essential Approach for the TOEIC Test (TOEICテストへのニューアプローチ)				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
学期末試験70% 模擬テスト10% 平常点20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストについて TOEICテストを解いてみる
第2週	Unit 1	「芸術、娯楽」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 名詞・代名詞の理解を深める
第3週	Unit 2	「食事、パーティ」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 形容詞・冠詞の用法
第4週	Unit 3	「医療、健康」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 副詞の働きと使い方
第5週	Unit 4	「交通、旅行」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 比較についてまとめる
第6週	Unit 5	「注文、輸送」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 動詞と時制の重要文法
第7週	模擬テスト	リスニング全問題を解く Part1 Part2 を解くためのキーワードを聞き取る Part 3 Part4 を解くために選択肢を先読みする
第8週	模擬テスト	リーディング全問題を解く Part5 Part6 を解くための 文法事項と語彙の確認 Part7 を解くためにタイムマネジメントの能力を身につける
第9週	Unit 6	「工場、製造」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 いろいろな未来表現を学ぶ
第10週	Unit 7	「研究、開発」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 主語と動詞の呼応と時制の一致
第11週	Unit 8	「コンピューター、科学技術」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 能動態と受動態
第12週	まとめと総復習	前期試験問題解説 TOEIC試験に向けて、学習事項の復習をする

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	QRWクラス
科目名	観光英語		担当講師	梶田・内川・羽矢
到達目標				
航空・観光系の英語表現を身に着け、現実には会話ができるようになることを目指します。 聞く、話す、書くを多用して英語を身につけましょう。				
使 用 テキスト Travel English at Your Fingertips				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
学期末試験80%		平常点20%		

	テーマ	授業内容
第1週	1. On an Airplane	イントロダクション(授業内容、評価方法について) 機内で使う英語表現 アナウンスメント
第2週	2. At Immigration and Customs	小テスト 出入国手続き中に使う英語表現 税関申告書
第3週	3. Getting to a Hotel	小テスト 旅行案内所での英語表現 空港から市内への交通
第4週	4. Checking Into a Hotel	小テスト ホテルチェックインの際の英語表現 フロント係に尋ねる
第5週	5. At a Restaurant	小テスト レストランで使う英語表現 注文をする
第6週	6. Taking a Subway	小テスト 交通機関で使う英語表現 地下鉄に乗る
第7週	7. Asking for Directions	小テスト 道を尋ねる英語表現 フロント係に尋ねる
第8週	8. Fast-food Restaurant & Snack Bar	小テスト ファーストフードレストランで使う英語表現 注文をする
第9週	10. Hotel Services	小テスト ホテルのサービスに関する英語表現 貴重品を預ける
第10週	11. Placing a Phone Call	小テスト 電話に関する英語表現 予約の確認
第11週	演習	前期で学んだ会話を使ったロールプレイ 空港での案内 ホテルでの案内
第12週	総復習	期末試験の解説 前期のまとめ

2016 年度 前期				
対象学年	2 年	対象クラス	・ホテル科 ・エアライン科	・鉄道科 ・エアポート科 E1・E2・QR①・QR② ・QR③・N1・N2・Wクラス
科目名	面接対策	担当講師	宮前訓子	橋本美智子
到達目標 ●説得力のある自己PRを完成させる。 ●企業研究、業界研究をとことんやりオリジナルの志望動機を完成させる。 ●言いたいことが伝わる言い方を習得する。 ※ 内定した学生も職業意識向上のため授業内容・評価は同様にする。(内定したら担当講師に直接報告！！) プリント(その都度配布)・・・毎回過去の分も含めファイル等に綴じて持参すること				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 実技テスト・・・70% 平常点・・・30%(授業態度 身だしなみ 提出物など) 注意1:欠席(公欠も)した場合自分で遅れを取り戻す努力をすること！ 注意2:シラバスの内容・順序は各クラスの進行状況によって変わることがあります				
内容	テーマ	授業内容		
第1週	オリエンテーション 自己PR ①(VTR撮影)	●授業のすすめ方・評価方法について(面接に対する心構え) 自己PRの根拠に実習経験等をアピールする POINT: 表情に気をつけろ！		
第2週	自己PR ②(VTR視聴)	● 実習経験を自己PRにつなげる 自己PRの根拠に実習経験等をアピールする POINT: 弱点を見つけて修正しろ！		
第3週	志望動機 ①(職種)	●なぜその職種を選んだのか、自分の何が向いているかを説明する (その職種・職業のことをきちんと把握したうえで述べるができるか) POINT: 実習の知識や経験を思い出せ！		
第4週	志望動機 ②(企業)	●なぜその企業を選んだのかその企業で何ができるのかを説明する (その企業のことをきちんと把握したうえでの志望を述べるができるか) POINT: 企業研究を完璧にしておけ！		
第5週	グループディスカッション①	●過去問をやってみる(他の人のディスカッションを評価する) (瞬時に打ち解け、全員で結論に持ち込めるように協力する) POINT: 自分のことだけ考えるな！		
第6週	中間面接試験	●実技テスト (質疑応答) 個人面接の実施(待機中にプリントを記入) POINT: 短時間に良い印象を与えろ！		
第7週	ディベート②	●過去問をやってみる 自分の立場を守り、相手を説得する POINT: 感情的にならない！！		
第8週	質疑応答対策①	●自分についての質問に答える POINT: 機転を利かせろ！		
第9週	質疑応答対策②	●社会についての質問に答える POINT: 新聞を読め！ニュースを見ろ！		
第10週	質疑応答対策③	●突っ込みに堪える論理力を鍛える POINT: 説得力をもて！		
第11週	実技テスト①	●個人面接とフィードバック POINT: 待機時間を無駄にするな！		
第12週	実技テスト②	●個人面接とフィードバック POINT: よく頑張った！と言える自分にしろ！		

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	2 年		対象クラス	トラベル・エアライン・エアポート・鉄道・夜間総合観光科	LQRWNYクラス	
科目名	コンピュータ		担当講師	乙咩 清美 / 原 加代子		
到達目標						
Microsoft Wordの基礎・応用技能の習得						
Microsoft Power Pointによる効果的なプレゼンテーションファイルの作成とプレゼンテーション発表の実践						
使 用 テキスト						
Word・PowerPoint用プリント配布						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
平常点20% 提出物と発表80%						

	テーマ	授業内容
第1週	Word基礎	タイピング練習 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作 タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力
第2週	Word基礎	タイピング練習 シンプルな社内文書作成 ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け・切取線など)
第3週	Word基礎	タイピング練習 表を含むビジネス文書作成 ※表作成、ビジネス文書の基本など
第4週	Word基礎	タイピング練習 画像などを含む文書作成 ※クリップアート、ワードアート、ページ罫線など
第5週	Word応用	タイピング練習 チラシ・パンフレット作成 ※図や画像の挿入と編集
第6週	Word応用	タイピング練習 チラシ・パンフレット作成 ※図や画像の挿入と編集
第7週	PowerPoint	PowerPointの基本操作 サンプルスライドの作成 ※スライドのレイアウト、画面切替効果、サウンド、アニメーション効果など
第8週	PowerPoint	課題となるテーマとストーリーを考える(11, 12週目に発表) スライドの作成
第9週	PowerPoint	スライドの作成と編集 配色、スライドデザイン、文字・段落の書式設定 図形・グラフ・画像などの挿入、様々な効果を付ける
第10週	PowerPoint	スライドの作成と編集 リハーサル 発表のための準備や発表時の注意点など
第11週	プレゼンテーション発表 (試験)	OAルームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること
第12週	プレゼンテーション発表 (試験)	OAルームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること

前期シラバス

2016年度					前期					
対象学年		2年		対象クラス		全 科		全科共通(鉄道科除く)クラス		
科目名		SPI非言語			担当講師		俣野・榎木田			
到達目標										
採用試験等を通して企業が共通して求める汎用的な知的能力である数的論理的リテラシーとロジックの演習講義を主眼とする。 四則演算能力の向上、図表の正確な解釈を実践する。数量的処理能力及び論理的思考を主体とする演習を行なう。 各講座において数的能力、論理的処理能力の向上を図り、将来においても社会人の基礎力となりうる有用性を保つ講座を旨とする。										
使 用 テキスト										
SPI基本問題集(大和書房) ,他レジュメ等										
成績評価方法										
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 学期末テストを原則とするが、授業態度、出席率、小テストなどを考慮する場合もある										

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 基礎事項の確認	講義指針、内容等に関する事項 数的処理、判断推理分野における基礎事項の確認 企業活動での統計的な処理、数値管理などの重要性を説明する。
第2週	割合、比を中心とする演習	上記において濃度、損益の基本演習を実践すると同時に 社会的事項としての認識を深める。 数量関係を把握し、演算決定から柔軟に数的処理ができることを目的とする。
第3週	集合についての問題	集合の関係を図表化、立式解法を目的とする。 ベン図について学習する。 問題文を理解し、図表化し理解を深める。
第4週	速度、時間、距離の関係 についての演習	速度、時間、距離の関係を図表化、立式解法を目的とする。 旅人算、通過算、流水算について学習する。 速度の単位量あたりの考えを用いて、数値化し理解を深める。
第5週	記数法についての演習	記数法の捉え方を学習する。 記数法における変換演習を行う。 記数法における四則演習を通してその意義を理解することを目的とする。
第6週	定量における増減について の演習	ニュートン算を中心とした考え方を学ぶ。 一定量で増減する量的関係を同時に把握し、関係式を考察する。 図表化にて迅速な解決方法を演習する。
第7週	図形処理の演習	様々な図形の面積、体積の求め方を学習する。 計算演習を通して、図形の性質を見だし、説明する過程で数学的に考える力や表現力を育てることを目的とする。
第8週	流通経路についての演習	割合、比を用いて、図表化された物の流れを数値で捉えることを学習する。 流通経路を割合で表現し、経路図の意味を数学的に把握し、その性質が社会的に有用であることの理解を目指す。
第9週	推論についての演習	推論について学習する。 図表などを用いて推論についての理解と共に 具体的な場面での活用と、実生活に論理的な見方や考え方ができることを目的とする。
第10週	場合の数、組合せについて の演習	場合の数、組合せについて学習する。 基本的な個数の処理の考え方を基にして樹形図などを用いて組合せについての理解と共に 具体的な場面での活用と、実生活に数学的な見方や考え方ができることを目的とする。
第11週	確率についての演習	確率について学習する。 身近にある具体的な事柄を扱う確率で、樹形図などで視覚的に理解し、自ら考え方を発見し、 確率の数学的有用性を実感することを目的とする。
第12週	後期総括	問題演習を通して前期重要事項の復習、知識の定着をめざす。 SPI非言語を通して数学的な見方、考え方、その表現や処理方法が、実生活においての事象に いかに結びつき、活用できるかの認識をめざす。

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	全科(鉄道科を除く)	全科共通(鉄道科除く)クラス
科目名	SPI言語		担当講師	前田恭子・山本真美
到達目標 就職試験に合格できるように苦手分野を克服し得意分野を伸ばす。 時事問題・適性検査にも対応できるように実戦力を養成する。				
使 用 テキスト 朝日キーワード就職2017 最新時事用語＆一般常識 (朝日新聞出版)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 前期試験＋提出物(宿題など)＋授業態度				

	テーマ	授業内容
第1週	必ず復習する	1年次復習テスト(文学史を含む)+解答と解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題の復習を忘れずに。 残りの時間は時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます。
第2週	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩達の受験報告書を活用していますか？各企業の就職試験問題の傾向がわかります。
第3週	はじめてにあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出る場合があります。例題をよく見て冷静に対応しましょう。
第4週	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験時間は足りていますか？試験の問題量のチェックや、WEBテストには瞬発力が大事。
第5週	たくさん解く	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 勉強しても苦手な問題はあります。繰り返し問題を解くことで苦手を解決しましょう。
第6週	得意分野を伸ばす	前期前半試験解説。 ・時事問題用語解説 得意分野は何ですか？よりパーフェクトに仕上げていきましょう。
第7週	みんながデキル問題	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率が高い問題は受験者のほとんどができている証拠。みんながデキル問題は間違えな
第8週	新聞を読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 社会に出てからも時事問題は大事です。インターネットの各新聞社のサイトも活用しましょう。
第9週	今日から始める	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 前期終了まで1ヵ月。目標を再度立ててチャレンジあるのみ。
第10週	漢検2級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢字の練習は続けます。
第11週	過去を振り返る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今まで受験した企業の試験問題でわからなかった箇所をそのままにいませんか？ 復習を忘れずに。
第12週	ゴールはスタート	前期後半試験問題解説 ・時事問題用語解説 これからも、社会の動きをウオッチして、時代の流れを見ていきましょう。

ホテル科 ブライダル科

ホテル・ブライダル

学年	科目名	クラス	ページ
1	レストラン・オペレーション	A	21
1	ソムリエ&バーテンダー	A	22
1	ブラッシュアップ講座①	A	23
1	ブラッシュアップ講座②	A	24
1	フロントサービス	A・H	25
1	日本旅館のサービス	A	26
1	ホテル学入門	A・H	27
1	コンシェルジュ	A	28
1	ホテル業界研究	A	29
1	ユニバーサルサービス	A	30
1	ホテル英会話	A	31
1	コミュニケーションリッシュ	A・H	32
1	ペン字	A・H	33
1	就職活動講座	H	34
2	ホテル・ブライダルマーケティング	E・I	35
2	就職活動講座	E	36
2	フランス語	E・I	37
2	HRS学科試験対策	E	38
2	HRS実技試験対策	E	39
2	社会情勢研究	E	40
2	ホテル英会話	E・I	41
2	フロントオフィス	E	42
2	専攻（英語面接対策）	E・I	43
2	専攻（手話）	E・I	44

ブライダル

学年	科目名	クラス	ページ
1	ブライダルオペレーション	H	45
1	エレガンス表現MC演習	H	46
1	フラワーアカデミー	H	47
1	ブライダル業界研究	H	48
1	婚礼料理	H	49
1	カラーコーディネート	H	50
1	マナー・プロトコール	H	51
1	就職活動講座	H	52
1	プランナー実務	H	53
2	面接対策	I	54
2	就職活動講座	I	55
2	社会情勢研究	I	56
2	ブライダル演習Ⅰ（プランニング）	I	57
2	ブライダル演習Ⅱ（セレモニープロデュース）	I	58
2	プレゼンテーション	I	59
2	ブライダルデザイン	I	60
2	選択（HRS実技試験対策）	I	61
2	選択（HRS学科試験対策）	I	62

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	レストランオペレーション		担当講師	田才 亜紀子
到達目標				
・レストランサービスに必要な基本的動作を身に付ける				
・企業実習に必要な基本的サービスと知識を習得する				
使 用 テキスト				
・103教室備品 ・プリント適時				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験80%、平常点20%で評価				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・授業の目的と進め方、評価方法、期末試験についての説明 ・料飲部門とは ・サービスの心構え 身嗜み 立ち方 歩き方
第2週	料飲部門の概要	・料飲部門の重要性 ・レストランサービスの流れと専門用語 ・接客用語
第3週	西洋料理のサービス①	・フランス料理の歴史とサービスの種類 ・リネン類について ・テーブルクロスの扱い方
第4週	西洋料理のサービス②	・フルコースの流れ ・グラス類の種類と取り扱い方 ・シルバーの種類と取り扱い方
第5週	西洋料理のサービス③	・チャイナウェアの種類と取り扱い方 ・フルコースのセッティング
第6週	朝食について	・朝食の種類 ・朝食のセッティング ・プレートサービス①
第7週	中国料理について	・中国料理の概要 ・プレートサービス②
第8週	朝食サービス①	・朝食の種類 ・トレイサービス
第9週	朝食サービス②	・ドリンクの種類 ・ドリンクのサービス ・トレイサービス②
第10週	期末試験にむけて	・期末試験の課題練習 / 苦手克服
第11週	期末試験	・実技試験 ・制限時間内に課題ロールプレイングを行う
第12週	期末試験	・実技試験 ・制限時間内に課題ロールプレイングを行う

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ホテル 科	A クラス
科目名	ソムリエ & バーテンダー		担当講師	松尾 禎一郎
到達目標 バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 お酒類に興味を持ってもらい、FBの面白さを合わせて知ってもらうことで、レストラン業務に活かせるようにする。				
使 用 テキスト ホテルテキスト料飲Ⅱ バーラウンジ編				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験と授業態度 試験 80% 授業態度 20%				

	テーマ	授業内容
第1週	・バーラウンジの概要	・自己紹介 ・成績評価の説明 ・ホテル内での料飲提供場所と役割(体験談含む)
第2週	・種類の定義と分類 ・ワイン概論	・お酒の種類 ・ワインはどのようなお酒か ・日本におけるワイン消費の現状について
第3週	・ワインの歴史 ・ワインの種類	・ワインはいつ頃から飲まれだしたのか ・いろんなタイプのワイン(どうして違いが生まれるのか)
第4週	・ブドウの栽培 ・ワインの分類	・ブドウが好む土地又、栽培されている国について ・ワインの分類について
第5週	・ワイン用ブドウ品種 ・ワインラベルの読み方	・ワインに使用されるブドウの種類と特徴 ・ワインのラベル(エチケット)の見方
第6週	・フランスワイン ・イタリアワイン	・フランスのワインについて ・イタリアのワインについて
第7週	・ドイツワイン ・その他の国のワイン	・ドイツのワインについて ・世界のワイン生産国の今
第8週	・ワインと料理の相性	・料理とのマリアージュ ・調和する組み合わせ、反発する組み合わせ
第9週	・ワイン抜栓練習	・抜栓するための道具 ・各テーブルにて抜栓練習
第10週	・前期のまとめ	・10週までの内容の確認 ・期末試験のフォローアップ
第11週	・ワイン種類別サービス実技	・シャンパン、白ワイン、赤ワイン、それぞれのサービス方法 ・デカンタージュ(アエレーション)の方法と意味
第12週	・ソムリエの役割	・ソムリエとしての仕事。仕込みからお見送りまで、1日の流れを確認 ・ソムリエの仕事を模擬的に体験。ソムリエの楽しさ、厳しさの体感。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	A クラス
科目名	ブラッシュアップ講座①		担当講師	佐藤多佳代
到達目標 パーソナルカラー(自分らしさを引き出す色)の探し方や取り入れ方を学び、色を通じて自己分析を行い、自分の魅力を再認識、再発見する。 また、社会人として装いのルールやコーディネート術を習得する。				
使 用 テキスト プリント教材、日本色彩研究所カラーカード				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	色の効果とパーソナルカラー	魅力を引き出すパーソナルカラーについて 色の基礎知識と効果
第2週	パーソナルカラーの色分類	パーソナルカラーに基づいた色の分類方法 4シーズンの色の特徴とイメージキーワード
第3週	似合う色の見分け方	色素チェック 4シーズンの眼、肌、髪の特徴
第4週	カラーコーディネート	パーソナルカラーに合わせたカラーコーディネート 効果的な色の使い方
第5週	自分ブランディング	パーソナルイメージの演出方法
第6週	ラインアナリシス 自己演出	骨格、体型に合わせた服や小物、ヘアスタイルの選び方 ヘアカラー、メイクカラーの選び方
第7週	ワードローブ計画	社会人としてのファッションルール シーンに合わせたコーディネート ワードローブ計画の立て方
第8週		
第9週		
第10週		
第11週		
第12週		

2016年度		前期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	A クラス
科目名	ブラッシュアップ講座②		担当講師	長野 広樹
到達目標 夏期研修を目前に控え、社会人基礎力として必要な1)主体性、2)創意性、3)社会性(コミュニケーション能力)のうち、社会性(コミュニケーション能力)のワンランクアップを目指す。 観点に対する基礎的理解、コミュニケーションの構造の理解を到達目標とし、その上でのコミュニケーション実践を繰り返し、日常での活用、研修や社会での活用に役立てる。				
使 用 テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				

	テーマ	授業内容
第1週		
第2週		
第3週		
第4週		
第5週		
第6週		
第7週		
第8週	どうして、学校にくるの？	5コマ全体のおおまかな構成について知り、主体的に本授業に参加できるようになることを目的とする。初回講義内容として、学校にくる目的について考えてもらいます。さらに、これまで育って来た教育環境から、これからの社会環境への変化について自ら考え、その上で必要な事について討議討論する。(環境がどのように変化するのか理解する事で、学生の間に何をすべきなのかを自ら考え理解していくステップ。)
第9週	楽しい人生、理想の人生って何だろう？	一人ひとりが主人公である一人ひとりの人生。だけど、言われた事をやるだけの人生だったり、人の目や人の評価を気にすることで追われる人生で終わってしまう人も多くいる。一方で、自分のやりたいことや主張だけを貫き自己中心的すぎることから人間関係がうまくいかず結果的に悩みのつきない人生になることも。2年後には周りの友達とも別れ、一人ひとりが歩む人生。人生全体、未来について描いていく。
第10週	自分にできることってなんだろう？	社会に入ると、これまでの人生以上に多種多様な人と出会い交流し生きていく。会社をやめるトップ3が実は人間関係の悩みというデータがある。ロボットにはない、人間の本来の機能を理解し、自分自身の生い立ちや環境の中で育んだ自分自身の特徴を掴んでいくことで、いかなる会社、環境でも見失わない自己を形成することができる。その土台として「観点」に対する理解を深め、説明できるようになることを目的とする。
第11週	誰もが面倒な人間関係、どうしたら良い？	生きていく上で、欠かせないものでもあり、面倒でもあるのが「人間関係」。その人間関係に対する正しい理解をすることなく生きていくと、いろんな苦しみや葛藤を蓄積して悩みの多い人生になる。前回講義の「観点の特徴」を踏まえ、人間関係・コミュニケーションの構造を理解し、精神論や根性論で乗り越えるのではなく、毎瞬の出会いを楽しんでいく人生をスタートさせる。
第12週	これから、どうしよう？	これまでの講義で理解した、1)環境の変化、2)人間の機能、3)人間関係(コミュニケーション)の構造の理解を得た上で、これからの夏期研修、学校生活、バイトや恋愛、就職活動、社会をどうして行けば良いのだろうか？この学校へ来ている事が、いろんな可能性の中からの選択であり、未来への準備をしていることを自覚し、主体的に残りの学校生活の有効的な活用の仕方、創造的な学校生活の送り方について考えていく。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	A・Hクラス
科目名	フロントサービス		担当講師	中牟田 登喜枝
到達目標 宿泊部門の基本、サービス方法の手順を実務知識として習得する ホテル用語を覚える 夏季企業実習に活かせる能力を身に付ける				
使 用 テキスト [宿泊業務の基礎]日本ホテル教育センター発行 宿泊実習室の備品 プリント適宜				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋期末試験＝100点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 第2章宿泊部門 1.宿泊部門の使命と役割	成績の評価について、授業スケジュール説明 宿泊部門の3機能 商品特性、業務特性
第2週	2.宿泊部門の業務の流れ	宿泊部門スタッフの心得 宿泊業務のオペレーションサイクルを理解する
第3週	3.宿泊部門の組織体系と特徴	外資、一般都市型、宿泊特化型、リゾートホテルの組織図 今後求められるスタッフの能力と資質について意見交換してみる
第4週	第3章フロントサービス 1.フロントサービスとは 2.ドアマンの業務	フロントサービス業務の全体概要と特徴を理解する ドアマンの基本業務内容を理解する
第5週	2.ドアマンの業務	ドアマン ロールプレー
第6週	3.ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容 ①接客サービス ②ロビー業務 ③荷物の扱い
第7週	3.ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容 ④他部門ヘルプ ⑤その他
第8週	ベルマン～案内編～	～最初の挨拶から客室へのご案内まで～ ロールプレー①
第9週	ベルマン～案内編～	～最初の挨拶から客室へのご案内まで～ ロールプレー②
第10週	ベルマン～案内編～	～最初の挨拶から客室へのご案内まで～ ロールプレー③
第11週	客室のタイプとレイアウト 客室設備、備品	基本的な客室タイプと客室設備や備品名を理解する
第12週	前期授業のまとめ	まとめ 関連用語の復習

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	1年		対象クラス	ホテル科		Aクラス
科目名	日本旅館のサービス			担当講師	長野 美穂	
到達目標						
日本旅館は実はとても新しく面白い所です。まずは和の世界に興味を持ってもらい、旅館や和食レストランに必要なサービス知識を楽しく学んでいきたいと思います。和作法をしっかりと身につけた渋い若者になってください。						
使用テキスト						
なし						
成績評価方法						
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
期末テスト100%						

	テーマ	授業内容
第1週	はじめに	自己紹介＆授業内容 はじめまして
第2週	日本旅館概要	旅館で働く人々 ホテルと旅館の違いってなに？
第3週	立居振舞	和室のルール 右と左について。湯茶のサービス方法。
第4週	言葉遣い	NGワード 「ご飯を盛る」とは言いません
第5週	会席料理①	「かいせき」料理とは コースの流れとサービスのポイント
第6週	会席料理②	かいせき料理まとめ ◎このマークが関係あります。
第7週	飲料のサービス①	セティング＆お箸について お箸の歴史とマナー
第8週	飲料のサービス②	アルコールのサービス ビール・日本酒・焼酎を美味しく提供するために
第9週	食材研究	覚えておきたい基本食材 鶏・牛・豚
第10週	食材研究②	日本三大珍味 日本人大好き魚卵食品
第11週	料理以外のサービス	和の演出 和室のお手入れ・掛け軸に隠された意味
第12週	まとめ	まとめ＆復習 期末テスト振り返り

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	AHクラス
科目名	ホテル学入門		担当講師	佐藤 俊子
到達目標 ①実習に必要なホテルの名前と特徴を覚える。 ②ホテルの知識の基本を学ぶ				
使 用 テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 テスト80%と平常点20%(平常点には提出レポートを含む)				

	テーマ	授業内容
第1週	ホテル物知り度チェック	①授業ガイダンス(授業の進め方、カリキュラム) ②ホテルの物知り度チェック ③ 覚えなければならないことの確認をする。
第2週	ホテルの系列	①ホテルの系列について知ろう ②外資系ブランドについて知ろう ③ホテルの名前を正確に覚えるにはどうしたらいいのか考えよう(特にカタカナは難しい)
第3週	福岡市内のホテル	①福岡市内のホテルの代表的なものの名前を知る。 ②その歴史を知る。 ③ 時代背景も知る。
第4週	東京地区のホテル	東京地区の有名ホテルを紹介 (丸の内、日比谷、虎ノ門、新宿、目黒地区を中心に)
第5週	東京地区の外資系ホテル	外資系ホテルの系列などを東京のホテルを中心に紹介 (ハイアット系列、マリオット系列、ヒルトン系列、シェラトン系列、ペニンシュラ、マンダリンオリエンタル、シャングリラ、アマンなど)
第6週	舞浜、横浜、関西のホテル	アーバンリゾートといわれるホテルと関西の有名ホテルを紹介 (東京ディズニーリゾートの直営ホテルとオフィシャルホテル、関西の有名ホテル群の紹介)
第7週	北海道、沖縄、九州のリゾートホテル	有名リゾートホテルを紹介 シティーホテルとリゾートホテルの違いを知る。
第8週	一流ホテルの条件とは？	帝国ホテルを例に、一流のサービスを考える。 (100年の歴史を誇る帝国ホテルのどこが優れているのかを人、サービス、ハード面からチェックする)
第9週	ホテルのブライダル	婚礼をホテルでするようになった経緯と今のトレンドを知る。 (帝国ホテルから始まった日本のホテルでの婚礼が今の姿になるまでをハイライトで探る)
第10週	前期まとめ	テスト用まとめ
第11週	フィードバック	テストの復習 何が不足しているのか、知識や記憶のチェックをテストの復習をしながら探る)
第12週	リクエスト企画	リクエストにより、項目を決定。例えば、もっとディズニーのホテルを知りたい、や、リゾート(特に沖縄)について知りたいなどリクエストに答えて授業を組み立てます。)

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	コンシェルジュ		担当講師	大江裕子
到達目標 最近では多様な場所で使われているコンシェルジュを本来のホテルでの意味を学ぶ。 業務内容、取り組み方を学び、業務の醍醐味、楽しさを学ぶ				
使 用 テキスト プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度 ノート提出・・・40% 期末テスト・・・60%				

	テーマ	授業内容
第1週	コンシェルジュの基本Ⅰ (コンシェルジュとは)	コンシェルジュの仕事内容を知り、「コンシェルジュに就くためには」を学ぶ コンシェルジュの資質と同時に求められるものを理解する 実際のリクエスト内容をグループディスカッション、お客様からのリクエストに対応する力を身につける
第2週	コンシェルジュの基本Ⅱ (他部署との連携)	コンシェルジュデスク設置とツールを理解し、コンシェルジュと他部署とのつながりを学ぶ 他部門との連携プレイで解決したリクエストを紹介し、グループで実際に問題解決に取り組む 実際のリクエスト内容をグループディスカッション、お客様からのリクエストに対応する力を身につける
第3週	コンシェルジュの歴史	コンシェルジュの歴史と世界組織レクレドールについて学ぶ チームワーク力え解決したリクエストを紹介し、グループで実際に問題解決に取り組む リクエスト内容をグループディスカッション、お客様からのリクエストに対応する力を身に付ける
第4週	コンシェルジュ業務Ⅰ (DVD紹介)	コンシェルジュ業務紹介のビデオ観賞 実際に働くコンシェルジュを映像で見て、コンシェルジュの役割について考え学ぶ ビデオ内の各リクエストをグループで考えて発表し個人感想文を提出
第5週	コンシェルジュ業務Ⅲ (電話サービス)	三桁サービスと国際電話のかけ方について学ぶ 電話サービスの知識を身に付け、実際にどのようにサービスを生かすことができるのかを考える グループワークに別れてサービス内容を発表し、共有することでサービスの幅を広げる
第6週	コンシェルジュ業務まとめ	コンシェルジュ業務の1日の流れや勤務形態を紹介し、業務内容を更に理解する 授業開始時アンケートによる質問内容に応じて、コンシェルジュの仕事内容への理解を深める
第7週	プロトコールⅠ (基本5大原則)	プロトコールの基本と五原則について学ぶ(席次、レディーファースト、異文化尊重、国旗の取扱い) 世界共通儀礼の知識を身につけることで、どのような場で役立てることが出来るかを知る
第8週	プロトコールⅡ (外国人接遇)	外国人接遇(挨拶、握手、チップ、宗教など)外貨事情について学ぶ 異文化背景をより理解するために、実際にあったリクエストを紹介し、グループで問題解決に取り組む 実際のリクエスト内容をグループディスカッション、お客様からのリクエストに対応する力を身につける
第9週	プロトコールⅢ (海外事情)	海外ホテルでの体験談を紹介し、海外事情や外国人に求められることを理解する いくつかの外国人リクエストを紹介し、グループで実際に問題解決に取り組む 実際のリクエスト内容をグループディスカッション、お客様からのリクエストに対応する力を身につける
第10週	期末試験対策	期末テスト範囲とまとめについて説明、復習、再確認を行う これまでの授業のまとめと重要点の復習を行い期末試験得点に繋げることを目的とする
第11週	期末試験解説	期末テスト解説授業を行い、内容を理解できていない箇所の復習授業 実習中、ゲストからどのような要求を受けたことあるのかを紹介(前年度事例)
第12週	ホテルコンシェルジュ知識	夏季実習別ホテルの特徴と紹介を行い、知識のまとめる 実習前に調べておくこと、リクエスト内容を知り実習に備える 実習ホテル、地域にわかれてグループワークを行い、お客様からのリクエストに対応する力を身につける

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	1 年		対象クラス	ホテル 科	A クラス	
科目名	ホテル業界研究			担当講師	橋口 淳二	
到達目標						
ホテルやホスピタリティ産業にて活躍されている方々をお招きし、業種ごとの仕事内容のお話を聞きながら目指すホテル業界との関連を学び仕事に対する意識を高める授業とする。						
* 講話者のスケジュールにより講話内容に変更がでる場合があります *						
使 用 テキスト						
講話者との打合せによるレジュメとレポート用紙を授業開始時に配布する。						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
授業毎のレポート提出の期限厳守と内容で評価を行う。						
提出時間を過ぎた場合や未提出の場合は評価をしないとする。						

	テーマ	授業内容
第1週	ホテル業界について	ホスピタリティとは？
第2週	ホテル業界について	もてなす！ということ
第3週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第4週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第5週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第6週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第7週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第8週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第9週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第10週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第11週	ホテル業界について	ゲストスピーカーによるホテル業界の動向
第12週	ホテル業界について	前期の振り返りと実習に向けて

前期シラバス

2016年度					前期		
対象学年	1年		対象クラス	ホテル科		Aクラス	
科目名	ユニバーサルサービス			担当講師	原田 歩		
到達目標							
1. 障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める							
2. 基本的な介護知識を身に付ける							
3. 仕事だけでなく、日常生活でも気付き、実践できるようになる							
使 用 テキスト							
『接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト』日本能率協会マネジメントセンター							
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。							
期末テスト 70% 平常点(実技含む) 30%							

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・ユニバーサルサービスについて考える ・身近なユニバーサルデザインを知る
第2週	視覚障害者へのサービス①	・視覚障害についての基本知識を習得する ・盲導犬の一生についてDVDより学ぶ ・意見を共有する
第3週	視覚障害者へのサービス②	・視覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・全盲の体験をする ・体験から学んだことを共有する
第4週	視覚障害者へのサービス③	・視覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点を学ぶ ・ホテル内を想定しご案内する
第5週	聴覚障害者へのサービス①	・聴覚障害についての基本知識を習得する ・日常生活における不自由さについて共有する ・手話について学ぶ
第6週	聴覚障害者へのサービス②	・聴覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・伝える難しさ、伝わらない不自由さを体験する ・体験から学んだことを共有する
第7週	聴覚障害者へのサービス③	・聴覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点を学ぶ ・様々なコミュニケーション方法を使い、チェックインを行う
第8週	肢体障害者へのサービス①	・肢体障害や麻痺についての基本知識を習得する ・麻痺のある方への接客を学ぶ ・衣服の着脱をお手伝いする
第9週	肢体障害者へのサービス②	・車椅子の基本操作を学ぶ ・自走する ・乗る側を体験し気付きを共有する
第10週	肢体障害者へのサービス③	・車椅子を利用する方を知る ・体験をもとにご案内時に注意することを学ぶ ・ホテル内を想定しご案内する
第11週	実技テスト	・車椅子にてご案内をする
第12週	実技テスト まとめ	・車椅子にてご案内をする ・前期の復習・補足

前期シラバス

2016年度					前期					
対象学年		1年		対象クラス		ホテル・ブライダル科		Aクラス		
科目名		ホテル英会話			担当講師		佐藤・内川・大江			
到達目標										
ホテルで使う英語表現の基本を身につける。										
使 用 テキスト										
ホテル英会話Ⅰ（日本ホテル教育センター刊）										
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。										
期末テスト(80%)＋平常点(小テストを含む)(20%)										
小テストはレッスン終了ごとに実施する。20点満点を5回、5レッスン分実施。										

	テーマ	授業内容
第1週	Lesson 1 & Introduction	授業の進め方、評価方法説明 Lesson 1 Greetings Dialogue 1, 2 基本挨拶フレーズを学び、お客様ご到着ご出発時の挨拶ができるようになる
第2週	Lesson1	Lesson 1 Greetings Dialogue 3, 4 基本挨拶フレーズを学び、お客様のお戻り、ご出発時の挨拶ができるようになる
第3週	Lesson2	Lesson 2 Polite Expressions Dialogue 1, 2, 3 英語での丁寧表現を学び、基本的な接客英語のやりとりができるようになる お客様へお名前を伺う、レストランオーダーをとることができるようになる
第4週	Lesson 2	Lesson 2 Polite Expressions Dialogue 4, 5 英語での丁寧表現を学び、基本的な接客英語のやりとりができるようになる お困りのお客様を助ける、英語を聞き取れないことを表現することができる
第5週	Lesson 3	Lesson 3 Expressing Thanks and Apology Dialogue 1, 2 感謝と謝罪表現を学び、基本的な接客英語のやりとりができるようになる お断りの表現を学び、予約のやりとりができるようになる
第6週	Lesson 3 & Lesson 4	Lesson 3 Expressing Thanks and Apology Dialogue 3 Lesson 4 Expressing Numbers Dialogue 1 数字表現を学び、現在の時刻、交通の時刻を伝えることができるようになる
第7週	Lesson 4	Lesson 4 Expressing Numbers Dialogue 2, 3 数字表現を学び、ホテル館内の説明やお金のやりとりができるようになる
第8週	Lesson 5	Lesson 5 Doorman Dialogue 1, 2, ドアマンとして基本的な英語表現を学ぶ ゲストのご到着、ご出発時の基本的なやりとりができるようになる
第9週	Lesson 5	Lesson 5 Doorman Dialogue 3, 4 ドアマンとして基本的な英語表現を学ぶ 道案内や館外情報を伝えることができるようになる
第10週	まとめ	テスト用まとめ 前期の復習を行い、基本単語やフレーズを見直す
第11週	Feedback	テストの復習 前期テストの解説を行い、不十分な箇所を知り復習する
第12週	Feedback	実習に向けて必要な英語表現を整理する。 お客様のご到着からお部屋への案内、レストランでのお出迎えとお見送りに必要な

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	A・Hクラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ		担当講師	日高 郁子
到達目標				
・中学卒業レベルの文法を完全に理解し、それを駆使して英語で日常的なコミュニケーションが取れることを目指します				
*テキストは主にリスニングの補助的教材として使用し、基本的には講師独自のプリントなど使用します。				
*必要に応じて、様々なアクティビティを取り入れることもあり、シラバス通りに進まないことがあります。				
使 用 テキスト				
*Get Ready To Go! Homestay Adventures (Macmillan Language House)				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
※成績は平常点40% 期末テスト60% で評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週	英語で自己紹介 相手に質問する	先生の自己紹介を聞いて、さらに質問してみる。 自分の自己紹介文を作ってみよう。 Unit1 発音について
第2週	あいさつ (初対面/友達)	初対面の時のあいさつと、友達に会ったときのあいさつの仕方 Unit2 発音 a e i o u *Phonica P37
第3週	クラスルームイングリッシュ	定型文(授業中わからない部分を質問する言い方) What does this mean? How do you say this in Japanese? 等 発音 子音 b p m
第4週	Be動詞と一般動詞を区別する	be 動詞、一般動詞 / それぞれの肯定文、否定文、疑問文 Unit3 発音 t d
第5週	自分の意思、願望などを伝える	I want to ~ / I have to ~ Unit4 発音 f v
第6週		I want 人 to ~ / I tell 人 to ~ Review Game Unit1-4 発音 r l
第7週	過去形	Be 動詞の過去形とよく使う一般動詞の過去形を覚えよう Unit 5 発音 th
第8週	未来形	will と be going to ~の違いは? Unit 6 発音 w wh
第9週	接続詞	because / but / so / if / when などを使いこなす Unit 7 発音 ch ck
第10週	助動詞	助動詞 (can, should, will, would, may, might, must) Unit 8 発音 sh ng
第11週	命令文	命令文、否定命令文、丁寧な言い方、Let's 等 Review Game Unit 5-8 発音 Silent e
第12週	プレゼンテーション	自分について1分間話す

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	1年		対象クラス	ホテル・ブライダル科	A・Hクラス	
科目名	ペン字			担当講師	安藤 清子	
到達目標						
美しく読みやすい履歴書の配字とバランスを学ぶ						
使 用 テキスト						
ボールペン、下敷 他						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
提出物(履歴書) 小テスト(まとめ) 授業態度						

	テーマ	授業内容	理論
第1週	履歴書を書く ①	履歴書とは・・・ 筆記具の種類 姿勢と持ち方(1) 平仮名の特徴	偏と旁① (漢字の部分の名称)①
第2週	〃 ②	姿勢、執筆(持ち方)(2) 平仮名「あ～ん」の書き方と特徴	偏と旁② (漢字の部分の名称)②
第3週	〃 ③	片仮名「ア～ン」の書き方と特徴	偏と旁③ (漢字の部分の名称)③
第4週	〃 ④	平仮名、片仮名のまとめ 数字の書き方 提出①②	偏と旁④ まとめ
第5週	〃 ⑤	楷書の特徴(自分の名前) 名前の字の組み合わせ方(配字とバランス)	筆順①
第6週	〃 ⑥	横書きの特徴とポイント ～漢字仮名まじり文～の書き方	筆順②
第7週	〃 ⑦	履歴書のレイアウトを考える 文字の大小、余白を考える	筆順③
第8週	〃 ⑧	履歴書を書く 氏名、住所、学歴・資格など まとめ① 提出③	
第9週	〃 ⑨	履歴書を書く 志望動機・自己PRのレイアウトとまとめ方	漢字の書体 まちがいを探し①
第10週	〃 ⑩	履歴書を書く まとめ②志望動機 自己PR 提出④	
第11週	〃 ⑪	まとめ(第1週～10週) テスト(実技・理論) 提出⑤	
第12週	〃 ⑫	美しく読みやすい文字を書くコツ	

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	就職活動講座		担当講師	安部 紀美江
到達目標				
・就職活動の重要性を認識させると同時に基本的な所作を体得させる。 ・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。				
使 用 テキスト				
・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。
第2週	就職活動の心構えと準備	・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・企業が求める人材とはどのような人かを考えさせる。 ・就職するにあたってのみだしなみの重要性を再確認させる。
第3週	就職活動の流れ	・当学校における就活の一連の流れを説明する。 ・就職室の正しい活用法を教える。 ・就職活動のルールを認知させる。
第4週	履歴書の書き方	・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。
第5週	職業を知る	・ブライダルの仕事とはどんな職業であるのかを認知させる。 ・ブライダル業界が求める人材を知ることで自身の適性とのすり合わせを図る。 ・自分と業界の接点を認識させる。
第6週	自分自身を知る	・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。 ・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。
第7週	自己分析	・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。 ・自分自身を棚卸しすることで自分を認知させる。 ・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。
第8週	自己PRの作り方	・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・企業でどう活かすのかを考え、文章にする。 ・「長所編」を作成
第9週	自己PRの作り方	・様々なバリエーションの自己PRを考え、どのような変化球へも対応できるようにする。
第10週	志望動機の作り方	・企業研究の方法を理解させ就活のスタートが早いブライダル業界に対応する。 ・志望理由の明確化と表現方法を身に付けさせる。
第11週	エントリーシートの書き方	・エントリーシートとはどのようなものであるかと重要性を認識させる。 ・エントリー方法を理解させる。 ・実際のエントリーシートを使いシュミレーションを行う。
第12週	完成品のチェック	・前期提出物のチェック

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科／ブライダル科	Eクラス
科目名	ホテルブライダルマーケティング		担当講師	東山 善一
到達目標				
・マーケティングとは何かを理解し、説明できるようになります。 ・サービス業のマーケティングの特徴を理解します。 ・ホスピタリティ産業に関するマーケティング知識を身に付けます。 ・ホテルやブライダルのマーケティング戦略について学びます。				
使 用 テキスト				
授業でプリントを配ります。				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
授業への取り組み姿勢・ワークショップでの評価25%、期末試験75%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の概要、授業の進め方を理解します。
第2週	マーケティングとは	マーケティングとは何かを学びます マーケティングの歴史について学びます
第3週	サービス業の 商品について	ホテルやブライダルのサービスという「商品」について学びます お客様に提供するサービスとマーケティングの関係について学びます。
第4週	サービスエンカウンター	サービスを提供する側とされる側の関係について学びます
第5週	マーケティングリサーチ	マーケティングにおける情報収集について学びます ワークショップを行います
第6週	ワークショップ発表	前回のワークショップのグループ発表を行います。
第7週	セグメンテーション戦略	ホテル(ブライダル)の対象となる顧客層の絞り込みなどの戦略を学びます。
第8週	ブランド戦略	ブランドの歴史について学びます ホテル業界におけるブランドについてワークショップを行います。
第9週	顧客満足	ホスピタリティ産業における顧客満足について学びます
第10週	前期のまとめ	授業の重要な学習についておさらいします。
第11週	ホスピタリティ産業の 人材マーケティング	ホテル業界の人材市場におけるキャリアアップについて、日本のホテル市場と 外資系ホテル市場の違いを学びます。
第12週	質疑	これまでの授業で説明できなかった質問を取り上げて解説します。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	就職活動講座		担当講師	安部 紀美江
到達目標				
・就職活動の重要性を認識させると同時に基本的な所作を体得させる。 ・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。				
使 用 テキスト				
・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・現在の就職活動状況の報告 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明
第2週	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント
第3週	自由表現	・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。
第4週	論文・作文の書き方	・就職試験における論文・作文の書き方を学び、書くときのポイントを整理する。 ・400字詰め原稿用紙2枚を使い、与えられた課題で実際に書いてみる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。
第5週	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。
第6週	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させる。
第7週	企業研究・面接対策	・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。
第8週	企業研究・面接対策	・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。
第9週	内定後にすること	・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることの確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。
第10週	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。
第11週	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。
第12週	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科・ブライダル科	EI クラス
科目名	フランス語		担当講師	藤村 直子
到達目標 フランス語のアクセントなどの表記、読み方、文のしくみなど基本的なことを理解し、簡単な会話、接客用語をロールプレイングにて習得する。 DVDにてフランスの文化や社会、その国の習慣を知りフランスという国のルールを学ぶことで世界への視野を広げる。				
使 用 テキスト Pascal au Japon（白水社）				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト60%+平常点(出席率、授業態度、小テスト、提出物)40%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	フランス語で自己紹介ができるようになる 授業でよく使う表現
第2週	フランス語に親しむ	ABC 挨拶 単語テスト①
第3週	国籍を言う	「私は日本人です」 フランス語のbe動詞 être 単語テスト②
第4週	話す言葉聞く	「日本語を話しますか？」 規則動詞 er動詞 単語テスト③
第5週	職業を言う	「学生です」 職業を表す名詞 単語テスト④
第6週	物を尋ねる	「これは何ですか？」 名詞と不定冠詞 単語テスト⑤
第7週	持ち物を言う	「私は携帯を持っています」 形容詞 不規則動詞 avoir 単語テスト⑥
第8週	好きなものを聞く	「シャンソンは好きですか？」 定冠詞 疑問文 単語テスト⑦
第9週	ジャンルを聞く	「どの音楽が好きですか？」 疑問形容詞 数字 暗唱 1～10
第10週	期末テスト後の復習	期末テスト後の振り返り
第11週	誰か尋ねる	「誰ですか？」 疑問形容詞 qui 否定文 数字 暗唱 11～20
第12週	誰か尋ねる②	「たくさんの方がいます」 非人称構文 il y a

前期シラバス

2016年度					前期						
対象学年		2		年		対象クラス		ホテル 科		E クラス	
科目名		HRS学科試験対策				担当講師		長野 美穂			
到達目標 8月に実施されるレストランサービス技能検定の学科試験合格を目指す 衛生管理やプロトコルを学び、広い視野でサービスを行えるようになる											
使 用 テキスト 西洋料理 料飲接客サービス技法											
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ミニテスト、平常点、期末試験を総合的に評価する。 テキスト忘れは2回で欠席。											

	テーマ	授業内容
第1週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	食品の基礎知識 栄養素を覚える
第2週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	主な食材の基礎知識 緑黄色野菜と淡色野菜の違い
第3週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	フルコース復習 オールドウーブルからデセールまで
第4週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	ワイン復習 フランスワインの格付け
第5週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	その他の飲料 ビール、コーヒー、紅茶、アンフュージョン
第6週	ミニテスト①	第5週までのミニテスト * 期末試験の評価に加味します
第7週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食事用具 銀器の名称と取扱い
第8週	第5章 施設管理	施設の知識 消火器などの消防用設備 他
第9週	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生 食中毒を引き起こす菌の名前
第10週	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生 食品の保存方法、寄生虫、殺菌及び消毒
第11週	第8章 安全衛生	食品衛生法関係法令 安全衛生に関する知識
第12週	ミニテスト②	第6週～第11週のミニテスト * 期末試験の評価に加味します

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	HRS実技試験対策		担当講師	田才 亜紀子
到達目標 ホテルレストランにおける基本的なサービス方法・ルール・事故対処方法・食事のマナーを学び HRS3級 合格を目指す				
使 用 テキスト 103教室備品 プリント適時				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業内での中間実技試験30%＋期末実技試験50%（計80%） 併せて平常点20%を加味して評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業内容、目的、スケジュール、評価方法、昨年度の試験内容、結果報告など ロールプレイに当たっての基本説明(テーブルセッティング) 朝食のメニューについて
第2週	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えから水、紅茶サービスまでのロールプレイ ・整理整頓
第3週	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからパンサービスまでのロールプレイ ・整理整頓
第4週	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ ・整理整頓
第5週	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからバッシング、リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法 ・整理整頓
第6週	中間テスト	・朝食サービスのロールプレイの内容で中間実技試験
第7週	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・ランチメニューについて ・お迎え～オーダーテイクまでのロールプレイ ・整理整頓
第8週	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～パンサービスまでのロールプレイ ・整理整頓
第9週	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～コーヒー出しまでのロールプレイ ・整理整頓
第10週	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法 ・整理整頓
第11週	期末試験説明	・テーブルセッティング(昼食) ・期末試験課題範囲発表と練習
第12週	期末試験(実技)	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて期末実技試験

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	社会情勢研究		担当講師	前田 恭子
到達目標				
・新聞に興味を持ち、世の中の流れや話題になっているニュースを把握できるようになる。 ・記事の要旨をまとめ、自分の意見を交えて人に伝えることができるようにする。				
使 用 テキスト				
・講師作成プリント ・指示により新聞持参				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト80%、 平常点(課題・発表・授業態度)20%				

	テーマ	授業内容
第1回	主な新聞社・通信社	・授業の進め方、評価方法について理解する。 ・新聞を読むことの意義を理解する。 ・日本および主要国の新聞社・通信社がわかるようにする。
第2回	新聞の構成を知る	・新聞の構成を知り、必要な記事を探し出せるようにする。 ・コラムを読んで、筆者が伝えたいことがわかるようにする。
第3回	新聞研究① (グループワーク)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・記事の中から「5W1H」を見つけることができるようにする。
第4回	研究発表① (グループワーク)	・記事の要旨を「5W1H」を意識して発表できるようにする。 ・記事をジャンル分けできるようにする。
第5回	新聞研究② (グループワーク)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・難解な語彙を調べながら読むことができるようにする。
第6回	研究発表② (グループワーク)	・記事の要旨を声量や間を考えて自分の言葉で発表できるようにする。 ・発表内容から「5W1H」を聞き取り、メモができるようにする。
第7回	新聞研究③ (グループワーク)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・記事の背景を考えながら記事を読むことができるようにする。
第8回	研究発表③ (グループワーク)	・記事の要旨を写真・絵・図を使って発表できるようにする。 ・発表内容の要旨を書きとめながら発表を聞くことができるようにする。
第9回	新聞研究④ (グループワーク)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・興味の幅を拡げて記事を読めるようにする。
第10回	研究発表④ (グループワーク)	・記事の要旨を自分が調べた内容を交えながら発表できるようにする。 ・発表内容から疑問点を考えることができるようにする。
第11回	・期末試験フィードバック ・新聞研究⑤ (個人)	・期末試験の解説を聞き、疑問点をなくす。 ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・記事に対しての質疑応答ができるように準備する。
第12回	研究発表⑤ (個人)	・記事の要旨を自分の意見を交えながら発表できるようにする。

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	Eクラス
科目名	ホテル英会話		担当講師	佐藤、内川、大江
到達目標				
ホテルの宿泊」業務(チェックイン、チェックアウト、宿泊予約)の手順に応じた英語表現を見につける。 宿泊業務における各種サービスの英語表現を見につける。 ホテルインフォメーションの英語表現を見につける。				
使 用 テキスト ホテル英会話II 基本表現を英語と日本語併記したレジメ(各レッスンごとに配布)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(小テスト)20%・・・各レッスン終了時に20点満点の小テストを5回実施する テスト 100点満点 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	授業ガイダンスとホテル英会話Iの復習	授業ガイダンス ホテル英会話Iの復習 重要表現を覚えているかをチェックしよう
第2週	L1 宿泊予約業務手順と英語表現	ホテル英会話I 通常宿泊予約取りの復習 L1 D1 宿泊業務の予約時取りにおいて特に第三者からの宿泊予約取り手順と英語表現を学ぶ
第3週	L1 宿泊予約業務手順と英語表現	L1 D1 フロントオフィスでの第三者からの宿泊予約取り手順と英語表現を学ぶ クラスの状況によりD2～D3の宿泊予約変更と取り消し手順と英語表現を学ぶ
第4週	L1 復習と小テスト L2 チェックイン業務手順と英語表現	L1 小テストで理解不十分な個所を知る。 L2 D1 通常のチェックイン手順を確認し、チェックイン時の変更希望に対応する英語表現を学ぶ。
第5週	L2 チェックイン業務手順と英語表現	L2 D4 客室カードキーの説明と英語表現を学ぶ カードキーの説明をロールプレイで実際にしてみる。
第6週	L2 復習と小テスト L3 ホテルサービス	L2 小テストで理解不十分な個所を知る。 L2 D3 メッセージの受け方と英語表現を学ぶ
第7週	L3 ホテルサービス	L3 D7 外貨両替手順と英語表現を学ぶ 今日の円ドル為替レートも合わせて学ぼう。
第8週	L3 復習と小テスト L4ホテルインフォメーション観光案内の英語表現	L3 小テストで理解不十分な個所を知る。 L3 D1 バスツアー 観光に関する用語と英語表現を学ぶ 福岡のシティツアーまたはオープントップバスの表現を学ぶ。
第9週	L4復習と小テスト L5 チェックアウト業務手順と英語表現	L4 小テストで理解不十分な個所を知る。 L5D1 現金での支払方法を復習し、クレジットカードでの支払い手順と英語表現を学ぶ
第10週	L5 復習小テスト L5 チェックアウト業務手順と英語表現	L5 D3 会社払いでのチェックアウト業務手順と英語表現を学ぶ L5 小テストで理解不十分な個所を知る。 後期の総復習をしてテストに備える。
第11週	テストの返却とその説明を受ける。	間違った個所を訂正して正しく理解できるようになる。 小テストで理解不十分な個所を知る。
第12週	前期の復習	前期において不十分であった箇所をクラスに応じて復習、まとめを行う

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2 年	対象クラス	ホテル 科	E クラス
科目名	フロントオフィス		担当講師	中牟田 登喜枝
到達目標 FO業務についての基本的知識を学ぶと共にホテル全体の流れを理解する 部内における担当業務を覚える				
使 用 テキスト [ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロントオフィス編] ウィネット発行 授業内容に沿えるビデオがあれば適宜使用 プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋期末試験＝100点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業内容、評価方法、期末試験について フロントオフィスとは
第2週	第2章客室の種類	客室タイプ 料金システム
第3週	第3章リザベーション業務	予約業務の重要性 イールドマネージメント
第4週	リザベーション業務	客室予約の種類 宿泊予約システム概要
第5週	リザベーション業務	予約受付の流れ
第6週	リザベーション業務	宿泊受け業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ④リザベーションカード作成 ④キャンセルチャージ
第7週	リザベーション業務	ロールプレーで実際に予約取りの練習
第8週	リザベーション業務	宿泊受け業務 ①インターネット予約業務ー 画面入力方法 ②その他業務について
第9週	レセプション業務	ルーミング ①個人予約 ②団体予約 ブレイサインメント 接客マナーについて
第10週	レセプション業務	チェックインの手順 レジストレーションカードの記入方法
第11週	レセプション業務	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応 レートチェンジとルームチェンジの処理手順
第12週	前期のまとめ	まとめ 関連用語の復習

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	EⅠ選択クラス
科目名	英語面接対策		担当講師	中牟田 登喜枝
到達目標 英語面接での基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学び、実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する				
使 用 テキスト テーマごとのプリントを配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(毎回の課題提出と発表)50% 最終回にスピーチ 25%、面接実践 25%				

	テーマ	授業内容
第1週	イントロダクション 外資系、国際的企業が求める人材とは	シラバス説明 企業が求める人材、面接の種類、役割を知り、十分な準備の必要性を学ぶ
第2週	実践編面接を成功させるためのテクニック	挨拶の仕方、丁寧なことばづかい、あいづち等、状況に応じた意思表示の仕方を英語でできるように学ぶ
第3週	自分家族についてこんなふうに、話してみよう	自己紹介、学校、健康、家族、友達について、面接に効果的モデルパターンを知る
第4週	自分家族についてこんなふうに、話してみよう	自己紹介、学校、健康、家族、友達について、面接に効果的モデルパターンを使い、自分の紹介文を作る
第5週	日常生活について、こう言えようまく伝わる	食べ物、嗜好品、服装、週末の過ごし方等、日常生活について面接に効果的なモデルパターンを知る
第6週	日常生活について、こう言えようまく伝わる	食べ物、嗜好品、服装、週末の過ごし方等、日常生活について面接に効果的なモデルパターンを使い、紹介文を作る
第7週	趣味や余暇で「自分らしさ」をうまくだそう	趣味(旅行、音楽、映画、読書、英語、パソコン、スポーツ等)や余暇の過ごし方について面接に効果的モデルパターンを知る
第8週	趣味や余暇で「自分らしさ」をうまくだそう	趣味(旅行、音楽、映画、読書、英語、パソコン、スポーツ等)や余暇の過ごし方について面接に効果的モデルパターンを使い、自己PRを作成する
第9週	会社・仕事の話題をふくまそう	仕事(バイト、実習)に関する質問に対する、効果的な返答のモデルパターンを知る
第10週	会社・仕事の話題をふくまそう	仕事(バイト、実習)に関する質問に対する、効果的な返答のモデルパターンを使い、自己PRを作成する
第11週	一分間スピーチ発表	自己PR1分間スピーチを、クラス皆の前で発表する
第12週	面接実践	実際に面接官からの質問に対して受け答えをする

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	E・Iクラス
科目名	手話		担当講師	鶴田 由香
到達目標				
聴覚障害者に対しての理解を深めながら、手話を使って日常会話ができる				
ホテルや宿泊施設の場面に応じての接客の手話ができる				
聴覚障害者のお客様への配慮とサービスを理解する				
使 用 テキスト				
手話を学ぼう手話を話そう				
参考資料としてプリント(接客手話、聴覚障害者に関する資料)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末実技テスト+小テスト+授業中の態度(手を動かす、伝える努力)				
授業中の携帯使用は評価より厳しく減点します。				

	テーマ	授業内容
第1週	手話って何？ 伝えあってみましょう	聴覚障害者に対しての理解を深め、手話の必要性を学ぶ 身振り、手振りで手話に慣れる サイレント伝言ゲーム
第2週	見ることば 指文字と身振り	身振りを工夫して手話で伝える 自分の名前を紹介する
第3週	自己紹介 名前を紹介しましょう	前回の復習 日常の会話をしてみましょう 接客手話
第4週	人物の表し方 家族を紹介しましょう	前回の復習 家族の紹介を通じて人物の表し方を学習する 人物に関する会話例
第5週	ろう者と話そう 趣味についての表現	前回の復習 趣味に関する表現 感情に関するする表現を学習し会話をする 小テスト
第6週	数字に関する会話 数字を使つての会話	前回の復習 数字の表し方の学習(時間・単位・金額など) 時間や金額に関する接客手話
第7週	仕事に関する手話 仕事について話しましょう	前回の復習 仕事をテーマに手話単語を覚え、聴覚障害者の職場での問題も考える 場面別の接客手話 小テスト
第8週	道案内をしてみよう あなたの家を紹介しましょ う	前回の復習 地名、住所の手話表現を習得し交通手段の説明をする 案内に関する接客手話
第9週	手話で表現 自己紹介をしましょう 総復習	前回の復習 今まで学んだ手話を使って自己紹介する 小テスト
第10週	接客手話	場面別での接客手話 ホテルや宿泊施設で使う接客手話を身につける
第11週	実技テスト	筆記・読み取り・実技
第12週	手話の世界 まとめ学習	聴覚障害者の生活を理解する 前期の総復習

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル 科	Hクラス
科目名	ブライダルオペレーション		担当講師	田才 亜紀子
到達目標				
1. ブライダル・ホテル業界における料飲部門の役割を理解し、基礎知識を身に付ける				
2. 夏期ホテル実習までに必要な料飲サービス技術を習得する				
使 用 テキスト				
205教室備品、プリント適時				
成績評価方法				
※単位取得には、便覧どおり出席率75%以上を条件とする。				
期末実技試験80%+平常点20%で評価				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・授業の目的と進め方、評価方法、期末試験についての説明 ・ブライダル業界における「料飲」の重要性 ・サービスの心構え(身嗜み、立ち方、歩き方)
第2週	サービスの流れ	・レストラン・宴会サービスの流れを理解する ・接客用語5+1 ・レストラン・パンケットで使用する専門用語
第3週	西洋料理のサービス①	・西洋料理の起源とサービスの種類について ・リネンの種類と扱い方を習得する
第4週	西洋料理のサービス②	・フルコースの流れ ・CGSとは？ ・チャイナウェア グラスウェアの種類と取り扱い
第5週	西洋料理のサービス③	・シルバーウェアの種類と取り扱い ・フルコースのセッティング
第6週	朝食サービス	・朝食の種類と内容について ・朝食セッティング ・トレイサービス①
第7週	ドリンクサービス	・ドリンクの種類 ・水のサービス ・トレイサービス②
第8週	中国料理について	・中国料理の概要 ・プレートサービス
第9週	日本料理について	・日本料理について ・日本料理の基本的なマナー
第10週	期末試験にむけて	・期末試験の課題発表 ・課題練習と苦手克服
第11週	期末実技試験	・期末実技試験
第12週	期末実技試験	・期末実技試験

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル 科	H クラス
科目名	エレガンス表現 MC演習		担当講師	立花 美和子
到達目標				
●基本的 発声・発音ができる				
●披露宴の流れを把握し、司会者としての役割を考える				
使 用 テキスト				
ブライダルMCテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
●実技試験50% + 平常点50%（授業態度40% ・ 身だしなみ10%）				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	講師・学生自己紹介。 評価方法。 実技テストのやり方。テキストの使い方。 挨拶の基本(礼儀・姿勢・服装)を知る。 身だしなみチェック
第2週	MC(司会者)の役割・心得	披露宴の中での MCの役割の重要性。(目配り・気配り・心配り) 構成(全体の流れ・時間配分) 式場の特徴。DVDで実際の披露宴を知る。 身だしなみチェック
第3週	発声の特訓	発声練習。 正しい口の開き方。 腹式呼吸法。 滑舌の練習(早口ことば)。 表現力を学ぶ。 身だしなみチェック
第4週	tx. ①迎賓～②MC挨拶 (P.2)	発声練習(発声リーダーは順番に) 迎賓～MC挨拶までを学ぶ。(マイク使用) 身だしなみチェック テキストの暗記
第5週	③入場～⑤プロフィール紹介 (P.3)	発声練習(発声リーダーは順番に) 入場・開宴の辞・プロフィール紹介(ウェルカムスピーチ)まで学ぶ。 身だしなみチェック テキストの暗記
第6週	⑥主賓祝辞～⑦乾杯 (P.4)	発声練習(発声リーダーは順番に) 主賓祝辞(お誂い・祝吟・祝舞)・祝電・乾杯までを学ぶ。 身だしなみチェック テキストの暗記
第7週	⑧祝宴～⑪新郎中座 (P.5～P.6)	発声練習(発声リーダーは順番に) 祝宴・歓談・ケーキ入刀・新婦中座・新郎中座まで学ぶ。 身だしなみチェック テキストの暗記
第8週	①～⑪実習	発声練習(発声リーダーは順番に) 迎賓～新郎中座までのシミュレーション(暗記・発声発音・表現力) 身だしなみチェック テキストの暗記
第9週	期末試験 実技(パートⅠ)	(試験方法)
第10週	期末試験 実技(パートⅡ)	テキストを暗記。発声発音に気をつける。司会卓にて発表。 MC以外は、ゲストやスタッフの役割を担当。 動きやタイミングなどを把握しMCとしての実技試験。 出席番号順に3回に分け実施
第11週	期末試験 実技(パートⅢ)	
第12週	まとめ	個別指導(弱点を知る) 前期を振り返り レポート提出 身だしなみチェック

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル 科	H クラス
科目名	フラワーアカデミー		担当講師	小佐井 由美
到達目標				
・ブライダル業務に携わる上で必要な花の知識の習得				
使 用 テキスト				
・各授業単位で必要な場合は資料を制作。配布します。				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・授業態度、小テスト(20%)				
・期末テスト(80%)				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法、期末試験について 前期授業のスケジュール確認、花の知識や興味についてのアンケート実施
第2週	ブライダル担当のための花の基本知識①	花やグリーンの名前、花言葉や誕生花などを知り、多方面からのウェディングフラワーを提案する知識を習得 花の香り(メリット・デメリット)、ウェディングシーンでの花の在り方や基本的な受注方法
第3週	花に触れる① － プリザーブドフラワー制作 －	Mother's Dayにあわせてプリザーブドフラワーを使用して制作実習 プリザーブドフラワーならではのメリットや造形知識を知る 簡単なラッピング方法を知り、表面的な華やかさの演出を習得する
第4週	ブライダル担当のための花の基本知識②	生花・プリザーブドフラワー・アーティフィシャルフラワー等素材の特性とその役割 ウェディングシーンにおけるそれぞれの提案の仕方
第5週	花の造形知識①	ウェディングによく使用されるお花の紹介と商品例(春～夏)
第6週	ウェディングブーケ概論①	ブーケのかたち、種類、トレンド、ドレスとの相性を知る(春～夏)
第7週	花に触れる② － クラッチブーケ制作 －	生花を使って「初夏のガーデンウェディング」をイメージしながら、クラッチブーケ制作実習 生花の簡単な水揚げや保水方法も合わせて知り、サマーウェディングでありがちな生花の水落ち等の対処方法を習得
第8週	イメージと花①	お客様から言われたイメージワードを拾い、それに合わせた季節の花合わせ・色あわせ ガーデン・ナチュラル・ロマンチック・キュート・クラシック系統のイメージを知る ウェディングシーン別の提案をグループ別に発表
第9週	イメージと花②	お客様から言われたイメージワードを拾い、それに合わせた季節の花合わせ・色あわせ エレガント・モダン・シック・クール・ゴージャス系統のイメージを知る ウェディングシーン別の提案をグループ別に発表
第10週	前期試験について	前期、ブライダル担当としてのフラワー知識についてのまとめ 試験範囲や重要な部分の復習 前期不明な点の質疑応答
第11週	前期試験のフィードバック 和装の花装飾について	前期試験のフィードバックと質疑応答 和装婚礼の場合に必要な花装飾についての知識習得、和装ブーケの種類、髪飾り、会場装飾を知る 白無垢、色内掛け、和小物に合わせた花のコーディネートや提案の仕方
第12週	花に触れる③ － 花冠制作 －	ガーデンウェディングやレストランウェディングで人気がある花冠の制作実習 花材別のワイヤリングの仕方、フローラルテープの巻き方を習得 花冠とヘアスタイルのバランスの重要性、アンバランスの美しさを知る

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	ブライダル業界研究		担当講師	舩藏 大志
到達目標				
・ブライダル業界の業態と成り立ちを把握する ・就職活動に備え、業界の今を理解する ・業界の研究方法を身に付け、業界内において重要なことを理解する				
使 用 テキスト				
・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点20点 + 提出物評価20点 + 期末テスト60点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・2016年度ブライダル業界研究授業について、授業内容の説明を行います。 ・ブライダル業界を広義に捉え、成り立ちを理解します。 ・業界で働くにおいて最低限必要なことを理解します。
第2週	ブライダル業界の仕組み	・ブライダルセレモニー業界の仕組みについて理解します。 ・結婚式を作るスタッフの役割を理解します。 ・多項が複合して成り立つブライダル業界の仕組みを把握します。(パートナー企業)①
第3週	組織の成り立ち①	・多項が複合して成り立つブライダル業界の仕組みを把握します。(パートナー企業)② ・結婚式はどんな所で行われているのかを理解します。 ・業界への入り口を、様々な角度から検証・把握します。
第4週	組織の成り立ち②	・多項が複合して成り立つブライダル業界の仕組みを把握します。(パートナー企業)③ ・チームで結婚式を作ることの大切さについて理解します。 ・チームで働くにおいて大切なことを理解します。
第5週	結婚式の事例	・実際に行われた結婚式を通して、結婚式の意義や結婚式の役割を理解します。 ・お客様は結婚式を行うにおいて何を重視しているのかを理解します。 ・お客様の来館経緯と会場選びのポイントについて理解します。
第6週	ホテルウェディングとは	・ホテルで結婚式を行うお客様の、会場選びのポイントを理解します。 ・ホテルウェディングの強みを理解します。 ・業界研究、発表の仕方について把握します。
第7週	ハウスウェディングとは	・専門式場の種類を把握します。 ・専門式場で結婚式を行うお客様の、会場選びのポイントを理解します。 ・専門式場ウェディングの強みを理解します。
第8週	レストランウェディングとは リゾートウェディングとは	・レストランウェディングの業態について把握します。 ・リゾートウェディングの業態について把握します。 ・各業態で結婚式を行うお客様の、会場選びのポイントを理解します。
第9週	会場比較①	・「ホテルウェディング」と「ハウスウェディング」を比較し、強みと弱みについて理解します。 (「ホテル班」「ハウス班」に分かれ、それぞれの強みを発表します。) ※レポートの提出 ・今授業の復習を行います①
第10週	会場比較②	・「ハウスウェディングA」と「ハウスウェディングB」を比較し、強みと弱みについて理解します。 (「ハウスA班」「ハウスB班」に分かれ、それぞれの強みを発表します。) ※レポートの提出 ・今授業の復習を行います②
第11週	テストの解説	・テストの返却、解説を行います。 ・実際に行われた結婚式を通して、結婚式の意義や結婚式の役割を再確認します。 ・業界内について不明点などの質疑応答を行います。
第12週	今授業の総括	・今授業の総括を行います。 ・どこで結婚式を行うにおいても、お客様が大切にしている共通の思いについて理解します。 ・業界研究を振り返り、就職活動にどう役立てるのかを考えます。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	婚礼料理		担当講師	東山 善一
到達目標				
・日本の婚礼料理の歴史について学びます。				
・婚礼における「料理」について理解します。				
・和・洋のコースの成り立ちと食材に関する知識を身に付けます。				
・ホスピタリティ産業で働くプロフェッショナルに必要な知識と経験とは何かを考えます。				
使 用 テキスト				
授業でプリントを配ります。				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
授業への取り組み姿勢・ワークショップでの評価25%、期末試験75%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の進め方を理解します。 授業の概要、流れを理解します。
第2週	結婚式と食	結婚式後に行われる饗宴(披露宴)での食について学びます 婚礼料理の歴史について学びます
第3週	婚礼洋食	婚礼洋食の一般的なコースについて学びます 洋食婚礼の形式と料理、飲料について学びます
第4週	婚礼和食	婚礼和食の一般的なコースについて学びます。 和食婚礼の形式、祝い膳の料理の意味、日本酒について学びます。
第5週	婚礼料理の食材	婚礼料理に使われる主な食材とその儀礼的意味について学びます。
第6週	日本各地、世界各地の 婚礼食	日本各地の婚礼料理について学びます。 様々な国の婚礼料理について学びます
第7週	ウエディングケーキ	ウエディングケーキの歴史について学びます。 実際のウエディングケーキを調べるワークショップを行います。
第8週	婚礼料理と宴の形態	披露宴の進行(プランニング)との関わりについて学びます。 婚礼料理とテーブルプランの関係を学びます。
第9週	ブライダルマネジメントと 婚礼料理	婚礼を経営の視点からとらえた、「ブライダルマネジメント」 の中での婚礼料理について学びます。
第10週	前期のまとめ	授業の重要な学習についておさらいします。
第11週	プロフェッショナルの キャリア形成	女性が社会で活躍するためのステージについての現状を学びます。 ホスピタリティ プロフェッショナルのサービス品質について学びます。
第12週	質疑	これまでの授業で説明できなかった質問を取り上げて解説します。

前期シラバス

2016年度					前期				
対象学年		1 年		対象クラス		ブライダル 科		H クラス	
科目名		カラーコーディネイト			担当講師		小川 智子		
到達目標 カラーコーディネーター検定3級 合格を目指す。(12月4日受験予定) コーディネーターとしての色彩知識とコーディネート能力を身につける。									
使 用 テキスト カラーコーディネーションの基礎 3級 公式テキスト , 問題集									
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト … 80% 平常点 … 20% (提出物, 授業態度, 小テスト)									

	テーマ	授業内容
第1週	1章 色の性質	オリエンテーション 1節 色の効用とカラーコーディネーション 2節 色が見えるまで
第2週	2章 色と心理	1章 まとめ 1節 色の連想と象徴 2節 色がもたらす心理的効果
第3週	2章 色と心理	2章 まとめ
第4週	3章 色を表し、伝える方法	1節 色の表示方法とその特徴 2節 カラーオーダーシステムによる方法 マンセルシステム
第5週	3章 色を表し、伝える方法	2節 カラーオーダーシステムによる方法 CCIC , NCS
第6週	3章 色を表し、伝える方法	2節 カラーオーダーシステムによる方法 PCCS 3章 まとめ
第7週	4章 配色と色彩調和	1節 色彩調和の考え方
第8週	4章 配色と色彩調和	1節 色彩調和の考え方 2節 主な色彩調和論と調和の原則
第9週	4章 配色と色彩調和	2節 主な色彩調和論と調和の原則 4章 まとめ
第10週	5章 光から生まれる色	1節 光とは 2節 光が織り成す色彩現象
第11週	5章 光から生まれる色	3節 光源 5章 まとめ
第12週	6章 色が見える仕組み	1節 眼および脳の構造とその働き 前期のまとめ

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年		1年	対象クラス		ブライダル科	Hクラス
科目名		マナー・プロトコール		担当講師		大江 裕子
到達目標						
社会で常識とされる礼儀作法とマナー、国際プロトコール全般の知識を身につけ、それにあった振る舞いができるようになることを目指す。						
習得をはかる基準として、マナー・プロトコール検定3級の合格を目標とする。						
使 用 テキスト						
「さすが！」といわせる大人のマナー講座(マナー・プロトコール検定標準テキスト)						
成績評価方法						
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
上記を満たした上で、期末試験80%、授業確認テスト20%で成績を評価する。						

	テーマ	授業内容
第1週	序章 マナーとは何か	社会人になる前に、マナーを学ぶことの必要性和大切さについて認識する 受講ルールを示し受講する目的や、具体的に何を学びたいのかについて考える
第2週	第1章 マナーの歴史と意味	日本の礼儀作法の成り立ちについて学び確認する 西洋やアジアのマナーの成り立ちや違いを学び確認する
第3週	第2章 国際プロトコールマナー	プロトコールとは何かについて学ぶ プロトコールの原則、社交の場でのコミュニケーションについて学ぶ 外国人との付き合いでは特に必要となる内容を身につける
第4週	第3章 社会人に必要なマナー	第一印象の重要性、服装、立ち居振る舞いの基本を学び社会人に必要なマナーを理解する 言葉遣い、話し方、クッション言葉についてワークシートをもとに演習して確認する
第5週	第3章 社会人に必要なマナー	服装のマナーや基準を学び確認する 贈答習慣や贈り方のマナーやタブーを学び確認する 手紙のマナーを理解し、実際に形式に則った手紙を書いてみる
第6週	第1章～第3章復習	第1章～第3章授業内容の確認テストを実施し、不十分な箇所の復習を行う
第7週	第4章 ビジネスシーンのマナー	社会に出る前に、社会人おとしての心構えや会社の仕組み、企業活動の目的、企業人に必要な意識を知り 会社の仕組み、仕事の進め方を学び、「社会人と学生の違い」についてグループ討議を行う
第8週	第4章 ビジネスシーンのマナー	電話対応のポイントを学び、演習を行い実践力を身につける 来客対応を学び、ロールプレイング演習を行い実践力を身につける
第9週	第4章 ビジネスシーンのマナー	ビジネス文書のルールを確認する 第3章手紙のマナーを復習を兼ねて、実際に手紙を書いて再確認する
第10週	第4章 復習	これまでの授業のまとめ 確認テスト①～⑧復習テストを行い、不十分な箇所を見直すことが出来る
第11週	期末試験解説	期末試験解説を行い授業の総復習し、検定試験範囲内容の確認を行う
第12週	マナー演習	基本の席次確認、熨斗袋の種類と書き方、結婚式招待状の返信の書き方の実践を行う 実際の熨斗袋等を準備し、実践して身につける

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	就職活動講座		担当講師	安部 紀美江
到達目標				
・就職活動の重要性を認識させると同時に基本的な所作を体得させる。 ・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。				
使 用 テキスト				
・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。
第2週	就職活動の心構えと準備	・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・企業が求める人材とはどのような人かを考えさせる。 ・就職するにあたってのみだしなみの重要性を再確認させる。
第3週	就職活動の流れ	・当学校における就活の一連の流れを説明する。 ・就職室の正しい活用法を教える。 ・就職活動のルールを認知させる。
第4週	履歴書の書き方	・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。
第5週	職業を知る	・ブライダルの仕事とはどんな職業であるのかを認知させる。 ・ブライダル業界が求める人材を知ることで自身の適性とのすり合わせを図る。 ・自分と業界の接点を認識させる。
第6週	自分自身を知る	・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。 ・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。
第7週	自己分析	・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。 ・自分自身を棚卸しすることで自分を認知させる。 ・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。
第8週	自己PRの作り方	・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・企業でどう活かすのかを考え、文章にする。 ・「長所編」を作成
第9週	自己PRの作り方	・様々なバリエーションの自己PRを考え、どのような変化球へも対応できるようにする。
第10週	志望動機の作り方	・企業研究の方法を理解させ就活のスタートが早いブライダル業界に対応する。 ・志望理由の明確化と表現方法を身に付けさせる。
第11週	エントリーシートの書き方	・エントリーシートとはどのようなものであるかと重要性を認識させる。 ・エントリー方法を理解させる。 ・実際のエントリーシートを使いシュミレーションを行う。
第12週	完成品のチェック	・前期提出物のチェック

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	H クラス
科目名	プランナー実務		担当講師	田中 香利
到達目標				
・ブライダルプランナーになる為の基礎知識の習得				
・ブライダルプランナーとしてのウェディングシステムを使用した接客スキルの習得				
使 用 テキスト				
・リアルウェディングアカデミー(RWA A-B)				
(制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参・プリントアウト後ファイリング用クリアファイル持参)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
授業態度30% + 期末試験70%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・自己紹介 ・前期授業スケジュールの説明と成績評価方法についての説明 ・パソコンID セットアップ方法
第2週	ブライダル業界とは	・ブライダル業界を取り巻く職種とそれぞれの役割 (RWA-A) ・現在のブライダルプランナーの接客スタイルとは (RWA-B) ・ブライダルプランナーとしての打ち合わせの流れ 成約～当日 (RWA-B)
第3週	ブライダルのABC	・ブライダル用語とは ・挙式スタイルの分類 (RWA-A) ・披露宴のスタイルと一般的な流れ (RWA-B)
第4週	日本におけるブライダル 外国におけるブライダル	・ブライダルの歴史(日本・外国) ・ブライダルに関連した日本・外国の慣習・しきたり (RWA-A・B)
第5週	ブライダル市場の動向 ブライダル産業	・ブライダルの市場規模・近年の動向 ・ブライダル産業における関連業種 (RWA-A) ・ブライダル関連部門の組織・機能 (RWA-A・B)
第6週	ブライダルサービス実務 Vol. 1	・ブライダルサービスとは ・ブライダルサービス実務の一般的な流れ (資料請求対応～アンケート～会場案内～仮予約～本予約 (RWA-A・B)
第7週	ブライダルサービス実務 Vol. 2	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ (婚礼打ち合わせ～手配・発注～最終確認) (RWA-A・B)
第8週	ブライダルサービス実務 Vol. 3	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ (挙式当日～お開き後の業務～挙式日以降の業務) (RWA-A・B)
第9週	ブライダルサービス実務 に必要な接遇マナー Vol. 1	・接遇にあたっての心構え・身だしなみ・基本動作 ・言葉遣い(あいさつと基本接客用語)
第10週	ブライダルサービス実務 まとめ	・ブライダル用語理解 ・敬語の使い分け理解
第11週	ブライダルサービス実務 に必要な接遇マナー Vol. 2	・お客様対応上の留意点 ・よくある【クレーム】と【コンプレ】の実例
第12週	お見合いと結納における ブライダルサービス実務 近年における婚活事業	・お見合い 結納におけるサービス実務 ・近年における婚活事業(プロポーズレストランや婚活パーティなど)

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	クラス
科目名	面接対策		担当講師	大江 裕子
到達目標 模擬面接を通して、自分に足りないものは何か、それを補うには何をすべきかを考え、就職の目標と内定課題を明確にする 個別指導を通して、自分の課題に気づき、就職活動での自己表現力を伸ばす				
使 用 テキスト プリント(授業毎に配布)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 レポート50% 平常点50%(身だしなみ、出席、提出物、授業態度)				

	テーマ	授業内容
第1週	就職活動計画について	1年後期期末試験の振り替えり課題点をまとめる 就職活動の流れを理解し、積極的な自己との向き合いを行う 面接本番までに自分自身の課題を知り、個人の面接対策の目標を見直す
第2週	集団面接演習Ⅰ	実際に面接を受ける企業について調べて提出 模擬面接を通して、過去の面接質問に対応できる力をつける 集団・個人面接のまとめと実践(過去出題例を基に行う)
第3週	集団面接演習Ⅱ	実際に面接を受ける企業について調べて提出 模擬面接を通して、過去の面接質問に対応できる力をつける ポイントを確認し面接の完成度を高める
第4週	2次面接対策Ⅰ	2次面接の傾向を対策を知る 個々に質問される意図を理解し、面接演習を行う(ビデオ撮影) ビデオを通して客観的な目線で自分を知る
第5週	2次面接対策Ⅱ	2次面接の傾向を対策を知る 個々に質問される意図を理解し、面接演習を行う(ビデオ撮影) ビデオを通して客観的な目線で自分を知る
第6週	2次面接対策Ⅲ	2次面接の傾向を対策を知る 個々に質問される意図を理解し、面接演習を行う(ビデオ撮影) ビデオを通して客観的な目線で自分を知る
第7週	個人面接演習	最終面接の目的を理解し、個人面接演習を行う 個人に合わせた質疑応答を実践 根拠のある応答演習で質疑応答力を身につける
第8週	個人面接演習	最終面接の目的を理解し、個人面接演習を行う 個人に合わせた質疑応答を実践 根拠のある応答演習で質疑応答力を身につける
第9週	対策振り返り作業	就職活動の流れや面接内容をまとめて振り返り作業を行う 振り返り作業を通して、就職後の自分への課題をまとめる 個別チェック&フォローを行い、個々に応じての対策を行う
第10週	対策振り返り作業	就職活動の流れや面接内容をまとめて振り返り作業を行う 振り返り作業を通して、就職後の自分への課題をまとめる 個別チェック&フォローを行い、個々に応じての対策を行う
第11週	対策振り返り作業	就職活動の流れや面接内容をまとめて振り返り作業を行う 振り返り作業を通して、就職後の自分への課題をまとめる 個別チェック&フォローを行い、個々に応じての対策を行う
第12週	就職活動レポート作成	就職活動の流れ、面接内容、振り返りすべてをまとめて提出 現状の個別活動報告を行い、個々に応じての対策を行う

前期シラバス

2016年度		前期	
対象学年	2年	ブライダル科	クラス
科目名	就職活動講座	担当講師	安部 紀美江
到達目標 ・受験する企業の絞り込みと企業研究を充実させる。 ・面接対策のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。			
使 用 テキスト ・オリジナルレジュメ			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と提出による評価・・・70% 授業態度・・・30%			

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション・自己PR	・現在の就職活動状況の報告 ・冬の実習を使った自己PRを作成する。 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明
第2週	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント
第3週	自由表現	・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。
第4週	論文・作文の書き方	・就職試験における論文・作文の書き方を学び、書くときのポイントを整理する。 ・400字詰め原稿用紙2枚を使い、与えられた課題で実際に書いてみる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。
第5週	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。
第6週	受験企業の志望動機作成	受験企業の志望動機を完成させる。
第7週	企業研究・面接対策	・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。
第8週	企業研究・面接対策	・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。
第9週	内定後にすること	・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることを確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。
第10週	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。
第11週	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。
第12週	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	クラス
科目名	社会情勢研究		担当講師	前田 恭子
到達目標				
・新聞に興味を持ち、世の中の流れや話題になっているニュースを把握できるようになる。 ・記事の要旨をまとめ、自分の意見を交えて人に伝えることができるようにする。				
使 用 テキスト				
・講師作成プリント ・指示により新聞持参				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト80%、 平常点(課題・発表・授業態度)20%				

	テーマ	授業内容
第1週	主な新聞社・通信社	・授業の進め方、評価方法について理解する。 ・新聞を読むことの意義を理解する。 ・日本および主要国の新聞社・通信社がわかるようにする。
第2週	新聞の構成を知る	・新聞の構成を知り、必要な記事を探し出せるようにする。 ・コラムを読んで、筆者が伝えたいことがわかるようにする。
第3週	新聞研究・発表 (グループワーク)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・記事の中から「5W1H」を見つけることができるようにする。
第4週	新聞研究・発表 (グループワーク)	・記事の要旨を「5W1H」を意識して発表できるようにする。 ・記事をジャンル分けできるようにする。
第5週	新聞研究・発表 (グループワーク)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・難解な語彙を調べながら読むことができるようにする。
第6週	新聞研究・発表 (グループワーク)	・記事の要旨を声量や間を考えて自分の言葉で発表できるようにする。 ・発表内容から「5W1H」を聞き取り、メモができるようにする。
第7週	新聞研究③ (グループワーク)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・記事の背景を考えながら記事を読むことができるようにする。
第8週	新聞研究・発表 (グループワーク)	・記事の要旨を写真・絵・図を使って発表できるようにする。 ・発表内容の要旨を書きとめながら発表を聞くことができるようにする。
第9週	新聞研究・発表 (グループワーク)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・興味の幅を拡げて記事を読めるようにする。
第10週	新聞研究・発表 (グループワーク)	・記事の要旨を自分が調べた内容を交えながら発表できるようにする。 ・発表内容から疑問点を考えることができるようにする。
第11週	・期末試験フィードバック ・新聞研究・発表 (個人)	・期末試験の解説を聞き、疑問点をなくす。 ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。 ・記事に対する質疑応答ができるように準備する。
第12週	新聞研究・発表 (個人)	・記事の要旨を自分の意見を交えながら発表できるようにする。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Iクラス
科目名	ブライダル演習		担当講師	田中 香利
到達目標 ・ブライダル業界の集客戦略の取得 （ ブライダルフェア企画・プラン作成・ゼクシィ誌面作成 ）				
使 用 テキスト ・リアルウェディングアカデミー（RWA A-B） ・ブライダル広告媒体ゼクシィ 等 （制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参・プリントアウト後ファイリング用クリアファイル持参）				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度30% + 期末試験70%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 集客戦略とは	・自己紹介 ・前期授業スケジュールの説明と成績評価方法についての説明 ・パソコンID セットアップ方法 ・ブライダル業界における集客戦略の構成とは（フェア・プラン・特典・特徴）
第1週	ブライダルフェアとは I	・ブライダルフェアの構成 会場ごとの[売り]・[タイトル表記]・[開催時期]・[開催内容]を把握する
第2週	ブライダルフェア予算とは	・ブライダルフェア予算 と 集客目標
第2週	ブライダルフェア予算とは	・ブライダルアイテムの売価と原価
第3週	ブライダルプランとは	・ブライダルプラン構成 ・さまざまなプランの特徴
第3週	ブライダルプランとは	・プラン原価 売価 ・スタンダード見積もりとプラン見積もりの違い
第4週	ブライダルプラン企画	・チーム分け ・リーダー決定 ・書記決定 ・企画手順決定 ・プラン企画詳細ブレスト
第4週	ブライダルプラン企画書作成	・企画書作成
第5週	ブライダルプラン作成	・ブライダルフェア フライヤー作成
第5週	ブライダルプラン作成	・ブライダルフェア フライヤー作成
第6週	ブライダルプラン プレゼンテーション	・チームごとにブライダルプランをプレゼンテーション（検証）
第6週	ブライダルプラン プレゼンテーション	・チームごとにブライダルプランをプレゼンテーション（検証）

前期シラバス

2016年度 前期(後半)				
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Iクラス
科目名	ブライダル演習(セレモニープロデュース)		担当講師	船藏 大志
到達目標				
・自らテーマを決め企画を立案し、順序建てて考え行動できるようになる。 ・チームでプロジェクトを成功させるために、自分の役割を考え行動できる人間になる。 ・ブライダル業界の業態について理解する。				
使 用 テキスト				
・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点20点 + 提出物評価20点 + 期末テスト60点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・2016年度前期授業内容の解説を行います。 ・授業を進める上で、簡単なアンケートの協力をお願いします。 ・「企画の作り方」について解説します。
第2週	会場見学に向けて	・チームでプロジェクトを成功させるために必要な、プランナーの資質について解説します。 ・予定している会場見学にあたり、会場見学のポイントを解説します。 ・テーマを決め、企画書の作成に入ります。
第3週	会場見学	・実際の結婚式場の見学を予定しています。 ・見学のポイントを押さえ、その会場の特長や魅力を発見します。 ・会場見学レポートの作成を行います。(第4週にて提出してもらいます。)
第4週	企画会議	・テーマに沿った企画内容を考えます。 ・目的や目標を明確にし、何をするのか具体的な企画や流れを考えます。 ・企画書を完成させ、必要な役割を考えます。
第5週	役割分担・行動計画	・必要な役割に沿って、役割分担を行います。 ・誰が何をいつまでに行うのか、具体的に行動計画を立てます。 ・各担当者での情報の共有を行います。
第6週	実習準備①	・必要なものを確認し、リスト化します。 ・リストに沿って、手配・制作を行います。 ・当日の流れに沿って、自分の動きを確認します。
第7週	実習準備②	・必要なものを確認し、リスト化します。 ・リストに沿って、手配・制作を行います。 ・当日の流れに沿って、自分の動きを確認します。
第8週	実習準備③	・必要なものを確認し、リスト化します。 ・リストに沿って、手配・制作を行います。 ・当日の流れに沿って、自分の動きを確認します。
第9週	実習準備④	・必要なものを確認し、リスト化します。 ・リストに沿って、手配・制作を行います。 ・当日の流れに沿って、自分の動きを確認します。
第10週	テスト対策	・2016年度前期後半授業内容を整理します。 ・現在の問題点・修正点について話し合います。 ・テスト対策を行います。
第11週	テスト解説・リハーサル	・2016年度前期後半ブライダル演習テストの、回答・解説を行います。 ・実習に向けた最終調整・学内でのリハーサルを行います。 ・各担当者での情報の共有を行います。
第12週	最終調整・リハーサル	・実習に向けた最終調整・学内でのリハーサルを行います。 ・各担当者での情報の共有を行います。

前期シラバス

2016年度					前期						
対象学年		2		年		対象クラス		ブライダル 科		I クラス	
科目名		プレゼンテーション				担当講師		小川 智子			
到達目標 相手を説得し、行動させる能力を身につけ、就職活動やプランナーとしての業務に活かす。											
使 用 テキスト 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎											
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 発表の内容と授業態度 … 50% 提出物による評価 … 50%											

	テーマ	授業内容
第1週	プレゼンテーションとは何か プレゼンテーションの特性	プレゼンテーションの必要性
第2週	「自分」と「相手」を知る	インタビューと顧客ファイル作成
第3週	目的(テーマ)を明確にする	オープンキャンパスにてブライダル科を高校生に紹介する
第4週	プレゼンテーションのための 情報収集	情報収集のワーク
第5週	シナリオを作成する	シナリオと発表ツールの作成
第6週	プレゼンテーション①	学科紹介実践
第7週	発表資料の作成とシナリオ の統合	効果的なツールとは
第8週	発表資料の作成とシナリオ の統合	発表ツールの作成と準備
第9週	効果的に伝える	伝え方の極意
第10週	プレゼンテーション②	ブライダル業界と顧客の変化と実態
第11週	プレゼンテーション③	私自身をプレゼンテーションする
第12週	プレゼンテーションの実施と 振り返り	まとめと振り返り

前期シラバス

2016年度					前期										
対象学年		2		年		対象クラス		ブライダル科			I			クラス	
科目名		ブライダルデザイン					担当講師		小川 智子						
到達目標															
ブライダルプランナーとしてのイメージ造りから、創作能力、プレゼンテーション能力の向上を目指す。															
使 用 テキスト															
ファッション＆ビューティーの色彩															
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。															
作品評価と授業態度 … 50%															
提出物による評価 … 50%															

	テーマ	授業内容
第1週	プランナーに求められる「個性と表現力」とは…	エントリーシートの作成
第2週	イメージ戦略 実習	ファッションとビューティーにおける色彩の役割 私服のコーディネートについて考える
第3週	カラーコーディネート応用	色の表し方
第4週	カラーコーディネート応用	色の見え方とイメージ①
第5週	カラーコーディネート応用	色の見え方とイメージ② イメージ通りのスタイルを提案するには…
第6週	カラーコーディネート応用	配色の基本①
第7週	カラーコーディネート応用	配色の基本② トータルコーディネート提案
第8週	ドレスデザイン 実習	憧れの一着をデザインする ドレスとブーケのトレンド 調べ学習
第9週	トータルコーディネート	ブライダルフェアのプランニング 顧客の目を引くデザインとは
第10週	トータルコーディネート	ブライダルフェアのプランニング ディスプレイのプランニングと制作
第11週	トータルコーディネート	ブライダルフェアのプランニング ディスプレイのプランニングと制作
第12週	トータルコーディネート	ブライダルフェアのプランニング 発表準備

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	I(選択)クラス
科目名	HRS実技試験対策		担当講師	田才 亜紀子
到達目標 ホテルレストランにおける基本的なサービス方法・ルール・事故対処方法・食事のマナーを学び HRS3級 合格を目指す				
使 用 テキスト 103教室備品 プリント適時				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業内での中間実技試験30%＋期末実技試験50%（計80%） 併せて平常点20%を加味して評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業内容、目的、スケジュール、評価方法、昨年度の試験内容、結果報告など ロールプレイに当たっての基本説明(テーブルセッティング) 朝食のメニューについて
第2週	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えから水、紅茶サービスまでのロールプレイ ・整理整頓
第3週	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからパンサービスまでのロールプレイ ・整理整頓
第4週	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ ・整理整頓
第5週	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからバッシング、リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法 ・整理整頓
第6週	中間テスト	・朝食サービスのロールプレイの内容で中間実技試験
第7週	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・ランチメニューについて ・お迎え～オーダーテイクまでのロールプレイ ・整理整頓
第8週	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～パンサービスまでのロールプレイ ・整理整頓
第9週	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～コーヒー出しまでのロールプレイ ・整理整頓
第10週	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法 ・整理整頓
第11週	期末試験説明	・テーブルセッティング(昼食) ・期末試験課題範囲発表と練習
第12週	期末試験(実技)	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて期末実技試験

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2 年	対象クラス	ブライダル 科	I選択 クラス
科目名	HRS学科試験対策		担当講師	長野 美穂
到達目標 8月に実施されるレストランサービス技能検定の学科試験合格を目指す 衛生管理やプロトコルを学び、広い視野でサービスを行えるようになる				
使 用 テキスト 西洋料理 料飲接客サービス技法				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ミニテスト、平常点、期末試験を総合的に評価する。 テキスト忘れは2回で欠席。				

	テーマ	授業内容
第1週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	食品の基礎知識 栄養素を覚える
第2週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	主な食材の基礎知識 緑黄色野菜と淡色野菜の違い
第3週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	フルコース復習 オールドウーブルからデセールまで
第4週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	ワイン復習 フランスワインの格付け
第5週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	その他の飲料 ビール、コーヒー、紅茶、アンフュージョン
第6週	ミニテスト①	第5週までのミニテスト * 期末試験の評価に加味します
第7週	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食事用具 銀器の名称と取扱い
第8週	第5章 施設管理	施設の知識 消火器などの消防用設備 他
第9週	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生 食中毒を引き起こす菌の名前
第10週	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生 食品の保存方法、寄生虫、殺菌及び消毒
第11週	第8章 安全衛生	食品衛生法関係法令 安全衛生に関する知識
第12週	ミニテスト②	第6週～第11週のミニテスト * 期末試験の評価に加味します

トラベル科 鉄道科

トラベル・鉄道

学年	科目名	クラス	ページ
1	業法（国内管理者）	K	63
1	約款（国内管理者）	K	64
1	国内観光地理Ⅰ（国内管理者対策）	K	65
1	国内観光地理Ⅱ（国内管理者対策）	K	66
1	国内運賃・料金（国内管理者対策）	K	67
1	旅行業務入門	K	68
1	添乗業務（国内）	K	69
1	アクセス	K	70
1	海外観光地理	K	71
1	就職活動講座	K	72
2	国内観光地理	L	73
2	海外観光地理	L	74
2	アクセス	L	75
2	就職活動講座	L	76
2	面接対策	L	77
1・2	総合管理者Ⅰ	K・L選択	78
2	国内管理者Ⅰ	L	79
2	サービス接遇検定対策	L・N	80
1・2	総合管理者Ⅱ	K・L選択	81
2	国内管理者Ⅱ	L	82
2	旅行業界概論	L	83
2	旅行業英語	L	84
2	カウンター販売（海外）	L	85

鉄道

学年	科目名	クラス	ページ
1	鉄道概論Ⅰ	M	86
1	鉄道係員	M	87
1	鉄道基礎Ⅰ	M	88
1	時刻表	M	89
1	鉄道業界研究	M	90
1	業法（国内管理者）	M	91
1	約款（国内管理者）	M	92
1	国内観光地理Ⅰ（国内管理者対策）	M	93
1	国内観光地理Ⅱ（国内管理者対策）	M	94
1	国内運賃・料金Ⅰ（国内管理者対策）	M	95
1	国内運賃・料金Ⅱ（国内管理者対策）	M	96
1	就職活動講座	M	97
1	就職筆記対策Ⅰ	M	98
1	就職筆記対策Ⅱ	M	99
1	就職筆記対策Ⅲ	M	100
2	鉄道概論Ⅱ	N	101
2	鉄道概論Ⅲ	N	102
2	鉄道車両Ⅱ（電車）	N	103
2	鉄道車両Ⅲ（電車）	N	104
2	鉄道車両Ⅲ（気道車）	N	105
2	鉄道車両Ⅳ（気道車）	N	106
2	就職筆記対策Ⅰ	N	107
2	就職筆記対策Ⅱ	N	108
2	手話	N	109
2	ペン字	N	110
2	鉄道業界研究	N	111
2	就職活動講座	N	112
2	鉄道駅実務	N	113
2	プレゼンテーション	N	114
2	国内管理者Ⅰ（業法・約款）	N	115
2	国内管理者Ⅰ（国内実務）	N	116

前期シラバス

2016年 前期 月曜日 3限				
	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	業法(国内管理者)		担当講師	丸山 時男
到達目標 国内旅行業務取扱管理者試験合格(国家試験)				
使 用 テキスト 2016年旅行業法・約款(JTB総合研究所)、科目別問題集(JTB総合研究所)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験60%、平常点40%(課題提出・小テスト)				

	テーマ	授業内容
第1週	旅行業法とは	授業の進め方、評価方法 国家試験の概要 旅行業法の条文の構成と学習法
第2週	第1章 総則	旅行業法の目的と定義(第1条～第2条)
第3週	第1章 総則	旅行業の定義(代理、媒介、取次、利用) 旅行業と旅行業者代理業
第4週	第2章 旅行業等	登録制度、旅行業の種類と業務の範囲 旅行業法施行規則(第1条～4条)
第5週	第2章 旅行業等	登録拒否(第6条) 有効期間、更新、変更(第6条2～4) 旅行業法施行規則(第4条～5条)
第6週	営業保証金制度	小テスト 営業保証金の供託と供託額(第7条～8条)
第7週	営業保証金制度	営業保証金の追加供託、取り戻し、保管替え等(第9条) 取引額の報告(第10条)
第8週	旅行業務取扱管理者制度	旅程管理(第12条の10～12条の11) 取扱管理者の選任、試験、証明書の提示(第11条～12条の5の2) 取扱管理者の職務(施行規則10条)
第9週	取扱料金表 旅行業約款	標識の掲示(第12条の9) 取扱料金表の掲示(第12条) 旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款の掲示(第12条の3)
第10週	取引条件の説明 書面の交付	小テスト、課題提出 取引条件の説明内容、書面の交付内容(第12条の4～12条の5) 説明事項、書面の記載事項(共同規則3条～9条)
第11週	広告、禁止行為	受託契約(第14条の2) 外務員証の携帯(第12条の6) 企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8) 禁止行為・名義利用の禁止(第13条～14条)、施行規則
第12週	旅行業協会制度	旅行業協会の法定業務、弁済業務保証金制度(第22条の3～22条の16)

前期シラバス

2016年 前期					金曜日 1限					
対象学年		1 年		対象クラス		トラベル科		Kクラス		
科目名		約款(国内管理者)			担当講師		丸山 時男			
到達目標										
国内旅行業務取扱管理者試験合格(国家試験)										
使 用 テキスト										
2016年旅行業法・旅行業約款(JTB総合研究所)、2016年宿泊・運送約款(JTB総合研究所)										
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。										
期末試験60%、平常点40%(課題提出・小テスト)										

	テーマ	授業内容
第1週	旅行業約款とは	授業の進め方、 評価方法 。約款とは 。旅行契約の種類 。国家試験の国内と総合の範囲
第2週	募集型企画旅行	。総則(定義,契約の内容) 。手配代行者 。契約の締結
第3週	同上	。契約の変更
第4週	同上	。契約の解除
第5週	同上	。団体、グループ契約 。旅程管理 。責任 。理解度チェック小テスト
第6週	同上	。旅程保証 。変更補償金
第7週	受注型企画旅行	。企画旅行契約との相違点 。総則(定義,契約の内容) 。手配代行者 。契約の締結 。契約の変更 。契約の解除
第8週	特別補償規程	。補償金等の支払い(責任、定義) 。補償金等を支払わない場合 。補償金等の種類及び支払い額
第9週	特別補償規程	。補償金等(身体への傷害)と損害補償金(携帯品)の相違点 。携帯品損害補償金の支払い
第10週	手配旅行	。企画旅行契約との相違点 。総則 。契約の成立 。契約の変更及び解除 。課題の提出
第11週	手配旅行	。旅行代金 。団体,グループ手配 。責任
第12週	旅行相談	。契約の内容 。責任

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年		1年	対象クラス		トラベル科	K クラス
科目名		国内観光地理Ⅰ(国内管理者対策)		担当講師	挽田 雅子	
到達目標						
国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す 国内実務科目のうち国内観光地理の知識について学びます。 観光箇所の名称・所在地・プロフィール・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点できるようする。						
使 用 テキスト		国内旅行地理ベーシック300+α 旅に出たくなる地図 4国内観光資源 国内観光地理サブノート				
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(70%) 平常点(授業態度10% 小テスト10% 課題提出10%)				

	テーマ	授業内容
第1週(4/11)	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 旅に出たくなる地図を読む 白地図に記入する
第2週(4/18)	島・半島	旅情イメージにあふれる島・半島 ツアータイトルに使われる島・半島 全国33の地域・特徴を覚える
第3週(4/25)	湖・川・滝・鍾乳洞	日本三大湖沼、三大急流など 三大瀑布など 三大鍾乳洞など、全国38の観光スポット
第4週(5/9)	温泉	温泉を覚える 北海道・東北・関東 人気のある旅先
第5週(5/16)	主な観光地	歴史ある街並みや建造物が残る観光都市 名園、花の名所 テーマパーク
第6週(5/30)	地理検定問題	第39回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題
第7週(6/6)	北海道・青森	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 知床・函館・ねぶた祭り
第8週(6/13)	山形・福島・茨城	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 出羽三山、会津若松城、偕楽園
第9週(6/20)	千葉・東京・神奈川	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 成田山新勝寺、三社祭、鎌倉
第10週(6/27)	福井・山梨・長野	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 永平寺、富士五湖、上高地
第11週(7/4)	岐阜・静岡・愛知	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 白川郷、伊豆半島、犬山城
第12週(7/18)	総復習	期末テストの解説 前期のまとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	トラベル科	K クラス
科目名	国内観光地理Ⅱ(国内管理者対策)		担当講師	挽田 雅子
到達目標				
国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す 国内実務科目のうち国内観光地理の知識について学びます。 観光箇所の名称・所在地・プロフィール・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点できるようにする。				
使 用 テキスト	国内旅行地理ベーシック300+ α 旅に出たくなる地図 4国内観光資源 国内観光地理サブノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(70%) 平常点(授業態度10% 小テスト10% 課題提出10%)			

	テーマ	授業内容
第1週(4/12)	山・高原・溪谷	必須59の山を覚える 新緑や紅葉の名所 眺望、夜景の素晴らしい峠や山々
第2週(4/19)	海岸・岬	必須27の海岸・岬を覚える 日本三景など 断崖、奇岩、遊覧船巡り
第3週(4/26)	寺社・城跡	必須30の寺社、城跡 世界遺産の寺院・神社 歴史的、芸術的、観光的に名高い寺社、城跡
第4週(5/10)	温泉	温泉を覚える 中部、関西、中国、四国、九州 人気のある旅先
第5週(5/17)	地理検定問題	第37回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題
第6週(5/24)	地理検定問題	第38回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題
第7週(5/31)	地理検定問題	第40回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題
第8週(6/7)	岩手・宮城・秋田	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 平泉、三陸海岸、男鹿半島
第9週(6/14)	栃木・群馬・埼玉	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 日光、草津温泉、川越
第10週(6/21)	新潟・富山・石川	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 佐渡島、黒部峡谷、能登半島
第11週(7/5)	三重・滋賀・京都	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 伊勢神宮、延暦寺、二条城
第12週(7/12)	大阪・兵庫・奈良	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 天神祭、六甲山、吉野山

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M クラス
科目名	国内運賃・料金Ⅰ（国内管理者）		担当講師	中牟田 哲也
到達目標				
・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
・国内旅行実務のうち、運賃・料金の知識を習得する				
使 用 テキスト				
・3国内運賃・料金 ・JR時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
1. 期末試験 60%				
2. 平常点 40%（授業態度、ミニテスト等）				

	テーマ	授業内容
第1週	「運賃」・「料金」とは JRの基礎	運賃と料金の違い JR旅客6社(本島3社と3島会社) 乗車券の種類・発売日・有効期間
第2週	JR運賃計算の基本(1)	幹線と地方交通線 各種運賃表 運賃計算の手順
第3週	JR運賃計算の基本(2)	本島会社と3島会社相互の運賃計算 練習問題
第4週	JR料金の基本	5つの料金 練習問題
第5週	新幹線	新幹線の路線網 新幹線の料金計算 新幹線の特例
第6週	乗り継ぎ割引	乗り継ぎ割引の条件 練習問題
第7週	JR割引運賃 団体旅客の取り扱い	各種割引の条件と割引率 団体割引の計算の手順
第8週	JR団体運賃・料金	団体割引と無賃扱い 練習問題
第9週	JR運賃の特例	特定都区市内制度 特定区間、新幹線と在来線 区間外乗車・大都市近郊区間
第10週	JR運賃料金のまとめ	総合練習問題
第11週	貸切バス運賃・料金 フェリー運賃・料金	貸切バスの運賃料金 フェリーの運賃料金
第12週	運賃料金のまとめ	総合練習問題

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	トラベル 科	K クラス
科目名	旅行業務入門		担当講師	藤田 祐子
到達目標				
旅行業界の全体的なこと、および、旅行業務の実務的な面の基礎知識を、学びます。 実務知識のひとつひとつは、各科目で深く掘り下げるとして、その復習的な学習、および、業界の全体的な概要をまずは知るための授業とします。企業実習でも使う知識も多いので、少しずつ習得して慣れてください。				
使 用 テキスト				
旅行業務入門				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験				

	テーマ	授業内容
第1週	導入・旅行業の課題	旅行会社の仕事 旅行業の歴史 課題
第2週	商品と旅行業務	旅行商品 旅行会社の業務と部門
第3週	パンフレット研究	国内、海外のパンフレットを見てみよう
第4週	国内航空知識	空港コード、航空会社コード、運賃、空港での手続きなど
第5週	その他の交通機関／宿泊機関	宿泊施設の種類など
第6週	パッケージツアー・その他販売関連	パッケージツアー、そのほかの国内旅行商品、保険など
第7週	国内団体・海外業務の基礎	国内団体とは 海外旅行業務の基礎導入
第8週	時差・国際航空	国際航空の基礎
第9週	国際鉄道・クルーズなど	国際列車の種類など
第10週	海外宿泊機関・パッケージツアーとFIT・保険	海外のホテル用語など、パッケージツアー、FIT、保険の販売
第11週	海外渡航手続きと出入国手続き	海外旅行の渡航手続き、空港での出入国手続き
第12週	まとめ	前期まとめ、期末テスト振り返り

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	トラベル科	K クラス
科目名	添乗業務（国内）		担当講師	長 英 二
到達目標				
・国内添乗業務の基礎知識の習得				
・講師の添乗体験談を通して、添乗業務の厳しさとやりがいを知る				
・授業内容から旅行業界全体のイメージを掴み、旅行業界に進む際の判断材料とする				
【使用テキスト等】				
・「ツアーコンダクター入門（JHRS）」				
・蛍光ペン（濃淡2色）＋赤ペン				
・プリント				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・期末試験70%＋平常点（出欠・授業態度・提出物）30% ※特に授業態度重視				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション /添乗員の役割①	・授業の進め方 ・評価方法 ・お客様の期待 ・旅行契約 ・旅程管理者としての添乗員
第2週	添乗員の役割②	・添乗員と営業・販売担当者との関係 ・添乗員の役割と立場 （旅行に同行してお客様と楽しむことだけが添乗員の仕事ではない：ハードな仕事）
第3週	添乗員の役割③	・業務の特徴に基づく留意点 ・添乗員に必要な資質と能力、豊富な知識と話題 ・接客マナー・身嗜み・言葉遣い
第4週	添乗員の基礎知識①	①宿泊 ②貸切バス ③鉄道
第5週	添乗員の基礎知識②	①観光（入場・見学・参拝） ②航空 ③食事
第6週	添乗実務（準備）	①添乗引継・確認作業（お客様・業者）・持参物 ②現地事情
第7週	添乗業務（日帰り編）	①集合～解散までの流れ ②添乗精算・添乗報告
第8週	添乗業務（宿泊編①）	①旅行初日：集合～鉄道利用～宿泊までの流れ、チェックイン（宿泊） ②夕食・宴会
第9週	添乗業務（宿泊編②）	①旅行最終日：集合～鉄道利用～帰着までの流れ、チェックアウト（宿泊） ②航空利用の場合 ③事故・トラブルへの対応（トラブル処理こそ最大のチャンス！）
第10週	基礎編のまとめ	①期末試験対策 ②9週目までの疑問点についての質疑応答
第11週	応用編①	①期末試験結果のフィードバックと解説 ②添乗業務についての総括的講義
第12週	応用編②	①旅行業務についての総括的講義

前期シラバス

2016年度					前期		
対象学年		1年	対象クラス		トラベル科	K	クラス
科目名		アクセス		担当講師		横瀬 敦子	
到達目標							
国内線の空席照会からの予約や変更、座席指定などの基本操作を習得し、練習問題を多くこなすことで処理能力を高める。 また、実務に役立つ知識や専門用語を学ぶ。							
使 用 テキスト							
AXESS国内予約発券業務の基礎・国内早見表 その他、練習問題							
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(30%＝授業態度10%、小テスト10%、提出物10%を含む) 期末試験(70%)							

	テーマ	授業内容
第1週	基礎知識	アクセス端末の各名称(キーボードの場所を含む)や入力時の注意点を学ぶ。 旅行業界で使用されるCRS予約端末機についての説明を行う。 必要な知識(空港/都市コード/航空会社の正式名称)を学ぶ。
第2週	空席照会	予備知識(予約受付期限/発券期限/国内年齢区分など)を学ぶ。 空席照会の入力方法と画面の見方を学ぶ。 ※航空会社コード(2レター)と月コードの小テスト実施
第3週	空席照会からの予約	空席照会の応用操作(復路便や接続便表示方法など)も学ぶ。 空席照会から直行便と乗り継ぎ便の予約を行う。
第4週	旅客データの入力 I	旅客名の入力を学ぶ。(国内ヘボン式ローマ字入力と家族・外国人・同伴幼児含) 連絡先・申込者の入力を学ぶ。
第5週	旅客データの入力 II	旅客名・連絡先・申込者の訂正や削除を学ぶ。 ※旅客氏名入力(ヘボン式ローマ字) 小テスト
第6週	PNRの完了と中断	PNR(予約記録)の構成と必要な4要素を学ぶ。 PNR作成までの流れを学び、基本的な入力を行う(アクセス基本操作取得)。 PNRの完了と中断、抽出方法を学ぶ。
第7週	その他の予約方法	キャンセル待ちの予約・便指定の予約方法を学ぶ。 様々なPNRを作成し、予約コードの流れを確認する。 新規予約のロールプレイ(空席照会～予約～旅客名の入力まで)を行う。
第8週	予約の変更と取り消し	予約便の取り消しと変更の手順を学ぶ。
第9週	事前座席指定 I	事前座席指定の入力方法と、その注意点を学ぶ。 国内線機内シートマップの見方を学ぶ。 シートマップより機内窓側や通路側を選択し座席指定を行う。
第10週	事前座席指定 II	予約変更～事前座席指定までの復習(質疑応答形式)。 予約変更に伴う座席の変更について説明を行う。
第11週	ロールプレイ	事前座席指定以外の特別サービスについて学ぶ(SSR入力)。 予約変更時のロールプレイ(予約便変更～座席指定まで)を行う。 アクセスの予約基本～応用まで習得。
第12週	期末テスト	前期のまとめ(空席照会～事前座席指定までの流れを理解できているか PNRを作成しながら確認する) 期末テスト

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	トラベル 科	K クラス
科目名	海外観光地理		担当講師	藤田祐子
到達目標				
10月総合試験に向け、前期は主要国の観光地を広く学習します。観光でめぐる観光地名、特徴、特産品、料理、祭り、などを学びます。日ごろから、海外旅行のパンフレットを目にし、テレビの旅番組などを積極的に見るようにして、覚えていってください。				
使 用 テキスト				
旅に出たくなる地図、海外観光資源(JTB)、プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験＋平常点(小テスト)				

	テーマ	授業内容
第1週	導入・中国	学習の仕方などを説明。 観光資源の解説、地図で位置確認 広大な土地の中国、アジアでも覚える観光地が多いNo. 1の国です。早めに慣れておきましょう。
第2週	中国	中国の観光資源を、北から南へと、各都市の特徴をとらえて学びます。 中国の地名は漢字表記です。早めに土地の名前に慣れることが大事です。
第3週	韓国	中国小テスト 韓国の観光資源を首都ソウルから順に見ていきます。日本から一番近い海外です。 リピーターも多いので、早く観光地の名前に慣れておきましょう。
第4週	東南アジア I	韓国小テスト 東南アジアを、主要国を中心に見ていきます。タイ、シンガポールなど、日本人に人気の高い国から順番に大まかに学んでいきます。
第5週	東南アジア II	小テスト 引き続き東南アジアの主要な国の観光資源を学んでいきます。東南アジアはリゾートも多いです。 整理して学びましょう。
第6週	イギリス	小テスト ヨーロッパの主要な国を学びます。イギリスは、ヨーロッパの歴史でも重要な国です。 多くの見どころと、文化があります。
第7週	フランス	小テスト フランスもヨーロッパでは重要な観光国です。面積も広く、地域によっての気候や特徴も違います。 地域ごとの呼び名もありますので、徐々に慣れていきましょう。
第8週	ドイツ	小テスト ドイツも歴史が深い国です。また、大きな特徴として、「観光街道」が有名です。有名な観光街道を中心としたツアーも多くあります。
第9週	イタリア	小テスト イタリアは食文化も日本人に合い、日本人に人気の国の一つです。地中海に面した温暖な気候も特徴ですが、ローマ帝国という長く強大な一時代の中心となった国でもあります。歴史遺産が多いです。
第10週	アメリカ	小テスト アメリカは、歴史が若い国です。しかし、文化的にも世界に影響を与える国です。 西海岸、東海岸などを中心に、主な都市の観光を見ていきます。
第11週	アメリカ・ハワイ	小テスト 引き続きアメリカの観光資源を学びます。また、太平洋のハワイ諸島も日本人には馴染みの観光地です。
第12週	まとめ復習	前期のまとめ、期末テスト振り返り

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	トラベル 科	K クラス
科目名	就職活動講座		担当講師	藤田祐子
到達目標				
専門学校においては、就職することが最大目標であることを再認識し、基本的な姿勢を習得します。 自己PRや自己分析を的確に行い、また、就職活動の流れを早くつかんでおくことを目標とします。				
使 用 テキスト				
SUCCESS、 就職ノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物、授業態度により評価を行う				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	自己紹介(業界を志望する理由、目指す職業など) 授業の進め方の説明をします。就職とは何か、社会人の心構えとは、 など、自分と向き合うことから始めましょう。
第2週	就職活動の心構え・準備	就職とは、を考えて自分なりの就職の目標を考えます。 身だしなみはなぜ大切か、を考えましょう。 学生と社会人の違いは何でしょうか。
第3週	就職活動の流れ・履歴書の書き方	当校における流れの説明 就職室の利用方法 履歴書の書き方 就職活動のルール
第4週	自分を知る	自分自身をどれだけわかっているか、を考えましょう。 自分のライフスタイルは、どうなのか、を向き合ってみましょう。 将来の夢や目標は何でしょうか。
第5週	自己分析①	自己分析の意義は、就職活動において何なのか、を考えます。 過去・現在の自分の掘り起こしをして、自己分析の基礎とします。
第6週	自己分析②	自分で考える自身の性格を記述してみましょう。 自分の能力や適性の把握を考えてみましょう。
第7週	職業を知る	業界の歴史について理解して行きます。 業界が求める人材はどんな人物かを考えます。 自分と業界の接点の認識を考えます。
第8週	自己PR作成①	自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けします。 企業でどう活かすのかを考え文章にします。
第9週	自己PR作成②	300字以内で書いてみよう。 自分の自己PRを分析をもとに、文章にしていきましょう。
第10週	志望動機の作り方	個人別志望動機を自己分析から抽出します。 業界とのマッチングをどう表現するか、考えましょう。 志望の根拠の確認をします。
第11週	志望動機作成	300字以内で書いてみよう。 文章にして考えていきましょう。
第12週	前期の振り返り	自分自身をどれだけ分析できたかを確認してください。 前期まとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	L クラス
科目名	国内観光地理		担当講師	挽田雅子
到達目標 各県、観光地の見どころを詳しく学ぶ 旅行業界で必要とされる知識を身につけ、パンフレット等に記載されている企画商品などの内容を旅行通のお客様にコンサルティングできるようにする。また、お客様のご希望を承って旅程を作成できるようにする。				
使 用 テキスト 国内観光地理				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験80% 平常点(授業態度等)20%				

	テーマ	授業内容
第1週	九州沖縄エリア	北・西九州ブロック 福岡・北九州・佐賀・唐津・長崎・雲仙・島原・西海 観光ポイント・文化の理解
第2週	九州沖縄エリア	中九州ブロック 熊本・天草・阿蘇・くじゅう・湯布院・別府・大分・国東・耶馬溪 名所・温泉
第3週	九州沖縄エリア	南九州ブロック 鹿児島・桜島・薩摩半島・霧島・宮崎・日南・高千穂 国立公園・庭園・リゾート
第4週	九州沖縄エリア	沖縄・奄美ブロック 沖縄本島・宮古諸島・先島諸島・奄美群島・種子島・屋久島 世界遺産・自然観光資源
第5週	九州沖縄エリア	九州・沖縄全域 祭り・年中行事 工芸品・郷土料理
第6週	中国・四国エリア	山陰ブロック 丹後・山陰海岸・鳥取・大山・松江・隠岐・出雲 観光ポイント・文化の理解
第7週	中国・四国エリア	山陽・瀬戸内海ブロック 岡山・倉敷・吉備路・尾道・芸予諸島・広島・宮島 世界遺産・歴史的建造物
第8週	中国・四国エリア	山口・島根ブロック 萩・津和野・山口・秋吉・下関・石見 歴史・史跡
第9週	中国・四国エリア	四国ブロック 香川・高知・愛媛・徳島 自然観光資源・国立公園
第10週	中国・四国エリア	中国・四国全域 温泉地・年中行事 工芸品・郷土料理
第11週	中国・四国・九州エリア	国立公園 美術館・博物館・水族館 花・紅葉の名所
第12週	観光地理まとめ	九州・中国・四国地方のまとめ 期末試験問題の解説

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2 年	対象クラス	トラベル 科	L クラス
科目名	海外観光地理		担当講師	藤田
到達目標				
海外の観光地、特産品、その土地の食べ物、などを映像をまじえて学んでいきます。 お客様に、旅の楽しさを伝えられるように、自分でも海外の各地の文化や歴史を、楽しんでみていきましょう。				
使 用 テキスト				
海外観光資源、旅に出たくなる地図(世界)、プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験+平常点				

	テーマ	授業内容
第1週	マレーシア	都会のクアラルンプールそして海と高原のリゾート、自然の資源があふれる東マレーシア、魅力あふれるマレーシアの観光を学びます。
第2週	Guam・サイパン	日本から近い太平洋のリゾート、ウエディングも多い場所です。家族連れにも人気のリゾートを学びます。
第3週	インド	25以上の世界遺産があるインド。経済発展もあり、インドを旅行する人の旅行形態もかわりつつある。インドの魅力を学びます。
第4週	インド・ネパール	インドの歴史的な遺産を覚えつつ、隣接するネパールの自然の魅力を学びます。
第5週	ハワイ	日本人に人気の太平洋のリゾート。楽しみ方も様々です。ホノルルがあるオアフ島から、観光地や人気のスポットを学んでいきます。
第6週	ハワイ	オアフ島以外の隣島の魅力と特徴を学んでいきます。昨今は、オアフ島以外の島に滞在する過ごし方も一般的になってきました。
第7週	ニュージーランド	オセアニアの自然ゆたかなニュージーランドです。北島、南島とおおきく二つの島に分かれています。一番の大都市オークランドから、北島を見ていきます。
第8週	ニュージーランド	南島には、また豊かな自然の観光地がたくさんあります。ニュージーランドのハイライト的な自然の観光地もあります。南島の魅力を学びます。
第9週	オーストラリア	オセアニアでも大きな面積の国です。コアラ、カンガルーといった特異な動物でも人気の国です。シドニーから都市ごとに町の魅力を見ていきます。
第10週	期末テスト前復習	期末テスト前のまとめプリントに取り組みます。
第11週	オーストラリア	大きなオーストラリア大陸、東側、北の端、中央部、など土地によって特徴が違います。それぞれの町の魅力を学んでいきます。
第12週	前期まとめ・期末試験解答	期末テストの振り返りをします。また前期のまとめをします。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	L クラス
科目名	アクセス		担当講師	横瀬 敦子
到達目標 国際線の空席照会からの予約や変更、座席指定などの基本操作を習得し、練習問題を多くこなすことで処理能力を高める。 また、実務に役立つ知識や専門用語を学び、アクセス検定国際3級の合格を目指す。(希望者のみ)				
使 用 テキスト AXESS国内予約発券業務の基礎・国際早見表 その他、練習問題(アクセス検定国際3級レベルのものを使用)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(30%＝授業態度10%、小テスト・中間テスト20%) 期末試験(70%) 7月の期末試験のほかに、5月・6月に中間試験を実施する(点数は平常点に加味する)				

	テーマ	授業内容
第1週	予備知識	国際線で必要な知識(航空会社・都市・空港コードなど)を確認する。 アクセス端末の操作方法の復習をする。 アクセス端末でよく使用するキーボードの確認を行う。
第2週	スケジュール照会	国際線と国内線の予約時の相違点を学ぶ。 スケジュール照会の基本入力と画面の確認を行う。 (途中寄港、機内食、使用機材、予約クラス、コードシェア便などの確認)
第3週	空席照会	空席照会入力(基本入力と画面確認→アライアンス、リンクレベルの確認) 空席照会の画面展開を学び、予約を行う上で効率の良い便を探す。 (直行便・乗継便・時間指定・航空会社指定・乗継地指定など)
第4週	航空便の予約	空席照会から直行便・接続便を予約する。 コードシェア便の予約を行う。
第5週	航空便の予約	キャンセル待ち、便名指定、オープンセグメントの予約をする。 ※中間テストⅠ(筆記メインのもの) 予約コードの流れ(アクションコード～回答コードまで)を学ぶ。 予約コードのアップデート入力を学ぶ→どのタイミングで行うのかまたその入力方法も学ぶ。
第6週	旅客データ	国際線における旅客氏名・連絡先電話番号・申込者/担当者の入力方法を学ぶ。 ヘボン式入力の復習をする。 旅客氏名入力において、国内予約時との相違点を学ぶ。
第7週	PNRの完了と抽出	PNRの完了と様々な予約抽出方法を確認する。 エラーメッセージについて学ぶ(PNR完了が出来ない場合など)。
第8週	旅程変更・事前座席指定	旅程の変更と取り消しを学ぶ。 座席表からの座席指定(座席番号での指定・JAL便)を学ぶ。
第9週	事前座席指定	属性コード(窓・通路側など)での事前座席指定をする。 他社便(JAL便以外)での座席指定方法を学ぶ。 ※中間テストⅡ(PNR作成と筆記)
第10週	特別機内食	特別機内食を手配する。 幼児・小児の氏名入力(タイトル注意)とSSR入力を行う。 SSR削除と画面消去の入力を行う。
第11週	国際線まとめと応用	練習問題(アクセス検定・国際3級レベルの内容のもの)→国際線入力レベルの見極め 米国入国時に必要な入力について必須事項を学び、入力を行う。 (渡航先入力DOCA・パスポート情報DOCS・その他旅客情報DOCO)
第12週	期末テスト	国際線まとめ(予約操作～予約コードの流れ～変更や座席指定、幼児・小児タイプコード入力 ロールプレイ(新規予約から座席指定、機内食の手配なども行う)。 ※期末テスト(PNR作成と筆記)

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	トラベル 科	L クラス
科目名	就職活動講座		担当講師	藤田祐子
到達目標				
就職内定に向けて、実践的に行います。前期にはたくさんの求人が出ます。 受験企業に合わせた指導および対策をその都度の試験に合わせて行います。				
使 用 テキスト				
就職ノート SUCCESS				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点、提出物、就職活動の状況				

	テーマ	授業内容
第1週	導入	4月23日最終模擬面接に向けての準備、 エントリーシート仕上げ 求人情報についての現状と、求人の見方を再度確認します。
第2週	受験対策	受験手続についての再確認を行い、学校へのハウレンソウを行えるようになります。
第3週	受験対策	最終模擬面接の振り返りを行います。 実習経験に基づく志望動機や自己PRの作り方を個別に指導します。
第4週	受験対策	自己分析の再確認および自己PRの完成を目指します。
第5週	受験対策	志望企業のリストアップと企業研究を求人ごとに個別に行います。
第6週	受験対策	志望企業のリストアップと企業研究を求人ごとに個別に行います。
第7週	受験対策	受験経験者による反省および取り組み方の振り返りを2年生に話をしてもらいます。(日程変更あり)
第8週	受験対策	企業研究および受験対策を個別指導して行きます。面接練習などを行います。
第9週	受験対策	企業研究および受験対策を個別指導して行きます。面接練習などを行います。
第10週	受験対策	企業研究および受験対策を個別指導して行きます。面接練習などを行います。
第11週	受験対策	企業研究および受験対策を個別指導して行きます。面接練習などを行います。
第12週	まとめ	未内定者の振り返りと今後の対策と方向性の確認を行います。 内定者は企業研究と就業準備の検討と対策を行います。

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	L1/L2クラス
科目名	面接対策		担当講師	山田 邦幸
到達目標				
* 主たる企業の求人スケジュールに沿った授業運営を行い、企業が求める面接及びコミュニケーション能力を養成することで内定を勝ち取る。				
* 内定学生は就業までに自己研鑽を行い、社会人として自覚を持つよう指導。(課題提示)				
使用テキスト				
* 勝つための就職ガイドSUCCESS				
* 就職ノート・プリント(その都度配布・毎回過去のの分を含めてファイルに綴じて持参すること。)				
成績評価方法				
* 単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
* 面接実技・提出物・授業態度・出席率・身だしなみにより評価。(スーツ着用・規定通り着用すること。)				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	* 授業の進め方・評価方法について * 就職活動について(求人環境・企業リスト・企業研究等)
第2週	受験対策	* 最終模擬面接に向けての用意 * 就職活動について(学校の規則・手続き等)
第3週	受験対策	* 最終模擬面接の振り返り * 面接練習①(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等
第4週	受験対策	* 面接練習②(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第5週	受験対策	* 面接練習③(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第6週	受験対策	* グループディスカッション練習(受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等 * 内定率50%以上目標 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第7週	受験対策	* 集団面接練習(受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第8週	受験対策(模擬面接)	* 個人面接① * 面接試験待機者は作文及び筆記試験(または課題) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第9週	受験対策(模擬面接)	* 個人面接② * 面接試験待機者は作文及び筆記試験(または課題) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第10週	受験対策(模擬面接)	* 個人面接③ * 面接試験待機者は作文及び筆記試験(または課題) * 内定率70%以上目標 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第11週	受験対策(模擬面接)	* 個人面接④ * 面接試験待機者は作文及び筆記試験(または課題) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第12週	まとめ	* 前期のまとめ * 未内定者指導(内定率80%以上目標) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)

前期シラバス

2016年度 前期 水1限・木1限					
対象学年	2年(国内合格者)・1年(選択者)		対象クラス	トラベル 科	L/K(選択) クラス
科目名	総合管理者Ⅰ		担当講師	挽田・藤田	
到達目標					
10月に実施される「総合旅行業務取扱管理者」の国家試験の合格を目指します。 実務の科目と業法約款の海外の部分とを、特に集中して前期に行います。幅広く、知識を広げ、国家試験合格を目指しましょう。 コツコツと勉強を積み重ねてください。					
使 用 テキスト					
海外旅行実務Ⅰ(国際航空運賃) 海外旅行実務Ⅲ(出入国関連法令、出入国手続き実務、旅行業実務)(2年生) 出入国法令と実務、海外旅行実務(1年生)					
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					
前期前半(2年生)期末試験 国際航空運賃のみ					

	テーマ	授業内容
第1回 4月13日 (水)	国際航空運賃(藤田)	国際航空運賃の基礎(タリフの見方、IATA、GI、運賃の種類)
第2回 4月14日 (木)	国際航空運賃(藤田)	基礎知識(有効期間、週末と平日、NUC、ROE、端数処理)
第3回 4月20日 (水)	国際航空運賃(藤田)	普通運賃(運賃計算の基礎)
第4回 4月21日 (木)	国際航空運賃(藤田)	普通運賃(マイル計算、割増、旅行形態)
第5回 4月27日 (水)	国際航空運賃(藤田)	普通運賃(運賃計算の特例、みなし計算)
第6回 4月28日 (木)	国際航空運賃(藤田)	普通運賃(特例、特定経路、HIPチェック、CTMチェック)
第7回 5月11日 (水)	旅券法令(挽田)	旅券の種類、一般旅券の発給申請、必要書類、提出書類の省略
第8回 5月12日 (木)	国際航空運賃(藤田)	普通運賃のまとめ
第9回 5月18日 (水)	旅券法令(挽田)	代理申請、未成年者の申請、居所申請
第10回 5月19日 (木)	国際航空運賃(藤田)	特別運賃(適用規則の見方)
第11回 5月25日 (水)	旅券法令(挽田)	新規発給申請以外の申請、旅券の失効、受領
第12回 5月26日 (木)	国際航空運賃(藤田)	期末試験の振り返り、その他

前期シラバス

2016年度					前期 前半	
対象学年		2年	対象クラス		トラベル科	Lクラス
科目名		国内管理者Ⅰ		担当講師		丸山時男・挽田雅子・中牟田哲也
到達目標						
国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す						
使 用 テキスト						
○1旅行業法・旅行業約款 ○2運送・宿泊約款 ○3国内運賃・料金 ○4国内観光資源						
○科目別速習問題集 ○JR時刻表 ○国内観光地理サブノート						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
1. 期末試験 60%						
2. 平常点(授業態度・ミニテスト等) 40%						

	テーマ	授業内容
第1回 4月13日(水) 挽田	国内地理 (テキスト国内観光資源)	管理者試験国内地理演習問題 温泉を覚える 北海道・東北・関東
第2回 4月14日(木) 中牟田	運賃料金	JR運賃計算の基本を復習 演習問題を解き理解を深める
第3回 4月20日(水) 挽田	国内地理 (テキスト国内観光資源)	管理者試験国内地理演習問題 温泉を覚える 中部・関西・中国・四国・九州
第4回 4月21日(木) 中牟田	運賃料金	JR運賃計算 演習問題を解き理解を深める
第5回 4月27日(水) 挽田	国内地理 (テキスト国内観光資源)	管理者試験国内地理演習問題 主な観光地 歴史ある街並みや建造物・名園、テーマパーク
第6回 4月28日(木) 中牟田	運賃料金	JR料金計算の基本を復習 演習問題を解き理解を深める
第7回 5月11日(水) 丸山	旅行業法	H27年度国家試験問題分析
第8回 5月12日(木) 中牟田	運賃料金	JR料金計算 演習問題を解き理解を深める 国内地理演習問題
第9回 5月18日(水) 丸山	旅行業約款	H27年度国家試験問題分析
第10回 5月19日(木) 中牟田	運賃料金	JR総合問題 演習問題を解き理解を深める 国内地理演習問題
第11回 5月25日(水) 丸山	宿泊・運送約款	前期前半試験問題解答・解説/H27年度国家試験問題分析
第12回 5月26日(木) 中牟田	運賃料金	期末試験の解説と復習

前期シラバス

2016年度					前期				
対象学年		2年		対象クラス		トラベル科、鉄道科		LNクラス	
科目名		サービス接客検定対策			担当講師		榎本・池田		
到達目標									
サービス接客検定2級試験合格を目指す。(6月11日(土)場所:IBC)									
使用テキスト									
サービス接客検定1-2級問題集									
成績評価方法									
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。									
期末テスト80%、平常点20%									

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	サービス接客検定について 授業の進め方、テストについて
第2週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第3週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第4週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第5週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第6週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第7週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第8週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第9週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第10週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第11週	試験対策	過去問題を解いて問題に慣れる
第12週	フィードバック	期末試験の解答・解説

前期シラバス

2016年度 前期 水1限・木1限				
対象学年	2年(国内合格者)・1年(選択者)	対象クラス	トラベル 科	K・L クラス
科目名	総合管理者Ⅱ		担当講師	丸山・挽田
到達目標				
10月に実施される「総合旅行業務取扱管理者」の国家試験の合格を目指します。 実務の科目と業法約款の海外の部分、特に集中して前期に行います。幅広く、知識を広げ、国家試験合格を目指しましょう。 コツコツと勉強を積み重ねてください。				
使 用 テキスト				
海外旅行実務Ⅲ(出入国関連法令、出入国手続き実務、旅行業実務) 旅行業法・旅行業約款／運送宿泊約款(2年生) 旅行業約款・運送・宿泊約款(1年生)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 前期後半(2年生)期末試験 実務50点・約款50点＋平常点(約款40%＋実務10%)				

	テーマ	授業内容
第1回 6月1日 (水)	実務／時差計算(挽田)	時差表の見方、GMTへの換算、2地点間の時差、現地時間
第2回 6月2日 (木)	旅行業約款(丸山)	H27年度国家試験問題分析(約款)
第3回 6月8日 (水)	実務／航空時刻表(挽田)	都市コード、空港コード、航空会社コード、OAG航空時刻表の見方
第4回 6月9日 (木)	旅行業約款(丸山)	H27年度国家試験問題分析(約款)
第5回 6月15日 (水)	出入国法令(挽田)	日本人の入国手続き、動物検疫、植物検疫
第6回 6月16日 (木)	旅行業約款(丸山)	H27年度国家試験問題分析(宿泊、渡航手続き、旅行相談) 演習問題(解答、解説)
第7回 6月22日 (水)	出入国法令(挽田)	税関手続き、携行品などの免税範囲、携行品などの課税通関
第8回 6月23日 (木)	国際航空運送約款(丸山)	約款(日本航空運送約款)の条文解説
第9回 7月6日 (水)	出入国法令(挽田)	ワシントン条約について、外来生物法による輸入規制、外貨手続き
第10回 7月7日 (木)	国際航空運送約款(丸山)	約款(日本航空運送約款)の条文解説
第11回 7月13日 (水)	出入国法令(挽田)	外国人の入国、在留カード、外国人の出国と再入国許可
第12回 7月14日 (木)	国際航空運送約款(丸山)	H27年度国家試験問題分析(国内・国際運送約款)、解説 まとめ(演習問題)

前期シラバス

2016年度					前期		後半		
対象学年		2年		対象クラス		トラベル科		Lクラス	
科目名		国内管理者Ⅱ			担当講師		丸山時男・挽田雅子・中牟田哲也		
到達目標									
国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す									
使 用 テキスト									
○1旅行業法・旅行業約款 ○2運送・宿泊約款 ○3国内運賃・料金 ○4国内観光資源									
○科目別速習問題集 ○JR時刻表 ○国内観光地理サブノート									
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。									
1. 期末試験 60%									
2. 平常点(授業態度・ミニテスト等) 40%									

	テーマ	授業内容
第1回 6月01日(水) 丸山	旅行業法	弱点集中対策、小テスト
第2回 6月02日(木) 中牟田	運賃料金	新幹線の基本の復讐・変更点の確認 演習問題を解き理解を深める 国内地理演習問題
第3回 6月08日(水) 丸山	旅行約款	弱点集中対策、小テスト
第4回 6月09日(木) 中牟田	運賃料金	JR総合問題 演習問題を解き理解を深める 国内地理演習問題
第5回 6月15日(水) 丸山	宿泊・運送約款	弱点集中対策、小テスト
第6回 6月16日(木) 中牟田	運賃料金	航空運賃の基本および取消料を復習 演習問題を解き理解を深める 国内地理演習問題
第7回 6月22日(水) 丸山	旅行業法	演習問題、解答解説
第8回 6月23日(木) 中牟田	運賃料金	バス・フェリーの運賃料金計算の基本を復習 演習問題を解き理解を深める 国内地理演習問題
第9回 7月06日(水) 丸山	旅行業約款	期末試験問題解答・解説
第10回 7月07日(木) 中牟田	運賃料金	宿泊料金の基本を復習 演習問題を解き理解を深める 国内地理演習問題
第11回 7月13日(水) 丸山	宿泊・運送約款	演習問題、解答解説
第12回 7月14日(木) 中牟田	運賃料金	期末試験の解説と復習

2016年度					前期	
対象学年	2年		対象クラス	トラベル科	L クラス	
科目名	旅行業界概論		担当講師	羽矢 茂		
到達目標						
旅行業界の現状と今後の課題を学び、業界人となる自覚を育てる。						
1)旅行業界の現状、社会との関わりについて学ぶ。						
2)旅行業界の今後の課題を考える。						
使 用 テキスト						
成績評価方法						
※①単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
②期末テスト80%、授業態度、提出物、小テスト20%で評価する。						

	テーマ	授業内容
①第1週 6/1(水)	オリエンテーション/ 観光産業の現状	・授業の目的、進め方、評価方法 ・国内の旅行消費額はいくらか？ そのうち旅行会社の取扱額は？ ・国内・海外旅行者数の推移
②第2週 6/6(月)	旅って何？ 人はなぜ旅をするのか？	・旅の目的 ・旅の効果 ・記念旅行
③第3週 6/8(水)	観光の重要性	・人口減少による社会的影響 ・観光による地域の魅力づくり ・年代別主な出来事
④第4週 6/13(月)	旅の情報源	・インターネットは欠かせない旅の情報源 ・旅行会社の窓口に欲しいサービス ・テレビ・新聞・雑誌による情報
⑤第5週 6/15(水)	海外旅行ブームの到来、 価値観の多様化	・ジャンボ機就航と海外旅行の大衆化 ・パッケージツアーが海外旅行をけん引 ・価値観の多様化による新たなマーケットの創造 ・①事例研究
⑥第6週 6/20(月)	お客様を満足させる 「サービスクオリティ」	・「リッツカールトン」、「フォーシーズンズ」のお客様を満足させるサービス ・旅行業のサービスクオリティはどうあるべきか？ ・②事例研究
⑦第7週 6/22(水)	国内ホテルと外資系ホテルの 経営戦略	・日本の宿泊業の原点 ・1泊2食と「泊食分離」の論議 ・外資系ホテルの戦略
⑧第8週 6/27(月)	外国人から見た日本 「訪日観光客の期待」	・訪日旅行者はどこから来るか？ ・日本人の海外旅行先 ・訪日旅行者が期待すること
⑨第9週 7/4(月)	「総合・専門旅行会社」 「航空券と航空会社」	・旅行商品と流通の関わり ・総合旅行者と専門旅行者の違い ・航空運賃と航空会社の戦略
⑩第10週 7/6(水)	「旅行会社の生き立ちと系列」 「LCCの影響」	・旅行会社の生き立ちと系列 ・中堅旅行会社の生き残り戦略 ・急展開するLCCの動き
⑪第11週 7/13(水)	カウンター店舗と 団体旅行セールス	・カウンターは旅行会社の顔 ・営業部門の課題 ・国際コンベンションの誘致
⑫第12週 7/18(月)	「旅館の選び方」 「女性マーケットの重要性」	・宿泊旅館を選ぶポイント ・旅館への期待、旅先での楽しみ ・女性旅行者は「旅行ブームのけん引役」

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	トラベル 科	L クラス
科目名	旅行業英語		担当講師	挽田雅子
到達目標				
海外旅行の添乗業務をする際に必要な英語を、実際の旅行の流れに沿って学び、海外添乗業務を遂行できる力を身につける。 旅行業務に必要な英語を学び、情報・資料・手配確認書などを読み取れるようになる。				
使 用 テキスト				
ツアーコンダクターの英語				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験80% 平常点20%				

	テーマ	授業内容
第1週	第5章自由行動の案内	前期のスケジュールの説明 ホテルから情報をとる 路線バスの乗り方
第2週	第5章自由行動の案内	小テスト ツアーとショーの予約 音楽会の切符の予約
第3週	第5章自由行動の案内	小テスト レンタカーの予約 列車の切符の予約
第4週	第6章自由行動の案内	小テスト 道を聞く 買い物をする
第5週	第7章レストランで	小テスト 昼食の注文 夕食のレストランの予約
第6週	第7章レストランで	小テスト 夕食のレストランで メニューの見方
第7週	第8章観光・視察	小テスト ガイドが来ない コースの確認
第8週	第9章事故処理	小テスト お客様の病気 医者を呼ぶ
第9週	第9章事故処理	小テスト 手荷物の紛失・盗難・破損など 空港での荷物の紛失
第10週	第10章移動と帰国	小テスト 航空機での移動 予約の確認・変更
第11週	第10章移動と帰国	小テスト 帰国 ホテルのチェックアウト、ポーターの手配、空港のチェックイン
第12週	まとめと総復習	前期試験問題解説 総合管理者試験に向けて、学習事項の復習をする 業界用語を確認する

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	L クラス
科目名	カウンター販売(海外)		担当講師	草野 智子
到達目標				
・パスポート・査証の取得方法、チェックインの流れを口頭で案内できる。 ・問い合わせが多い質問をスムーズに回答できる。(通貨・時差・電圧・旅行保険・お金の管理方法) ・主要会社の旅行パンフレットの見方がわかる。 ・カウンター接客時のマナーについて学ぶ。 ・海外旅行予約時の専門用語・出入国等で必要な英語について学ぶ。				
使用テキスト				
・指定した旅行パンフレット ・指定した教科書(JTB/海外) ・プリント(授業で配布)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験80%、小テスト20パーセント				

	テーマ	授業内容
第1週	カウンター販売に必要な知識①	・どのくらいの人が海外旅行に行っているのか、主な旅行先はどこか把握する。 ・パスポートの取得を口頭で案内できるようになる。 ・予約時のパスポート(有効期間・氏名)の注意点。(結婚して名前が変わる場合等)
第2週	カウンター販売に必要な知識②	・海外旅行予約時に必要な聴取事項を学ぶ。 ・予約時に必要な専門用語を学ぶ。 ・時差・通貨・電圧とは。・出入国で必要な英語を学ぶ。
第3週	カウンター販売に必要な知識③	・海外旅行パッケージの取消料計算方法を学ぶ。 ・海外旅行保険とは、保険の重要性。 ・カウンター販売時のマナー(パンフレットの見せ方・応対姿勢)を学ぶ。
第4週	カウンター販売に必要な知識④	・査証とは、取得方法。(アメリカ:ESTA、オーストラリア:ETAS、旅行主要国の査証) ・海外旅行時の空港チェックイン～搭乗までの流れを知り、口頭で案内できるようになる。 ・税関とは。・海外旅行でのお金の管理方法。
第5週	カウンター販売に必要な知識⑤	・旅行時の持ち物・服装を学ぶ。 ・主要国3レターコード・主な航空会社・マイルージについて。 ・旅行主要国の気候。・免税範囲を学ぶ。
第6週	国別旅行予約時、案内時注意点①	・国別、予約時の注意点や、よくある質問、空港からの距離、主なホテルについて学ぶ。 ・アジア方面
第7週	国別旅行予約時、案内時注意点②	・国別、予約時の注意点や、よくある質問、空港からの距離、主なホテルについて学ぶ。 ・アジア方面
第8週	国別旅行予約時、案内時注意点③	・国別、予約時の注意点や、よくある質問、空港からの距離、主なホテルについて学ぶ。 ・ハネムーン(リゾート方面)
第9週	国別旅行予約時、案内時注意点④	・国別、予約時の注意点や、よくある質問、空港からの距離、主なホテルについて学ぶ。 ・ハネムーン(リゾート方面)
第10週	国別旅行予約時、案内時注意点⑤	・国別、予約時の注意点や、よくある質問、空港からの距離、主なホテルについて学ぶ。 ・ヨーロッパ全般 ・期末テストについて 復習
第11週	国別旅行予約時、案内時注意点⑥	・国別、予約時の注意点や、よくある質問、空港からの距離、主なホテルについて学ぶ。 ・アメリカ全般 ・期末テストの解説
第12週	まとめ	海外カウンター販売のまとめ

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1 年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道概論 I		担当講師	花生 義一
到達目標				
鉄道運行を安全に維持するための必要条件を学ぶ				
鉄道業界の保安システムの概要と役割を学ぶ				
鉄道業界の車両及び九州の私鉄を学ぶ				
使 用 テキスト				
わかりやすい鉄道技術(1、2、3)				
講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道輸送を安全に運行するために必要条件を学び「安全」に対する意識を高める
第2週	鉄道①	1.軌道の概要を学び列車運行に対する安全対策を学ぶ 2.軌道の種類と使用目的の概要を知る 3.軌道設備の概要を知る
第3週	鉄道②	1.レールの製造から設置までの説明 2.レール輸送の概要説明 3.レールの種類と使用概要を知り、鉄道輸送に対する安全性を知る
第4週	保安装置①	1.鉄道重大事故から学ぶ安全に対する取り組みを学ぶ 2.ATSの概要を学び、鉄道運行の維持に対する各社の取り組みを理解する 3.ATSの種類を学び、各種の役割と特徴を理解する
第5週	保安装置②	1.ATC及びATOの概要を行い、鉄道運行に対する役割と特徴を学ぶ 2.ATSの取り扱いと踏切関係に及ぼす安全性能を学ぶ 3.踏切保安装置の概要説明を行い、鉄道運行に対する役割を学ぶ
第6週	鉄道用語①	1.鉄道業界に必要な用語を学び、業界の特徴を学ぶ 2.各用語の説明により、鉄道業界の仕組みを深く学ぶ
第7週	鉄道用語②	1.鉄道業界に必要な用語を学び、業界の特徴を学ぶ 2.各用語の説明により、鉄道業界の仕組みを深く学ぶ 3.異常時に使用する各業務用語を学び、運行に関わる知識を得る
第8週	鉄道車両紹介	1.鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・車両接触限界・車両建築限界の把握をする
第9週	九州の私鉄①	1.九州の私鉄概要 ・私鉄企業を知ることにより、九州内の鉄道知識を高める 2.習熟度確認により各自の授業に対する理解度を知る
第10週	九州の私鉄②	1.九州の私鉄概要 ・各私鉄企業の車両設備等を知り、私鉄に対する知識を高める 2.期末試験対策
第11週	鉄道車両	1.期末試験に対するフィードバック ・習熟度を元に内容把握を行い、内容を深く身に付けさせる ・鉄道車両の特徴を深く知ることにより、安全に対する車両構造を習得する
第12週	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.1年間の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道係員	担当講師	花生 義一	
到達目標				
鉄道運行に携わる各係員の概要を学ぶ。				
鉄道運行の仕組みについて学ぶ。				
鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ。				
使 用 テキスト				
わかりやすい鉄道技術(1、2、3)				
講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の分類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ
第2週	駅員の業務	1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ
第3週	鉄道乗務員	1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する
第4週	運行の仕事(車掌)	1.運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2.車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3.車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ
第5週	鉄道運転士への道	1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る
第6週	運転士養成のカリキュラムと国家試験	1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」による受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する
第7週	動力車操縦者養成所	1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ
第8週	鉄道運転士の使命	1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ
第9週	鉄道運転士の事故について	1.事故の分類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追究し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る
第10週	指差確認呼称(喚呼)	1.指差確認呼称が事故防止にどのような効果があるか学ぶ 2.指差確認喚呼の効果と運転士の作業内容に対する必須事項を学ぶ 3.期末試験対策
第11週	運転区所の組織	1.期末試験のフィードバックを行い習熟度を深める 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ
第12週	前期のまとめ	総まとめ、全体質疑

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1 年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道基礎 I		担当講師	田島義章
到達目標 鉄道の基本や仕組みについての専門知識を身に付ける。				
使 用 テキスト 講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	鉄道とは	授業の目的 ・ 進め方 ・ 成績評価方法について理解する。 鉄道の定義や歴史、性質や種類について知る。 鉄道システムを知る。
第2週	鉄道用語	基本的な鉄道の専門用語を知る。 鉄道用語の意味を理解する。 運転安全規範 綱領・一般準則を知る。
第3週	鉄道法規	鉄道に關係する法律について学ぶ。 鉄道に関する技術上の基準を定める省令について知る。 運転安全規範 綱領・一般準則を理解する。
第4週	閉そく方式	列車間の安全を確保する方法について考える。 通常時の閉そく方式を理解する。 異常時の閉そく方式を知る。
第5週	鉄道信号	交通信号と鉄道信号の違いを考える。 常置信号機・臨時信号機の種類と役割について理解する。 手信号の種類と現示方式を知る。
第6週	電車のメカニズム	電車の走る原理(発電所から走行まで)を考える。 電車の止まる原理について理解する。 集電装置 ・ 制御装置 ・ 主電動機の役割を知る。
第7週	列車の運転	原則的な運転ルールを学ぶ。 推進運転と退行運転を理解する。 列車の過走防護を知る。
第8週	列車防護	列車防護の種類を理解する。 列車防護を行なう場合を考える。 列車防護の省略や解除を知る。
第9週	鉄道運転事故	過去の重大事故の内容を知ることにより、その悲惨さを十分認識すると共に事故防止に対する意識を深める。 グループで討議し発表する。
第10週	作業安全	ヒューマンエラーを知る。 ハインリッヒの法則について考える。 指差確認呼称について理解する。
第11週	鉄道路線をつくる	鉄道路線が生まれるためには、どのようなものが必要なのかを考える。 鉄道施設の概要を理解する。 グループで討議し発表する。
第12週	前期のまとめ	期末試験のフィードバックを行なう。 前期授業を振り返り、後期の方向性を確認する。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M クラス
科目名	時刻表	担当講師	花生 義一	
到達目標				
JR時刻表をスムーズに使用し、お客さま案内に必要な知識を確実に取得する				
JR時刻表を使用して、旅行プランを計画する				
使 用 テキスト				
・JR時刻表				
・講師作成プリント				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
1. 期末試験 80%				
2. 平常点 20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 時刻表の基礎	年間を通しての授業の進め方と評価方法を周知させ、授業に取り組む姿勢を学ぶ 各ページの役割と内容を把握し、時刻表に対する興味を持たせる 時刻表に記載している記号の把握を行い、より早く時刻表に慣れるようにする
第2週	時刻表の使い方基礎	時刻表の便利な使い方を周知させ、項目による必要条件を覚える 時刻の探し方・列車の種類と記号・注意点を学ぶことにより、時刻表の特性を身に付ける 列車番号による種別(臨時列車、指定日運用列車等)の見分け方と条件を学ぶ
第3週	鉄道地図の見方	鉄道地図の見方を周知し、各駅の検索作業を身に付ける JRと私鉄・バス・航空・観光地等を索引から見つけ出す知識を身に付ける 運賃、列車探索、線区別の必要条件を学ぶ
第4週	時刻表をひく①	新幹線の索引知識を身に付け、目的地に合った列車を確認する 新幹線と特急の索引方法で、違いを理解することにより、鉄道知識が高まる 各特急列車の座席の種類を把握し、プランニング作業に生かす
第5週	時刻表を引く②	在来線の索引訓練を行い、プランに合った列車を見つけ出す バス路線の索引方法を訓練し、バス旅行に必要な知識を身に付ける バスの時刻確認方法、使用条件等を学ぶ
第6週	時刻表を引く③	船旅行に必要な索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 飛行機を使用した旅行に対する索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 見積書作成時に必要な記号、適切な記入方説明
第7週	時刻表を引く④	各旅客手段からの乗換条件を周知し、旅行プランニングに必要な条件を身に付ける 各種、切符類の把握及びお得な条件等を学び、旅行プランニングの訓練を行う 見積書記入訓練を行い、プランニングに必要な条件を身に付ける
第8週	プランニング訓練①	時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地、北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法
第9週	プランニング訓練②	時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地、北海道各都市の目的地に飛行機を利用して行く方法
第10週	プランニング訓練②	時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地、北海道各都市の目的地に船舶を利用して行く方法
第11週	JRの営業案内	期末試験のフィードバックを行うことにより、必要事項を再周知する 旅行業の窓口訓練を行い、必要条件を身に付け実践に役立たせる 時刻表から学ぶ各鉄道会社の特徴を把握する
第12週	まとめ	前期のまとめを行う 青春18きっぷの説明を行い、乗車準備に役立たせる 1日で行けるプランニング作業を行い、乗車距離の把握と条件を身に付ける

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	1 年		対象クラス	鉄道 科	M クラス	
科目名	鉄道業界研究		担当講師	三石 佳代子		
到達目標 鉄道業界への就職を目標とし、JRを中心とした業界研究を行う。(私鉄は後期に行う。) 各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。						
使 用 テキスト ・JR・私鉄・運輸2016(産学社) ・講師作成プリント						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%						

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明
第2週	講師JR九州での経験①	工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで
第3週	講師JR九州での経験②	本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師
第4週	運転士の仕事について・求められる人物像とは	運転士の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り、志望動機につなげる 小テスト1
第5週	駅員の仕事について・求められる人物像とは	駅員の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り、志望動機につなげる
第6週	車掌の仕事について・求められる人物像とは	車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り、志望動機につなげる
第7週	西鉄について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2
第8週	JR九州グループについて	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える
第9週	JR四国について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える
第10週	期末テスト対策	これまでに学習した内容を総復習する
第11週	期末テスト振り返り	期末テストを振り返りすることで業界知識を身に着け、志望企業の選定に活かす
第12週	JR東海・JR北海道について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える

前期シラバス

2016年 前期 月曜日 2限				
	I 年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	旅行業法(国内管理者)		担当講師	丸山 時男
到達目標 国内旅行業務取扱管理者試験合格(国家試験)				
使 用 テキスト 2016年旅行業法・約款(JTB総合研究所)、科目別問題集(JTB総合研究所)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験60%、平常点40%(課題提出・小テスト)				

	テーマ	授業内容
第1週	旅行業法とは	。授業の進め方、評価法 。国家試験の概要 。旅行業法の条文と構成と学習法
第2週	第1章 総則	。旅行業法の目的と定義(第1条～第2条)
第3週	第1章 総則	。旅行業の定義(代理、媒介、取次、利用) 。旅行の形態 旅行業と旅行業者代理業(登録の種類)
第4週	第2章 旅行業等	。登録制度、旅行業の種類と業務の範囲(第3条～5条) 。旅行業法施行規則(第1～4条)
第5週	第2章 旅行業等	。登録拒否(第6条) 。有効期間、更新、変更(第6条2～4) 。旅行業法施行規則(第4条～5条)
第6週	営業保証金制度	。小テスト 。営業保証金の供託と供託額(第7条～8条)
第7週	営業保証金制度	。営業保証金の追加供託、取り戻し、保管替え等(第9条) 。取引額の報告(第10条)
第8週	旅行業務取扱管理者	。旅程管理(第12条の10～12条の11) 。取扱管理者の選任、証明書の提示等(第11条～12条の5の2) 。取扱管理者の職務(施行規則10条)
第9週	取扱料金、旅行業約款	。取扱料金の揭示(第12条)、施行規則 。旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款(第12条の3)、施行規則 。標識の揭示(第12条の9)
第10週	取引条件の説明 書面の交付	。小テスト、課題提出 。取引条件の説明 書面の交付(第12条の4～12条の5) 共同規則3条～9条)
第11週	広告、禁止行為	。受託契約(第14条の2) 外務員証の携帯(第12条の6) 。企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8)、共同規則12条～14条) 。禁止行為・名義利用の禁止(第13条～14条)、施行規則
第12週	旅行業協会制度	。旅行業協会の法定業務 弁済業務保証金制度 (第22条の2～22条の16)

前期シラバス

2016年 前期					金曜日 2限					
対象学年		1 年		対象クラス		鉄道科		Mクラス		
科目名		約款(国内管理者)			担当講師		丸山 時男			
到達目標										
国内旅行業務取扱管理者試験合格(国家試験)										
使 用 テキスト										
2016年旅行業法・旅行業約款(JTB総合研究所)、2016年宿泊・運送約款(JTB総合研究所)										
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。										
期末試験60%、平常点40%(課題提出・小テスト)										

	テーマ	授業内容
第1週	旅行業約款とは	授業の進め方、評価方法 。約款とは 。旅行契約の種類 国家試験の国内と総合の出題範囲の違い
第2週	募集型企画旅行	。総則(定義、契約の内容) 手配代行者 契約の締結
第3週	同上	。契約の変更
第4週	同上	。契約の解除
第5週	同上	。団体、グループ契約 旅程管理 責任 。理解度チェック小テスト
第6週	同上	。旅程保証 変更補償金
第7週	受注型企画旅行	。企画旅行契約との相違点 。総則(定義、契約の内容) 手配代行者 契約の締結 。契約の変更 契約の解除
第8週	特別補償規程	。補償金等の支払い(責任、定義) 補償金等を支払わない場合 。補償金等の種類及び支払い額
第9週	特別補償規程	。補償金等(身体への傷害)と損害補償金(携帯品)の相違点 。携帯品損害補償金の支払い
第10週	手配旅行	。企画旅行契約との相違点 。総則 契約の成立 契約の変更及び解除 。課題の提出
第11週	手配旅行	。旅行代金 団体、グループ手配 責任 。課題の提出
第12週	旅行相談	。契約の内容 責任

前期シラバス

2016年度					前期				
対象学年		1年		対象クラス		鉄道科		M クラス	
科目名		国内観光地理Ⅰ(国内管理者対策)			担当講師		挽田雅子		
到達目標									
国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す 国内実務科目のうち国内観光地理の知識について学びます。 観光箇所の名称・所在地・プロフィール・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点できるようする。									
使 用 テキスト		国内旅行地理ベーシック300			旅に出たくなる地図		4国内観光資源 国内観光地理サブノート		
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(70%) 平常点(授業態度10% 小テスト10% 課題提出10%)							

	テーマ	授業内容
第1週(4/11)	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 旅に出たくなる地図を読む 白地図に記入する
第2週(4/18)	島・半島	旅情イメージにあふれる島・半島 ツアータイトルに使われる島・半島 全国33の地域・特徴を覚える
第3週(4/25)	湖・川・滝・鍾乳洞	日本三大湖沼、三大急流など 三大瀑布など 三大鍾乳洞など、全国38の観光スポット
第4週(5/9)	温泉	温泉を覚える 中部・関西・中国・四国・九州 人気のある旅先
第5週(5/16)	地理検定問題	第37回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題
第6週(5/30)	地理検定問題	第39回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題
第7週(6/6)	北海道・青森	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 知床・函館・ねぶた祭り
第8週(6/13)	山形・福島・茨城	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 出羽三山、会津若松城、偕楽園
第9週(6/20)	千葉・東京・神奈川	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 成田山新勝寺、三社祭、鎌倉
第10週(6/27)	福井・山梨・長野	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 永平寺、富士五湖、上高地
第11週(7/4)	岐阜・静岡・愛知	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 白川郷、伊豆半島、犬山城
第12週(7/18)	総復習	期末テストの解説 前期のまとめ

前期シラバス

2016年度 前期 金曜				
対象学年	1 年	対象クラス	鉄道科	M クラス
科目名	国内観光地理Ⅱ(国内管理者対策)		担当講師	挽田雅子
到達目標				
国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す 国内実務科目のうち国内観光地理の知識について学びます。 観光箇所の名称・所在地・プロフィール・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点できるようにする。				
使 用 テキスト	国内旅行地理ベーシック300+ α 旅に出たくなる地図 4国内観光資源 国内観光地理サブノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(70%) 平常点(授業態度10% 小テスト10% 課題提出10%)			

	テーマ	授業内容
第1週(4/15)	山・高原・溪谷	必須59の山を覚える 新緑や紅葉の名所 眺望、夜景の素晴らしい峠や山々
第2週(4/22)	海岸・岬	必須27の海岸・岬を覚える 日本三景など 断崖、奇岩、遊覧船巡り
第3週(4/29)	寺社・城跡	必須30の寺社、城跡 世界遺産の寺院・神社 歴史的、芸術的、観光的に名高い寺社、城跡
第4週(5/6)	温泉	温泉を覚える 北海道・東北・関東 人気のある旅先
第5週(5/13)	主な観光地	歴史ある街並みや建造物が残る観光都市 名園、花の名所 テーマパーク
第6週(5/20)	地理検定問題	第38回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題
第7週(6/3)	地理検定問題	第40回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題
第8週(6/10)	岩手・宮城・秋田	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 平泉、三陸海岸、男鹿半島
第9週(6/17)	栃木・群馬・埼玉	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 日光、草津温泉、川越
第10週(6/24)	新潟・富山・石川	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 佐渡島、黒部峡谷、能登半島
第11週(7/8)	三重・滋賀・京都	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 伊勢神宮、延暦寺、二条城
第12週(7/15)	大阪・兵庫・奈良	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートを記入する 天神祭、六甲山、吉野山

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M クラス
科目名	国内運賃・料金Ⅰ（国内管理者）		担当講師	中牟田 哲也
到達目標				
・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
・国内旅行実務のうち、運賃・料金の知識を習得する				
使 用 テキスト				
・3国内運賃・料金 ・JR時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
1. 期末試験 60%				
2. 平常点 40%（授業態度、ミニテスト等）				

	テーマ	授業内容
第1週	「運賃」・「料金」とは JRの基礎	運賃と料金の違い JR旅客6社(本島3社と3島会社) 乗車券の種類・発売日・有効期間
第2週	JR運賃計算の基本(1)	幹線と地方交通線 各種運賃表 運賃計算の手順
第3週	JR運賃計算の基本(2)	本島会社と3島会社相互の運賃計算 練習問題
第4週	JR料金の基本	5つの料金 練習問題
第5週	新幹線	新幹線の路線網 新幹線の料金計算 新幹線の特例
第6週	乗り継ぎ割引	乗り継ぎ割引の条件 練習問題
第7週	JR割引運賃 団体旅客の取り扱い	各種割引の条件と割引率 団体割引の計算の手順
第8週	JR団体運賃・料金	団体割引と無賃扱い 練習問題
第9週	JR運賃の特例	特定都区市内制度 特定区間、新幹線と在来線 区間外乗車・大都市近郊区間
第10週	JR運賃料金のまとめ	総合練習問題
第11週	貸切バス運賃・料金 フェリー運賃・料金	貸切バスの運賃料金 フェリーの運賃料金
第12週	運賃料金のまとめ	総合練習問題

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M クラス
科目名	国内運賃・料金Ⅱ(国内管理者)		担当講師	中牟田 哲也
到達目標				
・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
・国内旅行実務のうち、運賃・料金の知識を習得する				
使 用 テキスト				
・3国内運賃・料金 ・JR時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
1. 期末試験 60%				
2. 平常点 40%(授業態度、ミニテスト等)				

	テーマ	授業内容
第1週	「運賃」・「料金」とは JRの基礎	運賃と料金の違い JR旅客6社(本島3社と3島会社) 乗車券の種類・発売日・有効期間
第2週	JR運賃計算の基本(1)	幹線と地方交通線 各種運賃表 運賃計算の手順
第3週	JR運賃計算の基本(2)	本島会社と3島会社相互の運賃計算 練習問題
第4週	JR料金の基本	5つの料金 練習問題
第5週	新幹線	新幹線の路線網 新幹線の料金計算 新幹線の特例
第6週	乗り継ぎ割引	乗り継ぎ割引の条件 練習問題
第7週	JR割引運賃 団体旅客の取り扱い	各種割引の条件と割引率 団体割引の計算の手順
第8週	JR団体運賃・料金	団体割引と無賃扱い 練習問題
第9週	JR運賃の特例	特定都区市内制度 特定区間、新幹線と在来線 区間外乗車・大都市近郊区間
第10週	JR運賃料金のまとめ	総合練習問題
第11週	国内航空運賃 宿泊料金	国内航空運賃の基本 国内航空運賃の払い戻し 宿泊料金の基本
第12週	運賃料金のまとめ	総合練習問題

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	鉄道 科	M クラス
科目名	就職活動講座		担当講師	三石 佳代子
到達目標 専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。 鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から内定を得ることを目標とする。 前期終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物になることを目指す。				
使 用 テキスト				
・「SUCCESS 勝つための就職ガイド」・就職ノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明
第2週	就職活動の心構えと準備	就職とは 身だしなみ、学生と社会人との違い インターネット・リテラシー
第3週	就職活動の流れ	就職室の利用方法 IBCでの就職活動ルール
第4週	履歴書作成	IBCの履歴書作成ルールを学び、実際に作成する
第5週	自己分析①	自分自身をどれだけわかっているか 自分のライフスタイルを振り返り、将来の夢や目標を明確にする 自己分析の意義を知り、過去・現在の自分を掘り起こしながら自分史を作成する
第6週	自己分析②	自分史、自己分析シートから、自分自身の強み・弱みを明確にする
第7週	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する
第8週	自己PR作成①	自己分析、他己分析からPRできるものをピックアップして、肉付けする 企業でどう活かすのかを考え文章にする
第9週	自己PR作成②	300字以内で書いてみよう 自分自身の強み、長所短所について
第10週	志望動機の作り方 (鉄道業界編)	個人別志望動機を自己分析から抽出する 鉄道業界の求める人物像と自分の強みをどのように関連付けて表現するか 志望と根拠の確認
第11週	志望動機作成 (鉄道業界編)	300字以内で書いてみよう
第12週	前期の振り返り	自分自身をどれだけ分析できたかを確認する 前期のまとめ

前期シラバス

2016年度					前期				
対象学年		1 年		対象クラス		鉄道科		M クラス	
科目名		就職筆記対策 I			担当講師		北村 正雄		
到達目標									
鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。JR九州、JR九州みどりの窓口JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った講義なので出題傾向とレベルを知ることができます。各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も解いていきます。数学分野は非常に出来不出来の差が大きい分野。鉄道会社はが採用している数学はSCOA・玉手箱GAB・CAB、と言われています。前期のメインは小学校の高学年・中学生の分野です。この分野は柔軟な思考力が要求されるので簡単ではありませんが、真剣に取り組めば必ず理解できるようになります。後期のメインは高校(集合・確率・順列・組合せなど)の分野									
使用 テキスト									
なし(JR、地下鉄、広電、市営電車、南国交通等の採用試験問題をベース)									
成績評価方法									
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験＋平常点									

	テーマ	授業内容
第1週	鶴亀算	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹?連立方程式の解 ①式 $x+y=20$ ②式 $2x+4y=70$ ③式 $y=20-x$ を②式に代入④ $2x+4(20-x)=70$ ⑤ $-2x=-10$ ⑥ $x=5$ 鶴亀算はこのようにして解きません。和算
第2週	旅人算①	鉄道会社好みの問題・小学生のほとんどが実は理解できていないと言われている。その結果多くの中学生・高校生も理解できていない。速さ・距離・時間を求める公式距離=速さ(時速・分速・秒速)×時間(時・分・秒)追いかけて算(分速の遅いAが先に出発したx分後分速の早いBが出発した時、何分後何mの地点で追いつく
第3週	旅人算②	鉄道会社好みの問題・列車通過算・列車がある鉄橋に差し掛かってから完全に通過するまでの時間(時速80km長さ45mの普通列車と時速125km長さ100mの特急つばめ号が出会ってすれ違うまで何秒?)この特急つばめ号が長さ900mの鉄橋を完全に通過するのに何秒?
第4週	年齢算	年齢算の考え 方程式を用いなくて解く・年齢算の本質は差一定算 現在父の年齢39歳、子Aの年齢12歳、年齢差27歳は何年たっても、ひらくことも、縮まることもない、常に一定・父の年齢が子Aの年齢の3倍になるのは何年後?子Bが現在9歳ならA+Bの年齢が父の年齢と同じになるのは何年後?
第5週	流水算	流水算 旅人算の応用問題ある川を航行する船の下り上りの速度と時間 流水の速度を求める(ある川を船が下りは時速9km上りは時速7.6kmで航行する場合この船の静水時の航行速度は?この川の流れる速さ=(下りの船の速さ-上りの船の速さ)÷2 この船の静水時の速さ?
第6週	食塩水の濃度	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 毎年鉄道会社航空会社バス会社で出題 ①食塩水の濃度=食塩÷食塩水(食塩+水) 濃度0.1=10% 0.07=7% ②食塩=濃度×食塩水③食塩水=食塩÷濃度 ①②③の公式を論理的に組み立て解く。濃度の異なる食塩水AとBを混ぜ合わせた時の出来る食塩水Cの濃度 水の量
第7週	食塩水の濃度	応用発展問題 濃度10%の食塩水600gに濃度7%の食塩水を混ぜたら濃度9%の食塩水になった。濃度7%の食塩水は何g混ぜましたか 濃度5%の食塩水120gに水を足して濃度3%の食塩水を作るには水は何g? 濃度9%の食塩水を450gを煮詰めた結果270gの食塩水になった。この食塩水の濃度は?
第8週	桁数の多い計算 SCOA対策	加減乗除 分数 小数 すばやく計算が出来るマル秘テクニックなど 9が続く数字の掛け算(9999×8428=? 675×999=? 98×99=? 185×102=? 104×95=? 103×98=? 35の2乗 155の2乗995の2乗 1012÷9=? 100128÷9=? 12345÷8898? 11898÷96?)
第9週	仕事算	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量=1÷かかった日数(時数分数秒数) Aが鉄道会社のある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1
第10週	仕事算	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する?など
第11週	SCOA対策 数学理科	SCOA数学 等差数列と等比数列 規則性を伴った数字の一部が空白になっている問題 規則性を見つける 割合と比の問題 物理(電気)電圧V・電流A抵抗Rの関係 地学・地震 生物・遺伝 化学・化学反応式
第12週	市役所交通局の採用試験問題	前期試験問題の解答解説 公務員採用試験では判断推理・数的推理と呼ばれている分野 九州地区(福岡市、熊本市、鹿児島市など)自治体交通局の採用試験問題にチャレンジ②

2016年度					前期	
対象学年	1 年		対象クラス	鉄道科	M	クラス
科目名	就職筆記対策 II			担当講師	北村 正雄	
到達目標						
鉄道会社の筆記試験に合格することができる学力を習得することができます。 JR九州みどりの窓口JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った内容です。各自治体の交通局(市営地下鉄、市営電車など)の公務員採用試験問題の傾向も知ることが出来ます。国語は二語の関係性、反意語・対義語・四字熟語・文学史など。英語はJR西日本JR九州(みどりの窓口)の採用試験過去問題を学習します。						
使 用 テキスト						
なし(JR、地下鉄、広電、市営電車、南国交通等の採用試験問題をベース)						
成績評価方法						
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験＋平常点						

	テーマ	授業内容
第1週	SPI言語分野	SPI言語分野は独特の設問形式・二語の関係①類似語関係 (熟読・通読・精読、啓発・啓蒙・開発、歴然・当然・泰然・明白、性急・短慮・緊急・短気) 反対語関係(理論・実技・実践・実態、挫折・努力・貫徹・絶望、多弁・能弁・毒舌・寡黙)
第2週	SPI言語分野	二語の関係② 包含関係(名古屋・日本、化粧品・口紅、塩・調味料、枕・寝具、バレエ・舞踊、暖房器具・ストーブ) 原料製品関係(米・せんべい、コート・毛皮、陶器・粘土、セメント・石灰、ハム・肉、青カビ・ペニシリン、豆腐・大豆)
第3週	SPI言語分野	プリントA 俳句 和歌 短歌 体の一部・動植物をつかったことわざ 有名な一節で始まる文学作品歴史書 (春はあけぼの、いづれの御時にか ゆく川の流れば絶えずして 月は百代の過客にして)
第4週	SPI言語分野	プリントB 難しい漢字(植物 動物 あじさい くるみ やし さざんか) 間違いやすい漢字の意味、読み方、書き方 (やぶさかでない ぞっとしない 気が置けない等)
第5週	最重要四字熟語①	オリジナル作成四字熟語完全攻略200問① (合縁奇縁、曖昧模糊、悪逆無道、悪戦苦闘、阿鼻叫喚、曖昧模糊、暗中摸索 い・(唯々諾々、意気消沈、意気揚々、異口同音、以心伝心、意気揚々、一日千秋、一汁一菜、一陽来復、一騎当千)
第6週	最重要四字熟語②	オリジナル作成 四字熟語完全攻略200問② (右顧左眄、有象無象、紆余曲折) え・(栄枯盛衰、会者定離、遠交近攻、お・(岡目八目、温故知新)か・(偕老同穴、隔靴搔痒、画竜点睛、夏炉冬扇、汗牛充棟、換骨奪胎、閑話休題
第7週	最重要四字熟語③	オリジナル作成 四字熟語完全攻略200問③ (氣宇壮大、危機一髪、疑心暗鬼、喜怒哀楽、仰天動地、興味津津、虚々実々、玉石混交、曲学阿世、毀誉褒貶、金科玉条、狂喜乱舞、虚心坦懷、行住坐臥、喜色満面、欣喜雀躍) く・(空前絶後、空即是色、群雄割拠)
第8週	最重要四字熟語④	オリジナル作成 四字熟語完全攻略200問④ (さんかんしおん さんばいきゅうはい じがじさん しこうさくご じごうじとく しぜんとうた じぼうじき しゅうじんかんし しゅちにくりん ほか)
第9週	最重要四字熟語⑤	オリジナル作成 四字熟語完全攻略200問⑤ (せいこううどく せつさたくま せんがくひさい ぜったいぜつめい せんぺんいちりつ せんぺんぱんか そっせんすいはん そせいらんぞう ほか
第10週	英語	JR西日本、南国交通、広島電鉄、JR九州みどりの窓口、英語の採用試験の過去問 (鉄道関係で使用される英単語 英語のことわざ)
第11週	国語	JR西日本、南国交通、広島電鉄、JR九州みどりの窓口、国語の採用試験の過去問 (ことわざ 四字熟語) 公務員試験の過去問 知能分野(文章理解 長文の並び替え 要旨)
第12週	公務員採用試験問題	前期試験問題の解答解説 福岡市、熊本市などの交通局の知識分野の採用試験問題 国語(四字熟語、漢字)

前期シラバス

2016年度					前期				
対象学年		1 年		対象クラス		鉄道科		M クラス	
科目名		就職筆記対策 Ⅲ			担当講師		北村 正雄		
到達目標									
鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。JR九州、JR九州みどりの窓口JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った講義なので出題傾向とレベルを知ることができます。各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も解いていきます。社会分野は政治経済・歴史・地理・倫理・時事社会など広範囲なのでポイントを絞って分かりやすい授業にしていきます									
使 用 テキスト									
なし(JR、関東私鉄、地下鉄、広電、市営電車、南国交通等の採用試験問題をベース)									
成績評価方法									
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。									
期末試験＋平常点									

	テーマ	授業内容
第1週	社会 政治経済①	民主主義 直接民主主義と間接(代表)民主主義 議院内閣制と大統領制 日本国憲法の基本原理 国民主権 平和主義 人権尊重 三権分立の意味
第2週	社会 政治経済②	人権の体系 人権の種類 自由権 精神(信教・表現・思想)経済(職業選択・居住移転・財産権)身体(礼状なき家宅搜索押収逮捕の禁止)
第3週	社会 日本地理①	人文地理 自然地理 観光地理 世界遺産 国立公園 国定公園 北海道・東北1(青森・秋田県の主要都市、河川、山、主要産業、所旧跡(三内丸山遺跡 奥入瀬溪流 岩木山 ほか) 日本地理名数 北名
第4週	社会 日本地理②	人文地理 自然地理 観光地理 世界遺産 国立公園 国定公園 北海道・東北2(岩手・山形県の主要都市、河川、山、主要産業、所旧跡(龍泉洞 浄土が浜 盛岡チャグチャグ馬コ) 日本地理名数 北名
第5週	社会 日本史①	縄文 弥生(吉野ヶ里遺跡 板付遺跡)古墳時代 飛鳥時代(聖徳太子の業績 遣隋使派遣 17条憲法 仏教と神道の宗教戦争ほか) 特に各時代の遺跡、建造物、歴史書
第6週	社会 日本史②	奈良時代、平安時代 鎌倉時代の文化(各文化の特色 歴史書 古事記・日本書記 風土記 文学作品 枕草子 源氏物語 軍記物語 東大寺 興福寺 法隆寺 薬師寺 歴史的事件
第7週	社会 世界史	世界四大文明(エジプト メソポタミア インダス 黄河文明の特色) ギリシア ローマ時代 世界三大宗教の歴史的背景 各時代の遺跡 十字軍の遠征とイスラム教 中世ヨーロッパ
第8週	社会 世界地理	ヨーロッパの、人文地理・自然地理・観光地理(特にフランス・イタリア・イギリス・ドイツ・ベルギー・オランダ・スペイン・スイス等の観光地理、建築物、美術館、教会、2016年6月実施イギリスのEU離脱の国民投票 EU欧州合衆国の今後
第9週	社会 政治経済③	基本的人権 社会権(生存権・教育を受ける権利・労働基本権) 平等権(家庭生活の平等・夫婦の平等・社会生活の平等) 選挙区と議員定数の不均衡 議会議員数の定数削減 嫡出子と非嫡出子の相続分の差別問題 女子のみの再婚禁止期間 同性婚など最近の問題
第10週	社会 政治経済④	少子高齢社会と日本の社会保障制度 制度の問題点 少子高齢社会と税制 消費税率 社会福祉に必要な財源確保
第11週	社会 政治経済⑤	日本の国家財政(歳入と歳出の内訳) 税の意味と種類 経済学史と経済学者 GNP・NNP・NIの関係
第12週	市役所交通局の採用試験問題	前期試験問題の解答解説 公務員採用試験問題(福岡市、熊本市、鹿児島市など)自治体交通局の採用試験問題にチャレンジ 知識分野(社会) 公

前期シラバス

2016年度 前期(前半)				
対象学年	2 年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道概論Ⅱ		担当講師	花生 義一
到達目標				
内燃機関の特徴を学ぶ				
内燃機関の列車運転に関わる数値で見る鉄道を学ぶ				
列車運行に伴う車両性能と運行条件に付いて学ぶ				
使 用 テキスト				
鉄道車両技術入門(オーム社)、講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.内燃機関の定義を学び今後の授業に対する意識を高める
第2週	内燃機関の特性①	1.2サイクル機関と4サイクル機関の違いを学ぶ 2.内燃機関の行程を学びエンジンの仕組みを知る 3.圧縮比と熱効率の説明
第3週	内燃機関の特性②	1.ディーゼル機関の損失について学ぶ(利点、欠点) 2.内燃機関の馬力計算を学ぶ(図示馬力と軸馬力)
第4週	内燃機関の特性③	1.内燃機関の回転力について計算式で学ぶ 2.内燃機関の燃料消費量について学ぶ 3.内燃機関の燃料噴射量と燃料消費量の関係を学ぶ
第5週	運転理論①	1.けん引き定数を知り、列車運転に対する定義を学ぶ 2.車種別によるけん引き定数の表し方を知る 3.気動車のけん引き定数の表記方に対する注意点を学ぶ
第6週	運転理論②	1.運転速度の定義を学ぶ ・均衡速度・表定速度・平均速度・計画速度・進入速度・進出速度・通過速度・実測速度 ・観測速度・推定速度・許容速度を学ぶ
第7週	運転理論③	1.速度種別の概要を学ぶ 2.速度名称を学び、各車両の特性を知る 3.速度記号による列車の区別方法を知る
第8週	運転理論④	1.列車の運転線図を学ぶ ・計画運転線図・指導運転線図・実際運転線図・簡易運転線図の特徴を学ぶ
第9週	運転理論⑤	1.運転線図の作成方法を学ぶ 2.直接画法・関接画法・コンピューターによる作図を学ぶ 3.運転線図の表し方をを知る
第10週	運転理論⑥	1.運転線図作成時に用いる各表記方法を学ぶ 2.運転線図の作成を行い、運転に対する計算を行う
第11週	運転理論⑦	1.運転製図の作成を行う 2.運転線図に対する、個人指導を行い運転に対する知識を身に付ける 3.運転線図に沿った運転計画を学ぶ
第12週	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.期末試験対策

前期シラバス

2016年度 前期(後半)				
対象学年	2 年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道概論Ⅲ		担当講師	花生 義一
到達目標				
ダイヤグラムを作成し、鉄道運行の基本を学ぶ ダイヤグラムを作成し、各駅ごとの乗務員の作業を学び、列車運行に携わる基本を同時に学ぶ ワンマン運転の基礎を学ぶ				
使 用 テキスト				
講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.ダイアグラムの概要を説明し、ダイアグラム作成時の注意点を知る
第2週	ダイアグラム作成①	1.15種類の乗務員行路を用いてダイアグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイアグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する
第3週	ダイアグラム作成②	1.15種類の乗務員行路を用いてダイアグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイアグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する
第4週	ダイアグラム作成③	1.15種類の乗務員行路を用いてダイアグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイアグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する
第5週	ダイアグラム作成④	1.15種類の乗務員行路を用いてダイアグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイアグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する
第6週	ダイアグラム作成⑤	1.15種類の乗務員行路を用いてダイアグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイアグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する
第7週	ダイアグラム作成⑥	1.15種類の乗務員行路を用いてダイアグラムを作成する、 2.個人的に習熟度を確認して再指導を行うことによって、授業の意義を知る 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する
第8週	ダイアグラム作成⑦	1.15種類の乗務員行路を用いてダイアグラムを作成する、 2.個人的に習熟度を確認して再指導を行うことによって、授業の意義を知る 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する
第9週	ダイアグラム作成⑧	1.15種類の乗務員行路を用いてダイアグラムを作成する、 2.最終の作成状況確認を行い、出来栄え判断を行う 3.異常時対応時のダイアグラム使用方を学ぶ
第10週	ワンマン運行①	1.ワンマン運行を行う意義と責任を学び、普及が進む状況を説明する 2.ワンマン運転を行う際の基本的な取り扱いを学び理解度を深める 3.期末試験対策
第11週	ワンマン運行②	1.期末試験に対するフィードバックを行う 2.基本のワンマン機器の操作方法を知り、各鉄道業界のワンマン取扱い方法を学ぶ
第12週	後期のまとめ	総まとめ、全体質疑

2016年度 前期(前半)				
対象学年	2 年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道車両Ⅱ(電車)		担当講師	花生 義一
到達目標				
鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする 鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける				
使 用 テキスト				
鉄道車両技術入門(オーム社) 講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション (ブレーキ装置の概要)	1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレーキシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ
第2週	鉄道車両ブレーキ装置概要	1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する (常用ブレーキ装置 留置ブレーキ装置 保安ブレーキ装置 その他) 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ
第3週	空気ブレーキ方式と 保安ブレーキ	1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.保安ブレーキ装置の意義とブレーキシステムの基礎知識を学ぶ
第4週	ブレーキ力と粘着力	1.鉄道車両のブレーキ力を左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキ力と粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ
第5週	補助電源装置の用途と回路構成	1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける電 3.高い効率と信頼性を図ったSIV(静止型変換装置)待機系回路構成を学ぶ .
第6週	電源回路の方式とその特徴	1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ (独立運転方式 待機二重方式 並列同期運転方式)
第7週	鉄道車両に設置すべき設備 ①	1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS(自動列車停止装置) ATC(自動列車制御装置) ATO(自動列車運転装置)
第8週	鉄道車両に設置すべき設備 ②	1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線 デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ
第9週	保安装置のシステム	1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける
第10週	運転理論の基礎知識と 計算式の応用	1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗 走行抵抗 空気抵抗 勾配抵抗 曲線抵抗の理論について学ぶ 3.鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける
第11週	電気車の付属装置	1.期末試験のフィードバックを行う 2.車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ
第12週	前期のまとめ	総まとめ、全体質疑

後期シラバス

2016年度		前期(後半)		
対象学年	2 年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道車両Ⅱ(電車)		担当講師	花生 義一
到達目標				
鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする 鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける				
使 用 テキスト				
鉄道車両技術入門(オーム社) 講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション (車両メンテナンス)	1.カリキュラムの説明を行う 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ
第2週	車両情報伝送システムと 乗務員支援	1.車両情報伝送システムによる運転支援機能についての仕組みを身につける 2. 車両乗務員(運転士・車掌) への運転支援項目・内容についてを学ぶ 3.運転士用モニター画面 車掌用モニター画面表示の見方について学ぶ
第3週	主要機器・装置の役割と 機能	1.鉄道車両において各装置別の役割・機能について学ぶ (車体・走行装置・集電装置・動力発生装置・動力伝達装置・ブレーキ装置・補助回路装置 ・連結装置・附属装置・運転保安装置)
第4週	鉄道電気車の専門用語	1.電気車 主要機器装置の名称・機能・専門用語を学び知識を高める事を目的とする 2.電気車の運転操作、及び乗務員として必要な関連機器用語の知識を高める 3.専門用語を理解し、みんなと共有できるようにレベルに達する知識を身につける
第5週	半導体素子の種類と応用	1.電子機器、電子部品の特性・機能を学び、最新鉄道の知識、技術を習得する 2.半導体の種類、名称・特徴・応用についての知識アップを目的とする 3.電気車の制御専門用語、及び半導体など新技術開発までの歴史を学ぶ
第6週	インバータ制御システム	1.最新電気車における省エネ・省メンテを図った制御システムを身につける 2.速度制御及び回生ブレーキの制御システムのメカニズムを学ぶ 3.インバータ装置による交流変換制御システムを理解し知識を高める
第7週	抵抗車のトルク制御と速度制御	1.抵抗制御車のしくみを学び、鉄道電気車の制御システムの基礎を身につける (抵抗制御法 直並列制御法 界磁制御法) 2.電気理論を理解し制御システムの基礎知識の習得を目的とする
第8週	電気車の連結装置の概要	1.電気車の連結装置の種類、用途・機能・安全性について学ぶ ・密着連結器(トムリンソン式 廻り子式) 自動連結器 永久連結器 2.車両の連結・開放の仕組みと、操作手順・機能についての知識を高める
第9週	電気車主回路構成と 制御システム	1.直流電気車の制御方式と主回路システムについての知識を習得する 2.抵抗制御方式、インバータ制御方式による制御システムを理解する 3.主回路を構成させるための条件について学ぶ
第10週	電気車の制御回路と 回路図の読み取り	1.鉄道技術者・乗務員として最も必要な図面の読みについての知識を身につける 2.主回路と制御回路との関係を理解し、機器・装置の動作仕組みを身につける事を目的とする 3.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認及び期末試験対策を行う
第11週	インバータ制御主回路と 動作及び機能を学ぶ	1.期末試験のフィードバックを行う 2.鉄道車両において各装置別の役割・機能について学ぶ
第12週	後期のまとめ	総まとめ、全体質疑

後期シラバス

2016年度 前期(前半)				
対象学年	2 年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道車両Ⅳ(気動車)		担当講師	花生 義一
到達目標				
気動車の概要を学ぶ				
気動車の各機器の特徴と役目を知り、車両に対する知識を高める				
気動車と電車の特徴を学ぶ				
使 用 テキスト				
鉄道車両技術入門(オーム社)				
講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.気動車の歴史を知り、活用目的と利点を学ぶ 3.気動車と電車の違いを知る
第2週	気動車の種類	1各鉄道会社の気動車列車を知り、車種別使用目的を学ぶ 2.気動車の車種別内容を学び車両構造及び車体の分類を学ぶ 3.車体表記を知り、構造条件を学ぶ
第3週	気動車の車両構造①	1.各車両機器説明を行う 2.床下機器配置の説明を行い走行等に必要車両機器を知る 3.気動車の車内機器、外回り機器等を学び、各機器の役割を知る
第4週	気動車の車両構造②	1.運転台の説明を行い、運転に必要な重要機器類を知る 2.連結器の内容を学ぶ 3.台車の構造を学び、快適さを維持するために必要な条件を学ぶ
第5週	気動車の車両構造③	1.ブレーキ装置の基本を学び、列車の安全走行に必要な条件を学ぶ 2.列車が停止するためには、どのような仕組みであるかを学ぶ 3.ブレーキ弁の構造を学び、自動ブレーキの概要を知る
第6週	動力源	1.ディーゼル機関とガソリン機関の違いを学ぶ 2.ディーゼル機関の使用目的を知り、機関の中身を学ぶ 3.ディーゼル機関の中身を学び、各必要部品の役割を知る
第7週	ディーゼル機関①	1.ディーゼル機関の作動原理を知る 2.ディーゼル機関のストロークを知る 3.燃料噴射に関わる機器と原理を知り、機関の起動する条件を学ぶ
第8週	動力伝達装置	1.動力伝達装置の原理を学ぶ 2.動力伝達に関わる各装置の役割を知る 3.液体変速機の原理を知り、動力伝達の手順を学ぶ
第9週	運転機器	1.運転台の主幹制御器の中身を知り、列車を動かす方法を学ぶ 2.ブレーキ弁の性能と取り扱い方を学ぶ 3.ブレーキ弁ハンドル位置を学びブレーキ作用を知る
第10週	各ブレーキ装置	1.各種保安ブレーキを知り、必要性を学ぶ 2.ブレーキ制御装置の各役割と使用目的を学ぶ
第11週	車両保安装置	1.車両保安装置を知り、設置目的を学ぶ 2.車種別の車両保安装置を知る 3.気動車の運転方法を知る
第12週	後期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.期末試験対策

後期シラバス

2016年度 前期(後半)				
対象学年	2 年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道車両 V (気動車)		担当講師	花生 義一
到達目標				
気動車のしくみ(電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ)				
気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ				
電気配線に対する理解力を向上させる				
使 用 テキスト				
講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ
第2週	電気配線図概要	1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ
第3週	主電源	1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ
第4週	エンジン起動回路①	1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ
第5週	エンジン起動回路②	1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
第6週	エンジン起動回路③	1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
第7週	エンジン増速運転	1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(1N～5N) 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
第8週	逆転機回路	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(前進・後進) 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
第9週	変速回路	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
第10週	直結回路	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認及び期末試験対策を行う
第11週	その他回路(異常時)	1.期末試験のフィードバックを行う 2.温度ヒューズ溶断時のエンジンの状態と電気の流れを学び、対処方法を知る 3.各種温度計高温度時の動作内容とエンジンの状態を学び、対処方法を知る
第12週	後期のまとめ	総まとめ、全体質疑

前期シラバス

2016年度		前期			
対象学年	2年	対象クラス	鉄道科		N クラス
科目名	就職筆記対策 I		担当講師	北村 正雄	
到達目標					
西日本鉄道、広島電鉄、関東圏の私鉄、地下鉄、JR九州みどりの窓口、JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の筆記試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来るようになります。					
鉄道各社の出題傾向に沿った、WEBSPI対策 SCOA対策、玉手箱対策 GAB・CAB対策を実施 各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も適宜実施します。					
使 用 テキスト なし 鉄道各社の採用試験問題や各自治体の市電地下鉄職員採用試験問題を適宜実施					
成績評価方 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					
期末試験＋平常点					
	テーマ		授業内容		
第1週	WEB・SPI(非言語・数学)		比例と反比例の基本問題(座標の基本的考え 右上がりの直線と右下がりの直線) 関数の公式($y=ax+b$ 傾きと切片の意味とその値を求める問題) 統計表の解釈①(桁数の多い数字を概算し伸び率、減少率を求める 因数分解と展開 $(x+a)(x+b)$ $(x+a)(x+a)$ 解法と公式		
第2週	WEB・SPI(非言語・数学)		統計資料②(日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)		
第3週	WEB・SPI(非言語・数学)		統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味 少なくともの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)		
第4週	WEB・SPI(非言語・数学)		推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題		
第5週	WEB・SPI(非言語・数学)		推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用(西鉄、JRには最重要問題)速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。追いかかけ算の公式など 表を短時間に読み取ることがポイント		
第6週	SCOA玉手箱		推論 確率(確率の意味と公式 確率は最少は0と同じか、0より大きい。最大は1と同じか1より小さい 確率P=求める場合の数÷全体の場合の数 合成確率 少なくとも=余事象の問題がポイント) 順列と組合せ		
第7週	SCOA玉手箱		加減乗除の四則計算 単なる加減乗除ではなく、分数と小数が入り混ざった計算問題 商や乗の数字が分かっているとき、その前にある空白の数字を埋めていく問題(虫食い算) 5桁6桁7桁など桁数の多い数字の計算問題になれることが大切		
第8週	SCOA玉手箱		推論 位置関係(3階建のアパート101号～103号・201号～203号・301号～303号にABCDEFGHの9人が住んでいる。Aの二つ上の階はE、Bの二つ上の階はI、Cは202号室ではない、Gの二つ下の階にはF、Hの二つ下の部屋はG。各自の部屋を確定しなさい)		
第9週	SCOA玉手箱		推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメは一番安い?カモメは何番目に高い)		
第10週	SCOA玉手箱		推論(発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰? A(Bの発言は本当?)B(Cの発言は嘘?)C(Dの発言は嘘? D(Eの発言は本当?)E(Aの発言は嘘ではない?)		
第11週	GAB・CAB玉手箱対策		進数計算 進数計算の公式 n (10進数以外)進数を10進数に。10進数を n (10進数以外)に。(3進数の11010を10進数にすると? 10進数の52を2進数にすると? 5進数の42343を10進数にすると? 小数、分数の混ざった加減乗除		
第12週	1年前期後期・2年前期の総まとめ		前期試験の解答解説・食塩水の濃度(異なる濃度の食塩水を混ぜ合わせた時に出来る食塩水の濃度がポイント) つるかめ算(連立方程式を使わない 異なるものが三つある場合がハイレベル) 仕事算(仕事量=1時間・1日あたりの仕事量×時間・日)		

前期シラバス

2016年度		前期	
対象学年	2 年	対象クラス	鉄道学科 N クラス
科目名	就職筆記対策 II	担当講師	北村正雄
到達目標 西日本鉄道、広島電鉄、関東圏の私鉄、地下鉄、JR九州みどりの窓口、JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の筆記試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来るようになります。 鉄道各社の出題傾向に沿った、WEBSPI対策 SCOA対策、玉手箱対策 GAB・CAB対策を実施 各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も適宜実施します。国語・英語分野は反意語・対義語・四字熟語・文学史や長文対策社会分野は政治経済地理歴史と最新時事問題			
使用テキスト なし 鉄道各社の採用試験問題や各自治体の市電・地下鉄職員の採用試験過去問を適宜採用			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験＋平常点			

	テーマ	授業内容
第1週	国語 直前対策	総合問題 間違いやすい漢字表記 厚生構成校正後世 快方解放介抱 移動異動 保障保証補償 清算生産精算凄惨 対象対照対称 年齢の漢字表記20歳40歳50歳60歳61歳70歳77歳88歳99歳・四字熟語など
第2週	国語 直前対策	総合問題 反対語 加齢・勤勉・収入・権利・不足・必然・実践など 同義語 ことわざ・身体の一部、動物、植物を使ったもの SPIWEB国語二語の関係 目的・手段 原因・結果 原料と製品 SCOA対策 文章並び替え問題
第3週	国語 直前対策	総合問題(四字熟語 暗中模索・軽挙妄動・南船北馬・朝三暮四・夏炉冬扇 ことわざ) SPI・SCOA対策長文の要旨と接続詞 文章の並び替え 難解な漢字の読み方(素性・権化・欠伸・雪崩・時雨・稀有・彷彿・健気など)
第4週	国語英語 直前対策	総合問題 JR西日本JR九州採用試験問題頻出漢字(胡散臭い・面子・頒布・更迭 賦課・嗚咽 英語のことわざ(覆水盆にかえらず・百聞は一見にしかず・郷に入れば郷に従え・光陰矢のごとし・二兎追うものは一兎も得ず、など
第5週	国語 直前対策	日本文学・歴史書の復習 奈良時代(古事記・日本書紀・風土記・万葉集) 平安時代(古今和歌集 枕草子 源氏物語 土佐日記 更級日記 蜻蛉日記) 鎌倉時代(方丈記 新古今和歌集 徒然草 愚管抄 明月記など)
第6週	国語 直前対策	総合問題(SCOA GAB CABの長文問題 説問の要旨と異なるもの 説問から断定できないもの 設問の文章を並び替えた場合最初から2番目にくるものなど) 英語の出題傾向(英検2級の反意語・同意語・イディオムからの出題が目立つ)
第7週	社会 直前対策	SCOA対策 歴史分野 日本史(江戸、明治、大正、昭和) 世界史(ルネサンス 大航海時代 第一次世界大戦)
第8週	社会 直前対策	SCOA対策 地理分野 日本地理(人文地理 観光地理 世界遺産、国立国定公園等) 世界地理(人文地理 観光地理 ヨーロッパ 北米 イギリスとユーロ圏 シェンゲン協定とマーストリヒト条約 GTMと時差計算等)
第9週	社会 直前対策	経済分野の総合問題 日本国の財政 地方自治体の財政 経済学史(経済学者とその主要著書) 社会保障制度 景気変動 通貨制度・管理通貨制度) 日本銀行の金利政策(公定歩合・預金準備率操作・オープンマーケットオペレーション) 日本の少子化と超高齢社会の問題点(消費の低迷・税収不足など)
第10週	社会 直前対策	JR各社の地理分野の採用試験問題(国内の陶磁器の生産地、焼き物、2025年東京名古屋開通予定のJR東海の新幹線名 AED 裁判員制度 オフサイトセンター TOB ワシントン条約 ハイブリッド車 水素自動車 バイオマスその他 総合問題 日本地理(各県の祭り、温泉、国内の鉄道の幹線・地方交通線など
第11週	社会 直前対策	日本文学②(斜陽 小説神髓 浮雲 にぎりえ たけくらべ 一握の砂 夜明け前 雪国 金閣寺 芥川賞・直木賞受賞作品 歴史分野の総合問題(日本史 世界史 世界四大文明 ルネサンス 産業革命 日清戦争 日露戦争 第一次世界大戦の原因と結果・条約名)
第12週	公務員採用試験問題	前期試験の解答解説 国語長文(地下鉄・市営電車など公務員採用試験の問題・四字熟語 文章並び替え) 社会総合(IMF IBRD WTO ODA TPP ASEAN FTA IATA ICAOなど) 国語(数字を使った四字熟語、動物を使った四字熟語など)

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	手話	担当講師	鶴田 由香	
到達目標				
聴覚障害者に対しての理解を深めながら、手話を使って日常会話ができる				
鉄道や旅客関係の場面に応じての接客の手話ができる				
聴覚障害者のお客様への配慮とサービスを理解する				
使 用 テキスト				
手話を学ぼう手話を話そう				
参考資料としてプリント(接客手話、聴覚障害者に関する資料)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末実技テスト+小テスト+授業中の態度(手を動かす、伝える努力)				
授業中の携帯使用は評価より厳しく減点します。				

	テーマ	授業内容
第1週	手話って何？ 伝えあってみましょう	聴覚障害者に対しての理解を深め、手話の必要性を学ぶ 身振り、手振りで手話に慣れる サイレント伝言ゲーム
第2週	見ることば 指文字と身振り	身振りを工夫して手話で伝える 自分の名前を紹介する
第3週	自己紹介 名前を紹介しましょう	前回の復習 日常の会話をしてみましょう 接客手話
第4週	人物の表し方 家族を紹介しましょう	前回の復習 家族の紹介を通じて人物の表し方を学習する 人物に関する会話例
第5週	ろう者と話そう 趣味についての表現	前回の復習 趣味に関する表現 感情に関するする表現を学習し会話をする 小テスト
第6週	数字に関する会話 数字を使つての会話	前回の復習 数字の表し方の学習(時間・単位・金額など) 時間や金額に関する接客手話
第7週	仕事に関する手話 仕事について話しましょう	前回の復習 仕事をテーマに手話単語を覚え、聴覚障害者の職場での問題も考える 場面別の接客手話 小テスト
第8週	道案内をしてみよう あなたの家を紹介しましょ う	前回の復習 地名、住所の手話表現を習得し交通手段の説明をする 駅での案内に関する接客手話
第9週	手話で表現 自己紹介をしましょう 総復習	前回の復習 今まで学んだ手話を使って自己紹介する 小テスト
第10週	接客手話	場面別での接客手話
第11週	実技テスト	筆記・読み取り・実技
第12週	手話の世界 まとめ学習	聴覚障害者の生活を理解する 前期の総復習

前期シラバス

2016年度					前期					
対象学年		2年		対象クラス		鉄道科		Nクラス		
科目名		ペン字			担当講師		安藤 清子			
到達目標										
・書検を通して書式を学ぶ										
・美しい文字を書く為のポイントを学ぶ										
使 用 テキスト										
・硬筆書写検定3級合格のポイント										
成績評価方法										
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。										
期末テスト(実技・理論) 授業態度										
小テスト										

	テーマ	授業内容	理論
第1週	書写検定合格のポイント ①	書写検定合格のポイント 大字(マス)・縦書き 行書を学ぶ①	筆順
第2週	②	書写検定合格のポイント 大字(マス)・縦書き 行書を学ぶ①	草書のよみ①
第3週	③	書写検定合格のポイント はがきの表書き(復習)	草書のよみ②
第4週	④	書写検定合格のポイント 掲示を書く	常用漢字間違い探し①
第5週	⑤	書写検定合格のポイント 掲示を書く・その他復習	〃 ②
第6週	⑥	書写検定(まとめ) 小テスト①	
第7週	美文字になろう①	自分の名前を書く(楷書と行書) 配字配列(縦書き)～縦書きの書き方～	
第8週	〃 ②	手紙の書き方① はがきで手紙を書く(返信はがきの書き方)	
第9週	〃 ③	手紙の書き方② お礼状を書く(便箋)	
第10週	〃 ④	手紙の書き方③ 封筒・はがき(復習)表書きの書き方	
第11週	〃 ⑤	小テスト②(実技・理論)	
第12週	〃 ⑥	美文字になるコツ ～美文字になろう～	

前期シラバス

2016年度		前期				
対象学年	2	年	対象クラス	鉄道科	N	クラス
科目名	鉄道業界研究		担当講師	三石 佳代子		
到達目標 鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かす。 志望企業の企業理念・財務諸表を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。						
使 用 テキスト ・講師作成プリント						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%						

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 鉄道会社の組織について	一年生の振り返り 前期説明
第2週	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、 面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど
第3週	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、 面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など
第4週	先輩の声 (駅員、客室乗務員)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究 小テスト1
第5週	先輩の声(車掌)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究
第6週	先輩の声(運転士)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究
第7週	鉄道会社の財務諸表・ IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する 小テスト2
第8週	鉄道会社の企業理念・ CSRを学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に 反映させる
第9週	グループディスカッション 事例研究	実際にあったお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする
第10週	期末テスト対策	これまでに学習した内容を総復習する
第11週	期末テスト振り返り	期末テストを振り返りすることで業界知識を身に着け、 就職試験に活かす
第12週	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもたらす影響を知り、 鉄道員として取組むことを学ぶ

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2	年	対象クラス	鉄道科 N クラス
科目名	就職活動講座		担当講師	三石 佳代子
到達目標 専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。 鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から内定を得ることを目標とする。				
使 用 テキスト ・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」・就職ノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 求人情報について
第2週	受験対策	実習経験を活かした志望動機や自己PRの作り方 文章作成の基本(三段構成法、PREP法など)
第3週	受験対策	最終模擬面接の振り返り 適性検査、一般常識、小論文とは
第4週	受験対策	就活方法の再確認及び反省 PDCAサイクル
第5週	受験対策	座右の銘を知り、自身の価値観を分析する
第6週	受験対策	キャリアアンカーを学び、自身の価値観と 志望企業の企業理念がマッチしているか確認する
第7週	受験対策	全就活生の就活進行状態を知る 若年者の就職率
第8週	受験対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする
第9週	受験対策	他己分析を行い、組織・グループ内での立場を認識する
第10週	受験対策	先輩の声を活かした志望動機の作成
第11週	受験対策	鉄道業界最新事情を知り、小論文を作成する
第12週	前期の振り返り	未内定者の振り返りと、今後の対策、方向性の確認 内定者は企業研究と就業準備の検討と対策 小テスト

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	鉄道 科	Nクラス
科目名	鉄道駅実務		担当講師	西 政明
到達目標				
・交通全般及び鉄道に関する基礎知識を習得する。 ・鉄道業務一般常識及び駅業務の実態と課題を学ぶ。 ・駅社員（組織人）としての心構えと基本スキルを身につける。				
使 用 テキスト				
なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点(20%)＋期末試験(80%)				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 交通論Ⅱ	講義のねらい、スケジュール、カリキュラム等の概要説明、トピックス 鉄道関連政策史(創業前から国有化まで)
第2週	交通論Ⅱ	鉄道関連政策史(戦後交通市場の変容と政策)
第3週	鉄道概論Ⅱ	・鉄道のカテゴリー別経営戦略とビジネスモデル ・主な会社の現状(九州)
第4週	鉄道・駅の安全・安心	・鉄道事故及び環境対策の現状 ・安全マネジメント ・環境マネジメント
第5週	駅社員の接遇(1)	・時代を把握し、自己を知る ・自己紹介はマナーのスタート ・人間(お客様)心理
第6週	駅社員の接遇(2)	・接遇マナーの印象と効果 ・敬語の基本と円滑な言葉づかい
第7週	駅社員の接遇(3)	・ビジネスマナー(電話応対と来客応対) ・ロールプレイ
第8週	駅社員関連法規(1)	・駅社員の業務に関する基本法令・法規等の概要と留意点
第9週	駅社員関連法規(2)	・鉄道駅の運営に関する基本法令・法規等の概要と留意点
第10週	企業倫理・自己管理	・企業人としての規範を認識する CSR、コンプライアンス、メンタルヘルス等について
第11週	社会人・組織人	・社会人としての心構え(「社会人基礎力」とは) ・組織人としての仕事のしかた(指示の受け方、ハウレンソウ等)
第12週	まとめ	・期末試験のフィードバック ・全体の振り返り ・質疑応答

前期シラバス

2016年度 前期(後半)				
対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	プレゼンテーション		担当講師	船藏 大志
到達目標				
・プレゼンテーションとは何かを広義に捉え、プレゼンテーションの影響力について理解する。 ・自身の印象をプレゼンテーションと捉え、自身の気持ちや想いを表現できるようになる。 ・自身のプレゼンテーションを通して目標を決め、自己実現する。				
使 用 テキスト				
・プレゼンテーションテキスト ・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点20点 + 提出物評価20点 + 期末テスト60点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・2016年度プレゼンテーション授業について、授業内容の説明を行います。 ・「プレゼンテーションとは何なのか」を解説します。 ・簡単なアンケートへの記入をお願いします。
第2週	自己受容	・自分をプレゼンテーションするにあたり、まずは「自己受容」することが大切です。 ・自分という人間を可視化し、一度受け入れてみましょう。 ・自分の印象について、周囲に聞いてみましょう。
第3週	自己分析①	・なぜプレゼンテーションが必要なのか解説します。 ・自身とはどんな人間なのかを客観的に分析してみます。 ・分析した自分について、可視化します。
第4週	自己分析②	・自己分析①を基に、自分に必要なものや伸ばしたいものを目標とします。 ・目標を達成するためのプロセスについて具体的に考えます。 ・目標を達成するために必要なものを可視化します。
第5週	自己表現①	・なぜ人間関係が大切なのかを解説します。 ・人間関係を築くには、自身がどうあるべきかを考えてみましょう。 ・自身はどんな人間になりたいのか、考えてみましょう。
第6週	自己表現②	・自己表現①を基に、グループを作り意見をもらいます。 ・これまでの授業を基に、「自分のキャッチコピー」を考えます。 ・また、自身という人間の特徴を把握してみましょう。
第7週	自己紹介	・第6週までの授業を基に、自己紹介文を作成します。 ・起承転結を付け、周囲に自分を印象付けられる文章を考えてみましょう。 ・自己紹介文の発表を行います。
第8週	プレゼンテーション①	・対外的にプレゼンテーションを行うための手順について解説します。 ・プレゼンテーションするための情報収集方法や手段について解説します。 ・プレゼンテーションするための心構えについて解説します。
第9週	プレゼンテーション②	・題材を基に、グループ内でディスカッションを行います。 ・ディスカッションした内容について、周囲と融和する手段を考えます。
第10週	プレゼンテーション③	・10分程の、プレゼンテーションの作成を行います。 ・5W3Hを決め、プレゼンテーション①②の復習を兼ねて相手に共感してもらえる内容を考えます。 ・手順を建設的に考えてみましょう。
第11週	前期テストの解説	・2016年度前期プレゼンテーション授業のテスト回答・解説を行います。 ・発表資料の作成に必要なツールや資料作りについて解説します。 ・これからの自分について、課題設定を行います。
第12週	まとめ	・これまでの授業の振り返りを行います。 ・これからの自分について設定した課題の発表を行います。

前期シラバス

2016年度					前期				
対象学年		2年		対象クラス		鉄道科		N選択クラス	
科目名		国内管理者Ⅰ(業法・約款)			担当講師		丸山 時男		
国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す									
使 用 テキスト									
1.旅行業法・旅行業約款 2.運送・宿泊約款 3.科目別速習問題集									
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。									
1. 期末試験 60%									
2. 平常点(授業態度・ミニテスト等) 40%									

	テーマ	授業内容
第1週	旅行業法	H27年度国家試験問題の分析・解説
第2週	旅行業法	演習問題、解答・解説
第3週	旅行業約款	H27年度国家試験問題の分析・解説
第4週	旅行業約款	演習問題、解答・解説
第5週	宿泊・運送約款	H27年度国家試験問題の分析・解説
第6週	旅行業法・約款	前期前半試験問題解答・解説
第7週	宿泊・運送約款	演習問題、解答・解説
第8週	旅行業法	弱点対策、小テスト
第9週	旅行業約款	弱点対策、小テスト
第10週	運送約款	弱点対策、小テスト
第11週	旅行業法・約款・	期末試験の解答・解説
第12週	宿泊・運送約款	期末試験の解答・解説

前期シラバス

2016年度					前期				
対象学年		2年		対象クラス		鉄道科		N(選択)クラス	
科目名		国内管理者Ⅱ(国内実務)			担当講師		挽田雅子・中牟田哲也		
到達目標									
国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す									
使 用 テキスト									
○3国内運賃・料金 ○4国内観光資源									
○科目別速習問題集 ○JR時刻表 ○国内観光地理サブノート									
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。									
1. 期末試験 60%									
2. 平常点(授業態度・ミニテスト等) 40%									

	テーマ	授業内容
第1週 4月14日(木) 挽田	国内地理	管理者試験国内地理演習問題 温泉を覚える 北海道・東北・関東
第2週 4月21日(木) 挽田	国内地理	管理者試験国内地理演習問題 温泉を覚える 中部・関西・中国・四国・九州
第3週 4月28日(木) 挽田	国内地理	管理者試験国内地理演習問題 山・高原・渓谷を覚える 新緑や紅葉の名所 眺望・夜景の素晴らしい峠や山々
第4週 5月12日(木) 挽田	国内地理	管理者試験国内地理演習問題 島・半島を覚える 旅情イメージにあふれ、ツアータイトルにも使われる全国の島や半島
第5週 5月19日(木) 挽田	国内地理	管理者試験国内地理演習問題 海岸・岬を覚える 日本三景など観光資源の宝庫である全国の海岸・岬
第6週 5月26日(木) 挽田	国内地理	管理者試験国内地理演習問題 主な観光地を覚える 歴史ある街並みや建造物が今も残る観光都市
第7週 6月02日(木) 中牟田	運賃料金	JR運賃計算の基本を復習 演習問題を解き理解を深める
第8週 6月09日(木) 中牟田	運賃料金	JR料金計算の基本を復習 演習問題を解き理解を深める
第9週 6月16日(木) 中牟田	運賃料金	新幹線の基本の復習・変更点の確認 演習問題を解き理解を深める
第10週 6月23日(木) 中牟田	運賃料金	航空運賃の基本および取消料を復習 演習問題を解き理解を深める
第11週 7月07日(木) 中牟田	運賃料金	バス・フェリーの運賃料金計算の基本を復習 演習問題を解き理解を深める
第12回 7月14日(木) 中牟田	運賃料金	宿泊料金の基本を復習 演習問題を解き理解を深める

エアライン科

エアポート科

エアライン・エアポート

学年	科目名	クラス	ページ
1	空港実務	O	117
1	航空業界研究	O	118
1	日本語表現	OV	119
1	アクセス	O	120
1	実習前教育Ⅰ	O	121
1	実習前教育Ⅱ	O	122
1	コミュニケーション学	OV	123
1	空港英語	O	124
1	就職対策講座	O	125
1	ユニバーサルサービス	OV	126
1	ビューティ	O	127
2	ユニバーサルサービス	QRW	128
2	観光地理	QRW	129
2	エアラインビジネス	QR	130
2	GS受験対策	QR	131
2	CA受験対策	QR	132
2	航空業界筆記試験対策	QR	133
2	就職活動講座（就職活動講座）	QR	134

エアポート

学年	科目名	クラス	ページ
1	フライトオペレーションⅠ	V	135
1	グランドハンドリング（運輸サービス）	V	136
1	グランドハンドリング搭載Ⅰ	V	137
1	グランドハンドリング搭載Ⅱ	V	138
1	航空業界研究	V	139
1	アクセス	V	140
1	危険物取扱者試験対策	V	141
1	航空英語	V	142
1	就職活動講座	V	143
2	グランドハンドリング搭載	W	144
2	グランドハンドリング搭載	W	145
2	エアカーゴ概論	W	146
2	就職対策講座	W	147
2	航空業界筆記試験対策	W	148

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	0クラス
科目名	空港実務		担当講師	原田 歩
到達目標				
1. 国内空港・航空会社の特徴や専門用語を習得する				
2. 国内線におけるお客様の流れを理解する				
3. 国内線の基本的なルールを理解する				
使 用 テキスト				
『ANAグランドスタッフ入門』 イカロス出版				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト80% 平常点(実技含む)20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・空の安全について考える
第2週	日本の空港	・日本地図をもとに空港の位置を学ぶ ・各空港の特徴を学ぶ ・空港の3レターを覚える
第3週	日本の航空会社	・日本の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・航空会社の3レター、2レターを学ぶ
第4週	GSの業務内容と役割	・GSの勤務形態、業務内容を学ぶ ・GSの役割を理解する ・GSに求められる人材について考える
第5週	国内線旅客運送	・国内線の手続きを学ぶ ・航空機が到着して出発するまでの流れを学ぶ ・国内線におけるお客様の流れを学ぶ
第6週	航空業界用語	・専門用語や略語を覚える ・意味を理解する ・使用する場面を理解する
第7週	国内線航空券	・航空券の見方とルールを学ぶ ・様々な搭乗媒体を知る ・スキップサービスを理解する
第8週	国内線運賃	・様々な運賃とルールを学ぶ ・他社運賃と比較する ・ホームページより空席照会をする
第9週	手荷物①	・機内持込み手荷物のルールを学ぶ ・受託手荷物のルールを学ぶ ・危険物について学ぶ
第10週	手荷物②	・手荷物タグの取扱い方法を学ぶ ・様々な種類の手荷物タグについて学ぶ ・様々な種類の収納ケースについて学ぶ
第11週	まとめ	・前期の復習、補足
第12週	後期に向けて	・地域ごとの空港を知る ・各空港の特徴を学ぶ ・空港の3レターを覚える

2016年度 前期

到達目標
航空業界とはどんな業界かを理解する。
次に、業界にはどんな仕事があり、その仕事をどんな会社が行っているかを理解する。
その仕事が自分の将来の希望とどのように関係していくかを理解するまでが前期の目的である。
前期は業界の全体像把握に努め、後期に詳細にわたる理解を求める。また、業界の歴史は後期に説明する。

成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト80%、平常点(小テスト等)20% なお、理解を深めるため、適宜小テストを実施する。
--------	---

— 118 —

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1 年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	O/V クラス
科目名	日本語表現		担当講師	久保田 博子
到達目標 日本語を見直し、美しい日本語を理解する 基礎言語力を伸ばし、日本語表現をブラッシュアップする				
使 用 テキスト 『ステップアップ 日本語講座 ― 上級』 東京書籍				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験:80% 平常点(小テスト・授業態度など):20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の目的・意味と進め方、成績評価方法について 学生の自己紹介 「適切な日本語」とはどのようなものか考える
第2週	敬語①	敬語について／敬語の種類 尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ、丁寧語、美化語を理解する
第3週	敬語②	敬語の使い分け 練習問題
第4週	敬語③	注意すべき敬語 謝った敬語の使い方
第5週	敬語④	状況に合わせた敬語の使い分け さまざまな敬意表現
第6週	敬語⑤	敬語のまとめ 練習問題
第7週	文法①	品詞・活用の種類
第8週	文法②	主語と述語 連体修飾と連用修飾
第9週	文法③	動詞の分類／練習問題 可能表現、受け身と使役の表現
第10週	文法④	文法のまとめ 練習問題
第11週	語彙	語種／二語の関係 練習問題
第12週	フィードバック	前期試験フィードバック 前期まとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	O クラス
科目名	アクセス		担当講師	横瀬 敦子
到達目標				
国内線の空席照会からの予約や変更、座席指定などの基本操作を習得し、練習問題を多くこなすことで処理能力を高める。 また、実務に役立つ知識や専門用語を学ぶ。 アクセス検定国内3級(7月実施)の全員合格を目指す。				
使 用 テキスト				
AXESS国内予約発券業務の基礎・国内早見表 その他、検定過去問題や練習問題を使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(30%＝授業態度10%、小テスト10%、提出物10%) 期末試験(70%) アクセス検定・国内3級の可否も評価の対象とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	基礎知識	アクセス端末の各名称(キーボードの場所を含む)や入力時の注意点を学ぶ。 必要な知識(空港/都市コード/航空会社の正式名称)を学ぶ。 その他、CRS(予約端末機)についての説明を行う。
第2週	空席照会と予約	予備知識(予約受付期限/発券期限/国内年齢区分など)を学ぶ。 航空便の空席照会の入力方法と画面の見方を学ぶ。 空席照会画面から直行便と乗り継ぎ便の予約を行う。※2レター小テスト実施
第3週	旅客データの入力 I	旅客名の入力を学ぶ。(国内へボン式ローマ字入力と家族・外国人・同伴幼児含) 連絡先・申込者の入力を学ぶ。
第4週	旅客データの入力 II	旅客名・連絡先・申込者の訂正や削除を学ぶ。 ※旅客氏名入力(へボン式ローマ字) 小テスト実施
第5週	PNRの完了と中断	PNR(予約記録)の構成と作成までの流れを復習する。 PNRの完了と中断、抽出方法学ぶ(アクセス予約一連の流れを習得)。 新規予約のロールプレイを行う(空席照会～予約～旅客名の入力まで)。
第6週	その他の予約方法	キャンセル待ちの予約・便指定の予約方法を学ぶ。 オープンセグメントの意味と入力方法を学ぶ。 様々なPNRを作成し、予約コードの流れを確認する。
第7週	予約の変更と取り消し	予約便の取り消しと変更の手順を学ぶ。 座席指定へ進む(事前座席指定の入力方法と注意点を学ぶ)。 国内線機内シートマップの見方を学ぶ。
第8週	事前座席指定	シートマップから機内窓側や通路側を選択し座席指定を行う。 予約変更に伴う座席の変更について学ぶ。 その他、SSR(特別サービス)の入力と画面確認を学ぶ。
第9週	検定対策 I	アクセス検定国内3級合格に向けてのポイントを理解する。 アクセス検定過去問題に取り組む(課題有)。
第10週	検定対策 II	アクセス検定過去問題に取り組む(課題有、添削の返却)。
第11週	検定対策 III	筆記対策を行う。 アクセス検定・過去問題に取り組む。
第12週	期末テスト	前期のまとめ(予約全般)を行う。 期末テスト

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	エアライン 科	0 クラス
科目名	実習前教育I		担当講師	久保田 博子
到達目標 社会人として働くための準備をし、企業実習に役立てる。 実習に必要な書類、手続き方法を理解し、実習開始前までに基本マナーを身につける。				
使 用 テキスト プリント 就職ノート エアポートビジネス入門				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験:80% 平常点(授業態度等)20%				

	テーマ	授業内容
第1週	実習先企業紹介①	実習制度の説明 実習先企業および実習内容を紹介
第2週	実習先企業紹介②	実習先企業の希望アンケート用紙記入方 希望実習先を発表する ※4月25日:アンケート提出
第3週	実習関連書類の書き方①	企業に提出する書類(履歴書等)の書き方 ※「就職ノート」持参
第4週	実習関連書類の書き方②	学内で必要な書類(入退室届、シフトリクエスト等)の書き方
第5週	報告・連絡・相談 話し方・言葉づかい	報告・連絡・相談のしかたを学ぶ 話し方・言葉遣いのポイントをつかむ ※「エアポート ビジネス入門」持参
第6週	実習の目的・意義 心構え	企業実習の目的・意義を理解する 基本的な心構えを身につける ※「エアポート ビジネス入門」持参
第7週	コンプライアンス教育	コンプライアンスの意味を理解し、行動に移す 実習における禁止事項を理解する ※「学生便覧」持参
第8週	実習前注意事項①	業務に対する取り組み方を考える
第9週	実習前注意事項②	実習中の禁止事項・注意事項を考える
第10週	実習前注意事項③	実習中の禁止事項・注意事項を確認する
第11週	実習報告	実習中の学生による報告
第12週	フィードバック	前期試験フィードバック まとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	0クラス
科目名	実習前教育Ⅱ		担当講師	原田 歩
到達目標				
1. 各空港の特徴を理解する				
2. 各持ち場におけるグランドスタッフの役割を理解し、相応しい接客ができるようになる				
3. 様々なイレギュラーやクレームについて理解を深め、初期対応ができるようになる				
使 用 テキスト				
プリント				
時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト80% 平常点(実技含む)20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・コンプライアンスについて考える
第2週	空港施設と時刻表①	・福岡空港について学ぶ ・予測されるお客様からの質問を考える ・時刻表の見方を知る
第3週	空港施設と時刻表②	・九州の空港について学ぶ ・各空港の特色を学ぶ ・時刻表にて就航路線を学ぶ
第4週	空港施設と時刻表③	・東京国際空港・成田国際空港について学ぶ ・地方空港との違いを学ぶ ・時刻表にて基本的なルールを学ぶ
第5週	接客の基本①	・手荷物カウンターやロビーでの接客を学ぶ ・第一印象の重要性を学ぶ ・空港ロビーを想定して実践する
第6週	接客の基本②	・ゲートでの出発便・到着便に合わせた接客を学ぶ ・時間管理の重要性を学ぶ ・ゲートを想定して実践する
第7週	接客の基本③	・到着ロビーにおける様々な「BAGトラブル」を学ぶ ・「BAGトラブル」における初期対応を学ぶ ・到着ロビーを想定し実践する
第8週	接客の基本④	・ラウンジを利用されるお客様について理解する ・相応しい立ち居振舞いを学ぶ ・ラウンジを想定し実践する
第9週	イレギュラー	・欠航や遅延の理由を学ぶ ・会社都合・不可抗力について学ぶ ・イレギュラー時の基本的な対応方法を学ぶ
第10週	クレーム	・クレームについて理解を深める ・クレームに対するイメージを変える ・クレーム対応のポイントを学ぶ
第11週	アナウンス	・様々な場面におけるアナウンスを学ぶ ・状況に合わせた表情や声のトーンを学ぶ ・アナウンスのポイントを学ぶ
第12週	まとめ	・前期の復習 ・繁忙期業務の心構え

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	O・V クラス
科目名	コミュニケーション学		担当講師	森田 房子
到達目標				
日常のコミュニケーションの大切さに気付く				
上手く人と関わっていくにはどのようなことに注意したらよいかを学ぶ				
人の話を聴くことの大切さを学ぶ				
授業に積極的に参加する態度を身につける				
使 用 テキスト				
テキスト『自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法』ウィネット				
プリント教材(授業時に配布)・ビデオ				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験・・・80%	平常点(授業参加度・態度・出席)・・・20%			

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の進め方 評価方法 コミュニケーションとは何か
第2週	挨拶の基本を知る	コミュニケーションの基本としての挨拶(自己紹介)
第3週	きれいな発音・発声	言語を効果的に使用する
第4週	正しい日本語で話す	きれいな日本語を知る (自分の使用言語の点検)
第5週	話すときの心構え	状況や場面を考えて話す
第6週	効果的な話し方	話し方の基本を身につける
第7週	効果的な表現力	効果的に話す
第8週	聞くことの重要性	傾聴の態度を身につける
第9週	聞くことの重要性	傾聴の態度を身につける
第10週	職場でのコミュニケーション	職場でのコミュニケーションを身につける
第11週	インタビュー	相手を知るために
第12週	まとめ	ふりかえり

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	0クラス
科目名	空港英語		担当講師	高木 美希
到達目標				
英語での接客、アナウンスが出来るようになる。				
空港で使われる英会話や語彙を理解し、入社試験や英語の検定試験に備える。				
使 用 テキスト				
プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験80% 平常点(ミニテスト)20%				

	テーマ	授業内容	ミニテスト
第1週	オリエンテーション	講義の概要と目的 成績評価方法の説明	
第2週	チェックイン業務	飛行機が出発するまでの流れを把握する。 搭乗手続き(チェックイン)とは何かを理解する。	
第3週	チェックイン業務	国内線での搭乗手続きの手順・注意事項を理解する。 お手伝いの必要なお客様への接客を理解する。	ミニテスト①
第4週	チェックイン業務	手荷物の種類と取り扱い際の注意事項を理解する。 持込に制限のある荷物について理解する。 超過手荷物料金について理解する。	ミニテスト②
第5週	チェックイン業務	搭乗手続きのロールプレイを通して、接客に慣れる。 ロールプレイは、クラス全員実施する。	ミニテスト③
第6週	チェックイン業務	搭乗手続きのロールプレイを通して、接客に慣れる。 ロールプレイ体験の反省、振り返りをおこなう。	ミニテスト④
第7週	ゲート業務	搭乗口(ゲート)での業務について学ぶ。 英語アナウンスの種類とアナウンス実施時の注意点について学ぶ。	ミニテスト⑤
第8週	ゲート業務	英語アナウンスをマイクを使い、一人ずつ練習する。 アナウンス練習を待っている学生、終了した学生は、振り返りをおこなう。	ミニテスト⑥
第9週	ゲート業務	英語アナウンスをマイクを使い、一人ずつ練習する。 英語アナウンス練習の振り返り、反省をおこなう。	ミニテスト⑦
第10週	到着業務	国内線で、飛行機が到着した後の流れについて理解する。 到着手荷物の受け渡し、未着、破損時の対応について学ぶ。	
第11週	期末試験 解説	答案返却と解説	
第12週	まとめ	前期に学習した内容の復習	

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアライン 科	0 クラス
科目名	就職活動講座		担当講師	久保田 博子
到達目標				
・就職活動を行うにあたり1年次の基礎固めがいかに重要かを理解する ・個々人が能動的にレベルアップを図れるように意識づけをする。 ・就職にいたるまでの基本的流れを理解するとともに、就職活動の重要性を認識する。 ・自己分析し、長所の中からPRできる部分を抜き出す。 ・自己PRを文章にする力を身につける。				
使 用 テキスト				
・勝つための就職ガイドSUCCESS ・就職ノート・プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
提出物・授業態度・出席率・身だしなみにて評価				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・前期授業内容の説明(授業の進め方・成績評価方法等) ・就職活動とは ・就職とは何か、なぜ働くのか
第2週	就職活動の心構えと準備	・就職について(学生と社会人の違い) ・身だしなみについて ・業界について
第3週	就職活動の流れ①	・就職の流れについて ・将来の目標について(思考・まとめ) ・将来の目標について(発表・1分間)
第4週	就職活動の流れ②	・就職活動のルール ・就職室について
第5週	自分自身を知る①	・自己分析の仕方について ・過去・現在の自分の掘り起こし ・自分のライフスタイル
第6週	自分自身を知る②	・自分が考える自分自身の性格 ・長所と短所を理解する(短所を長所に変えて表現する) ・自分の能力や適性を把握する ・他者から見た自分自身とは
第7週	自己分析	・自己分析のまとめ ・自分自身について文章で表現する(文字数制限なし)
第8週	業界と自分	・業界が求める人材 ・業界と自分の接点 ・入社して自分が業界に貢献できること
第9週	自己PR作成	・自己分析の結果から自己PRできるものを抜き出す ・再度自分自身を文章で表現する
第10週	自己PR作成	・自己PRについて文章にする(600字＝志望業界に対応した内容) ・原稿用紙の使い方
第11週	自己PR作成	・自己PRについて文章にする(300字＝エントリーシート記入に対応) ・文章の書き方(結論・総括等)
第12週	前期の振り返りと補足	・自分自身をどの程度分析できたか再確認 ・自分の良いところ、不足するところはどこか ・前期のまとめ ・夏休みを迎えるにあたって(目標を持って過ごす)

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	1年		対象クラス	エアライン・エアポート科	OVクラス	
科目名	ユニバーサルサービス			担当講師	原田 歩	
到達目標						
1. 障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める						
2. 基本的な介護知識を身に付ける						
3. 仕事だけでなく、日常生活でも気付き、実践できるようになる						
使 用 テキスト						
『接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト』日本能率協会マネジメントセンター						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
期末テスト 70% 平常点(実技含む) 30%						

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・ユニバーサルサービスについて考える ・身近なユニバーサルデザインを知る
第2週	視覚障害者へのサービス①	・視覚障害についての基本知識を習得する ・盲導犬の一生についてDVDより学ぶ ・意見を共有する
第3週	視覚障害者へのサービス②	・視覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・全盲の体験をする ・体験から学んだことを共有する
第4週	視覚障害者へのサービス③	・視覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点を学ぶ ・空港内を想定しご案内する
第5週	聴覚障害者へのサービス①	・聴覚障害についての基本知識を習得する ・日常生活における不自由さについて共有する ・手話について学ぶ
第6週	聴覚障害者へのサービス②	・聴覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・伝える難しさ、伝わらない不自由さを体験する ・体験から学んだことを共有する
第7週	聴覚障害者へのサービス③	・聴覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点を学ぶ ・様々なコミュニケーション方法を使い、チェックインを行う
第8週	肢体障害者へのサービス①	・肢体障害や麻痺についての基本知識を習得する ・麻痺のある方への接客を学ぶ ・衣服の着脱をお手伝いする
第9週	肢体障害者へのサービス②	・車椅子の基本操作を学ぶ ・自走する ・乗る側を体験し気付きを共有する
第10週	肢体障害者へのサービス③	・車椅子を利用する方を知る ・体験をもとにご案内時に注意することを学ぶ ・空港内を想定しご案内する
第11週	実技テスト	・車椅子でのご案内をする
第12週	実技テスト まとめ	・車椅子でのご案内をする ・前期の復習・補足

前期シラバス

2016年度					前期		
対象学年	1年		対象クラス	エアライン科		01.02	クラス
科目名	ビューティ			担当講師	金礪 暁子		
到達目標							
自分の個性を生かし好印象を持たれるビジネスメイク技術の習得							
個性に合わせたトータルコーディネートの基本知識の習得							
【O1・O2クラスは隔週で前期6回のレッスンを行う】							
使 用 テキスト							
テキスト（ビューティーチャート）鏡(立てられるもの)・ タオル ・ ダッカード							
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。							
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする							

	テーマ	授業内容
第1週	基本のスキンケア法	上品なメイクを仕上げるために必須な肌作りを中心に 基本的なスキンケア方の習得 肌の仕組みを理解した上で、正しいお手入れ法の実習
第2週	基本 ベースメイク	美しく仕上がるメイクアップベースの道具・手順の デモンストレーションとファンデーション作り
第3週	基本 アイメイク/アイブロウ	前回の復習後に、アイメイクとアイブロウ目的・効果の確認 基本的な描き方のデモンストレーションと実習 個人に合った色選びとアドバイス
第4週	基本 チーク/リップ	前回の復習後に、リップ・チーク・ハイライト&シャドウの目的と効 効果の確認と基本的な描き方のデモンストレーションと実習
第5週	修正メイク	ビジネスメイクの他に、T・P・Oに合わせたメイク法の デモンストレーションと実習
第6週	ビジネスマナー	美しく見える姿勢・歩き方などの講習と実践 面接時に必要なビジネスマナー他
第7週		
第8週		
第9週		
第10週		
第11週		
第12週		

前期シラバス

2016年度					前期					
対象学年		2年		対象クラス		エアライン・エアポート科		QRWクラス		
科目名		ユニバーサルサービス			担当講師		原田 歩			
到達目標										
1. 障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める										
2. 基本的な介護知識を身に付ける										
3. 接客を始め、様々な場面で実践できるようになる										
使 用 テキスト										
『接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト』日本能率協会マネジメントセンター										
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。										
期末テスト 70% 平常点(実技含む) 30%										

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・ユニバーサルサービスについて考える ・身近なユニバーサルデザインを知る
第2週	視覚障害者へのサービス①	・視覚障害についての基本知識を習得する ・盲導犬の一生についてDVDより学ぶ ・意見を共有する
第3週	視覚障害者へのサービス②	・視覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・全盲の体験をする ・体験から学んだことを共有する
第4週	視覚障害者へのサービス③	・視覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点を学ぶ ・空港内を想定しご案内する
第5週	聴覚障害者へのサービス①	・聴覚障害についての基本知識を習得する ・日常生活における不自由さについて共有する ・手話について学ぶ
第6週	聴覚障害者へのサービス②	・聴覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・伝える難しさ、伝わらない不自由さを体験する ・体験から学んだことを共有する
第7週	聴覚障害者へのサービス③	・聴覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点を学ぶ ・様々なコミュニケーション方法を使い、チェックインを行う
第8週	肢体障害者へのサービス①	・肢体障害や麻痺についての基本知識を習得する ・麻痺のある方への接客を学ぶ ・衣服の着脱をお手伝いする
第9週	肢体障害者へのサービス②	・車椅子の基本操作を学ぶ ・自走する ・乗る側を体験し気付きを共有する
第10週	肢体障害者へのサービス③	・車椅子を利用する方を知る ・体験をもとにご案内時に注意することを学ぶ ・空港内を想定しご案内する
第11週	高齢者へのサービス	・加齢に伴う身体的特徴を学ぶ ・高齢者の方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・高齢者の方への接客を学ぶ
第12週	様々なお客様へのサービス	・様々なお客様や状況に合った接客を学ぶ ・まとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2 年	対象クラス	エアライン・エアポート	QRW クラス
科目名	観光地理		担当講師	金森 和彦
到達目標				
海外の空港情報、文化風習について学ぶ				
使 用 テキスト プリント対応				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点 20%				
・期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	ギリシャ	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第2週	スイス	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第3週	フィンランド	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第4週	スウェーデン	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第5週	デンマーク	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第6週	エジプト	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第7週	南アフリカ	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第8週	フィリピン	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第9週	シンガポール	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第10週	インドネシア	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第11週	中華民国	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ
第12週	中華人民共和国	海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2 年	対象クラス	エアライン科	Q/R クラス
科目名	エアラインビジネス		担当講師	瀧内 洋
到達目標				
1年次に航空業界研究で学んだ知識が自分のものになっているか確認する。 就活の時期なので、自分の志望と志望先の求める人物像が一致しているかどうか確認する 無事内定を獲得できた者は、早期就業に対応できる全般的な知識の習得を目指す。 なお、必要に応じ、面接の練習、小テスト等を実施する。				
使 用 テキスト なし、基本的に板書のみ。適宜プリントを配布する。				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	シラバスと授業の目的説明 小テスト(到達度確認のため)
第2週	航空業界とは？	実習を通じて航空会社を理解したはずなので、もう一度航空業界とは何かを確認する
第3週	航空会社とは？	航空会社の事業の目的は何か？ 航空会社で働くには何が必要か？
第4週	空港とは？	航空会社にとって空港とは？ 航空機が安全に飛ぶには何が必要か？ 空港民営化の動き
第5週	航空会社の経営1	FSCと新規航空会社の違い スカイマークはなぜ破綻したか？再建の状況は
第6週	航空会社の経営2	LCCが成功するには何が必要か？ エアアジアジャパンは就航できるか？
第7週	航空会社の経営3	ユニットコスト アライアンス
第8週	航空会社の組織1	FSCの組織
第9週	航空会社の組織2	運航・運送・客室・空港部門について
第10週	航空会社の組織3	業務委託 共同運航 分社型の会社
第11週	到達度評価	期末テストの評価
第12週	総まとめ	早期就業に向けた心構え

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	エアライン科	QRクラス
科目名	GS受験対策		担当講師	原田 歩
到達目標				
1. 今までの経験から得たことを最大限に活かし、内定を目指す				
2. グランドスタッフとして求められる要素を再認識し、努力する				
3. 内定後、入社まで必要なスキルを身に付ける				
使 用 テキスト				
プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
提出物、授業態度などにより評価				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について ・旅客ハンドリング担当企業の確認と各企業・各空港の特徴を復習する ・各々の受験状況を確認する
第2週	自己分析①	・過去を振り返り、経験から学んだことを共有する ・学校生活、部活動、習い事で得たことで現在に活かされていることを共有する ・面接練習
第3週	自己分析②	・長所・短所など自分の性格を再確認する ・他人からの印象を知る ・面接練習
第4週	実習の振り返り	・実習を振り返り、実習生ならではの気づきを共有する ・イレギュラーやクレームなど印象に残った事例を共有する ・面接練習
第5週	GSとして求められる人物像	・GSの業務・役割を復習する ・GSとして求められる人物像について考える ・面接練習
第6週	目指すGS像と女性像	・GSの3年後、5年後、10年後の業務・役割を復習する ・目指すGS像と女性像について考える ・面接練習
第7週	志望動機①	・志望動機を見直す ・相手に伝わっているか確認する ・面接練習
第8週	志望動機②	・志望動機を相手に伝える ・具体的に自分の言葉で伝える ・面接練習
第9週	グループディスカッション①	・グループディスカッションのポイントを復習する ・KJ法を活用し積極的に意見を出す ・各役割を経験する
第10週	グループディスカッション②	・様々なテーマでディスカッションしコツをつかむ ・時間内にまとめる練習をする ・発表時のポイントを学ぶ
第11週	面接	・自分の改善点を知る ・自分の強みを知る ・練習する
第12週	まとめ	・20代のテーマを発表する ・仲間にメッセージを送る ・まとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	エアライン科	QR選択クラス
科目名	CA受験対策		担当講師	森田房子
到達目標 客室乗務員を受験するために必要な能力を身につける				
使 用 テキスト 必要に応じてプリントを配布 受験して来た学生の感想を聞く				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点により評価				

	テーマ	授業内容
第1週	受験ガイダンス	CA受験の流れ 個別アドバイス
第2週	グループ面接	JAL・ANAグループ、その他エアラインの一次面接を想定したグループ面接 化粧、身だしなみチェック
第3週	同上	同上
第4週	グループディスカッション	グループディスカッションの注意点 化粧、身だしなみチェック
第5週	卒業生講話	卒業生CAの話
第6週	グループ面接	二次面接を想定したグループ面接 身だしなみ表情態度チェック
第7週	同上	同上
第8週	個人面接	簡単な英会話面接
第9週	最終面接	三次面接を想定した面接 最終身だしなみチェック
第10週	同上	同上
第11週	最終チェック	個別アドバイス
第12週	まとめ	前期まとめ

前期シラバス

2016年度		前期			
対象学年	2	年	対象クラス	エアライン科	QR①②③ クラス
科目名	航空業界筆記試験対策			担当講師	北村 正雄
到達目標					
航空各社の採用試験過去問を解くことで学生は本試験の筆記試験に合格できる学力を修得できます。ANA福岡空港株式会社・JALSKY九州・JALSKY東京・旧JEX・JTA・ORC・南国交通・SFJ・SolaseedAir・ANAウングスなど航空各社の実際の採用試験過去問題に沿った内容なので無駄なく航空各社の傾向とレベルを知ることができます。週1回の講義で社会・一般常識 英語 時事問題 SPI非言語分野(数学) SPI言語分野(国語 英語)の全てを講義します。最近の航空業界は必ずしもSPI(株リクルート社)を採用してはいません。SPIだけでは最近の航空各社の試験に対応できません。					
使用テキスト					
なし(JAL系ANA系他航空会社過去の採用試験問題をベースにしていきます)					
成績評価方法					
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					
期末試験＋平常点					

	テーマ	授業内容
第1週	SPI非言語(数学・)	ANA福岡空港株式会社 JGS APS AGS JALSKY九州 ORC グラテック 南国交通 SFJ SolaseedAir ANAウングスの採用試験の傾向問題 鶴亀算の歴史(約1400年まえの奈良時代に中国から伝わった)鶴亀算の考え方と連立方程式 つるかめ算が使える条件 n進法(数) 10進数からn進数(又は逆)
第2週	WEB・SPI(非言語数学)	推論(立方体・サイコロの回転図・展開図 この問題は立方体の面の公式を使用することで短時間に正解に到達 前後・左右に回転した時Aの面の位置) 推論(論理命題 一定の条件が与えられて結論を導く) 計算(分数、小数点の付いた加減乗除 虫食い算・数字の一部が空白・資料の解釈・桁数の大きい数字
第3週	WEB・SPI(数学・非言語)	損益算(原価・定価・売価・利益率・利益を求める公式) 定価=原価×(1+利益率) 売価=定価×(1-割引率) 利益=定価-売価-原価 追い掛け算・旅人算(列車がある鉄橋に差し掛かってから完全に通過するまでの時間(何秒? 何分?) 同時方向～円形の公園を出発した場合に出会う時間と出会う地点問題他
第4週	SPI非言語(数学)	年齢算の公式 父と子の年齢が?X倍になるのはY年後 ?X倍だったのはY年前 確率probability(少なくとも＝余事象の問題が勝負)必ず1-マイナスから始まる $0 < P < 1$ 確率は航空各社の採用試験で頻出問題 確率は分数で表示
第5週	SCOA玉手箱GAB	加減乗除の四則計算 短時間に多くの問題を正確に解くことにより事務処理能力の適性をみる問題 集合ドモルガンの法則 集合はベン図を正確に書き(カブリ)を理解する 順列(permutation)・組合せ(combination) 順列nの公式 組合せcの公式
第6週	SPI非言語(数学)	推論(推論は現場思考の問題でSPI・SCOA・GABに頻出問題 順位・カード問題・平均算など論理的能力を評価) 食塩水の濃度を求める公式と過去問題(食塩量食塩水の重さ、濃度の異なる食塩水を混ぜたときに出来る食塩水の濃度など)
第7週	WEB・SPI(数学・非言語)	表を使った電車・バスの速度算 速度算追いかかけ算の応用問題 表の意味を理解 距離=時速・分速・秒速×時間 時間=距離÷時速・分速・秒速 流水算(静水時の船の速さ)=上りの船の速さ+下りの船の速さ÷2 (流水の速さ)=下りの船の速さ-上りの船の速さ÷2 速さ=距離÷時間
第8週	SPI言語(英語・国語)	ANA福岡空港(株)の採用試験の出題傾向に沿った問題と過去出題問題 国語は分類・照合(この問題は公務員試験の適性試験問題と同じ)①航空運輸関係英語 欠航 遅延 到着 出発 国語・英語も文章並び替え、文意と異なっているものを選ぶ
第9週	SPI言語(英語・国語)	JGS APS AGS JALSKY九州 ORC グラテック 南国交通 SFJ SolaseedAir ANAウングスの採用試験の出題傾向に沿った問題と過去出題問題 ②旅行観光出入国関係英語(出入国 検疫 PNR 往復旅行 搭乗率 貨物 保証金 片道旅行 料金 工事中 立ち入り禁止 など
第10週	社会・世界史・世界地理	国内航空運送約款の意味 世界各地の特色・空港コード・都市コード 世界四大文明 ルネサンスの三大発明 第一次世界大戦とヨーロッパ 韓国・中国を中心としたアジアの世界遺産、名所・旧跡 世界各国の首都 世界の政治家 国際問題
第11週	社会・理科・政治経済・	三権分立の意味 国会、内閣、裁判所の仕事 憲法改正 選挙制度の種類(小選挙区制・大選挙区制・比例代表制) 選挙権と選挙年齢の移り変わり 18歳が世界の主流(韓国、中国、アメリカ他多数、日本は少数 成年年齢の引き下げ 憲法改正 社会保障と税(直接税・間接税 消費税) 環境問題 気象・電気・光の単
第12週	社会総合 数学総合	国際2都市間の時差の計算方法 GTMと子午線 搭乗時間の計算法(ストップオーバー、トランジットを含めない場合がほとんど) 数列 数字が一定の法則で並んでいる場合、途中抜けた数字を考える(航空各社の採用試験問題)他

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	エアライン科	QR①②③クラス
科目名	就職活動講座		担当講師	山田 邦幸
到達目標				
* 主たる企業の求人スケジュールに沿った授業運営を行い、各自が最も効果的な就職活動ができるレベルアップを図ることで内定を勝ち				
* 内定学生は就業までに自己研鑽を行い、社会人として自覚をもつよう指導。(課題提示)				
使 用 テキスト				
* 勝つための就職ガイドSUCCESS				
* 就職ノート・プリント(その都度配布・毎回過去の分も含めてファイルに綴じて持参すること。)				
成績評価方法				
* 単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
* 提出物・授業態度・出席率・身だしなみにより評価。				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	* 授業の進め方・評価方法について * 就職活動について①(求人環境・企業リスト・企業研究等)
第2週	受験準備	* 最終模擬面接に向けての用意 * 就職活動について②(学校の規則・手続き等)
第3週	受験対策	* 最終模擬面接の振り返り * 就職活動について③(資料請求・情報収集・航空業界の現状・求人状況・受験直前対策等)
第4週	受験対策	* 就職活動について④(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策等)
第5週	受験対策	* 就職活動について⑤(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策等) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第6週	受験対策	* 就職活動について⑥(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策等＝内定率30%以上目標) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第7週	受験対策	* 就職活動について⑦(志望企業のリストアップと受験対策・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策等) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第8週	受験対策	* 就職活動について⑧(志望企業のリストアップと受験対策・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策等) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第9週	受験対策	* 就職活動について⑨(未内定者＝これまでの就職活動を振り返る・不足部分の抽出・受験直前対策) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第10週	受験対策	* 就職活動について⑩(未内定者＝これまでの就職活動を振り返る・不足部分の抽出・受験直前対策＝内定率60%以上目標) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第11週	受験対策	* 就職活動について⑪(未内定者＝今後の求人状況説明・受験直前対策＝内定率70%以上目標) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第12週	まとめ	* 前期のまとめ * 未内定者指導(受験直前対策等) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	フライト オペレーション		担当講師	樽見 俊六
到達目標				
航空機の到着から出発までの運航の流れを理解・習得し航空会社の使命である安全運航・定時運航に寄与することを目標としフライト オペレーション（運航管理）の業務概要及びその目的・役割を学ぶ。				
使 用 テキスト				
プリント教材（必要に応じ授業時に配布）				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75％以上を条件とする。				
期末試験80％＋平常点20％				

	テーマ	授業内容
第1週	コース紹介	前期カリキュラムの確認・成績評価方法。 航空法で定める飛行場と空港の違い。航空法で定める航空機とは 航空機の国籍と機体番号。
第2週	飛行場施設	航空機の離発着を誘導するいろいろな援助施設の役割り。 (滑走路付帯施設・電波施設。) スポット・ランプとは
第3週	飛行法式	飛行方法は航空法で定められている。(飛行方法と飛行条件とは) 有視界・計器飛行方式とその条件。ILS(計器着陸システム)と最低気象条件・ 決心高度・着陸復行・滑走路視程とは
第4週	航行援助施設	いろいろな対空・対地無線航行援助施設の種類の。 (VOR・DME・NDB・ADF・TACANとその役割)
第5週	航空交通管制業務	航空路を管理・監視する管制業務の概要。 航空交通管制の目的・航空路管制と飛行場管制(出発・進入・地上管制)
第6週	”	航空路はどのように区画割りされ管理されているのか。 管制空域・制限空域・飛行情報区・防空識別圏とは
第7週	”	緊急事態発生時にはどのように対応し国際協力がなされているのか。 段階的に行なわれる捜索・救難活動。
第8週	運航管理	運航管理者と運航乗務員の飛行計画に関する共同責任について。 運航管理者(Flight Dispatcher)の業務と飛行計画書。
第9週	”	航空局に提出される飛行計画書とは。 ATS Flight PlanとCompany Flight Plan の目的と記載内容。 飛行高度と飛行速度について
第10週	オペレーション用語	実務で頻繁に使用される業務用語(英語)の意味。 運航管理用語と管制用語。
第11週	”	”
第12週	後期総復習	前期授業の総復習。 Q and A。

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	グランドハンドリング(運送サービス)		担当講師	佐竹 恵一
到達目標				
機側作業以外のグランドハンドリング業務の知識を習得し、航空業界の視野を広げ理解することを目的とする。 旅客・手荷物・客室ハンドリング、業務の基礎知識を身につける。 グランドハンドリング業務全般に精通した、マルチな人材になることを目的とする。				
使 用 テキスト				
プリント配布およびPower Point				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験・・・80% / 平常点(出席・聴講態度・小テストの総合評価)・・・20%				

	テーマ	授業内容
第1週	ガイダンス	授業内容紹介およびイントロダクション(グランドハンドリングとは)
第2週	グランドハンドリング (運送系)	空港におけるグランドハンドリング(運送系)概要 運送系業務の種類と特性
第3週	安全と品質	航空業界における安全と品質 ヒューマンエラーを防止するための指差呼称 危険予知訓練による事故・IRRの未然防止 グループワーク
第4週	安全と品質	航空業界における安全と品質 ヒューマンエラーを防止するための指差呼称 危険予知訓練による事故・IRRの未然防止 グループワーク
第5週	航空専門用語1 (運送系)	業務を円滑に行うための専門用語・略語
第6週	航空専門用語2 (運送系)	業務を円滑に行うための専門用語・略語 小テスト
第7週	旅客ハンドリング (出発業務)	旅客運送のプロセス 旅客ハンドリングにおける品質 搭乗手続きから搭乗案内までの旅客ハンドリング 保安検査および出国審査
第8週	旅客ハンドリング (出発業務)	旅客運送のプロセス 旅客ハンドリングにおける品質 搭乗手続きから搭乗案内までの旅客ハンドリング 保安検査および出国審査
第9週	旅客ハンドリング (出発業務)	旅客運送のプロセス 旅客ハンドリングにおける品質 搭乗手続きから搭乗案内までの旅客ハンドリング 保安検査および出国審査
第10週	前期まとめ(総括)	前期復習(重点)および試験対策(傾向と対策) 前期内容における質疑応答
第11週	前期試験の振り返り	前期試験の回答およびリマインド
第12週	後期予習	後期授業内容の説明 後期授業までの事前課題と準備

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	グランドハンドリング搭載Ⅰ		担当講師	吉原 正彦
到達目標 航空機も高速化・大型化そしてハイテク化に伴う航空輸送時代に対応するため、空港には多くの地上スタッフが活躍している。今後も発展し続ける航空業界のためにも、グランドハンドリング業務の重要性がますます認識される。このグランドハンドリング業務(空港地上サービス業務全般)に関わる概要を理解することを目的とする。				
使用テキスト 航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会) パワーポイント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 20% 期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	グランドハンドリングの概要	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)授業内容を具体的に説明する グランドハンドリングの歴史と意義について学ぶ グランドハンドリング作業の概念についてFLT例を用い具体的に説明する
第2週	ランプ・イン/アウト	誘導作業、仕事の内容、要領、訓練あるいは資格など概略を説明する マーシャリングの概要、マーシャラの心得について学ぶ 安全知識を習得させ、地上誘導信号(合図)の種類とほうほうについて学ぶ
第3週	トーイング	航空機トーイング操作、通常トーイング・ハンガー・イン/アウトについて説明する コンパス・スイング・トーイング、アンダ・ベリー・トーイング方法について説明する トーイング資格取得要件、プッシュ・バック要領について学ぶ
第4週	ブレーキマン	ブレーキマン業務、作業手順について学ぶ 作業上の注意(緊急時に即応できる態勢)について学ぶ ブレーキマン業務、資格取得方法について説明する
第5週	ウォッチ作業(監視作業)	ウォッチマン(監視員)の心得(適切な合図・危険への認識・責任)について学ぶ ウォッチ作業(監視作業)、航空機の地上移動の安全確保について学ぶ ウォッチマンの位置(到着時、出発時、トーイング時)について学ぶ
第6週	搭載・取り卸し関連業務	搭載計画(ロード・プラン)作成業務の概要について説明する ウエイト・アンド・バランス業務(航空機の重量・機体の重心位置)について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引き渡し、運搬作業に就いて学ぶ
第7週	搭載・取り卸し作業	作業の基本的な考え方(迅速・確実・丁寧・顧客の信頼・高品質)について学ぶ 作業態度・搭載物件の取扱い・車両機材使用上の注意について学ぶ 航空機における作業上(カーゴ・ドア取扱い、貨物室内)の注意について学ぶ
第8週	出発作業・搬出作業一般	機種、機番、スポット、出発時刻の確認について学ぶ 貨物搬出台数・郵便物搬出数、物量などの情報について学ぶ 手荷物搬出数、物量等の情報・貨物、郵便物の搬出時連結台数について学ぶ
第9週	航空機へULD搭載	航空機に機材装着、ULDの搭載およびULDの種類とタイプについて学ぶ パレットの搭載(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ コンテナの搭載(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ
第10週	バルク搭載手順	バルク貨物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ バルク郵便物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ バルク手荷物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ
第11週	航空機地上支援機材	航空機地上支援機材の概要およびランプ・イン/アウト作業用GSEについて学ぶ 搭載/取り卸し作業GSE(ステップ車・PBB・カーゴローダ)について学ぶ 搭載/取り卸し業務用GSE(ドーリ/カート牽引車・コンテナドーリ)について学ぶ
第12週	搭載監督者業務	搭載監督者業務の一般および搭載監督者1級と2級の違いについて説明する 出発便の搭載監督者業務(情報の収集・搭載作業指示および確認)について学ぶ 到着便の搭載監督者業務(情報の収集・取り卸し指示/確認)について学ぶ

前期シラバス

2016年度					前期					
対象学年		1年		対象クラス		エアポート科		Vクラス		
科目名		グランドハンドリング搭載Ⅱ			担当講師		吉原 正彦			
到達目標										
航空業界の関連業務に興味を持たせ、航空業界に就職後も活用できる基礎的知識の習得を目的とする。 また就職分野の範囲を空港内に限らず、航空に携わる幅広い分野も理解することを目的とする。										
使用テキスト										
プリント(教本 グランドハンドリング搭載Ⅱ)										
パワーポイント										
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。										
平常点		20%								
期末試験		80%								

	テーマ	授業内容
第1週	航空機のパイオニア	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)授業内容を具体的に説明する グランドハンドリングスタッフに求められる人材像について学ぶ 航空業界の歩み、歴史と航空産業について学ぶ
第2週	飛行の原理と重心・重量管理	飛行の原理(揚力と推力)について説明し理解する 重心・重量管理とウエイト・アンド・バランスについて説明し理解する 飛行機に働く基本的な4つの力、飛行の原理について学ぶ
第3週	航空機の離陸から着陸まで	航空機の離陸から着陸まで(標準作業工程)一連の動きについて学ぶ 離陸速度・離陸推力・離陸出力について説明し理解する 必要離陸滑走路長・横風離陸・関連用語について説明し理解する
第4週	主要航空機製造メーカー	主要航空機製造メーカーの種類・機種について学ぶ 航空機取扱い上の基本、各部の名称について説明し理解する 航空機の値段(HOW MUCH?)・飛行機は船(SHIP)について学ぶ
第5週	航空機の運航	航空機の性能・速度・機体の大きさ・航続距離について説明し理解する 運航関連用語・航空機運航・航空情報について学ぶ 業界用語(運航・整備・航空機・空港施設・取扱い・人員)について学ぶ
第6週	“空の安全” 航空機整備作業	整備の種類(ライン整備・ドック整備 C整備 M整備 重整備)について学ぶ 整備の実施体制について説明し理解する 整備の技法・検査について説明し理解する
第7週	航空業界の仕事	航空機に携わる仕事<パイロット(運航乗務員)・客室乗務員>について学ぶ グランドハンドリング(地上業務)グランドスタッフ(旅客業務)の業務について学ぶ 整備と運航管理について学ぶ
第8週	航空業界の仕事	空港運営会社について説明し理解する 航空管制官について説明し理解する 出入国審査・税関・検疫について説明し理解する
第9週	空港の種類・滑走路	日本の空港の種類について学ぶ 空港一覧・IATAによる地域区分図(TC1 TC2 TC3とは)について学ぶ 滑走路の長さや向きはどのように決められるか説明し理解する
第10週	日本の主要空港	空港に関するについて学ぶ 日本の空港の概要について学ぶ (成田国際空港・東京国際空港・関西国際空港・中部国際空港・福岡空港)
第11週	航空保安 航空保安体制の現状	保安対策基準の脅威レベル、航空機、関連施設に対する不法行為について学ぶ 航空関連に関する社会情勢(テロやコンプライアンス違反)について学ぶ 過去のハイジャック事象について学ぶ
第12週	セキュリティ最前線	航空機事故が集中する「魔の11分」について学ぶ 空港のセキュリティ対策について学ぶ 航空機に影響を及ぼす電子機器について学ぶ

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1 年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	航空業界研究		担当講師	吉原 正彦
到達目標 航空業界の歴史について理解し、現状に至る流れを把握する 航空業界の幅広い知識を習得し円滑で効率的なハンドリングを実務で果たすことを目標とする				
使用テキスト エアポートビジネス入門 パワーポイント 必要に応じプリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 20% 期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容(授業の進め方・成績評価方法等)について説明する 航空業界に対するイメージの意見交換を行う
第2週	航空業界とは	空港とは(空港の種類とその機能)について学ぶ 航空会社の仕事とそれを取り巻く仕事について学ぶ 空港運営会社(旅客ターミナル 貨物ターミナル 運営会社)について学ぶ 航空業に関連する官公庁(航空局、CIQ)について学ぶ
第3週	航空業界とは	航空会社と関連会社(エアライン系と独立系会社)について学ぶ 国内航空会社と外資
第4週	航空の歴史	戦後の航空史 9.11とICAOセキュリティレベルについて説明し理解する シカゴ条約 パミュダ協定について説明し理解する 航空行政(45.47体制 航空自由化 オープンスカイ協定)について学ぶ
第5週	航空の歴史	空の自由化、ゲートウェイ構想について説明し理解する 日米オープンスカイについて学ぶ 小テスト
第6週	航空機とは	航空機の歴史について学ぶ 現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ
第7週	航空業界の仕事	JALグループの航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明する ANAグループの航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明する
第8週	航空業界の仕事	日本における中堅航空会社とハンドリング会社について学ぶ 日本の格安航空会社と日本に就航している格安航空会社について学ぶ 小テスト
第9週	航空業界の仕事	LCCとレガシーキャリア(経営方針やサービス方針の違い)について学ぶ 大手航空会社とLCCのメリットとデメリットについて学ぶ
第10週	航空業界の仕事	グランドハンドリング会社の業務と内容(ケータリング・FUELING含む)について学ぶ 進路ガイダンス(職種と適正)について理解する
第11週	航空業界の仕事	航空業界の今後の動向について学ぶ 小テスト
第12週	まとめ	前期を振り返って復習する

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年		1年	対象クラス		エアポート科	Vクラス
科目名		アクセス		担当講師		横瀬 敦子
到達目標						
国内線の空席照会からの予約や変更、座席指定などの基本操作を習得し、練習問題を多くこなすことで処理能力を高める。 また、実務に役立つ知識や専門用語を学ぶ。						
使 用 テキスト						
AXESS国内予約発券業務の基礎・国内早見表 その他、練習問題						
成績評価方法						
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(30%＝授業態度10%、小テスト10%、提出物10%を含む) 期末試験(70%)						

	テーマ	授業内容
第1週	基礎知識	アクセス端末の各名称(キーボードの場所を含む)や入力時の注意点を学ぶ。 旅行業界で使用されるCRS予約端末機についての説明を行う。 必要な知識(空港/都市コード/航空会社の正式名称)を学ぶ。
第2週	空席照会	予備知識(予約受付期限/発券期限/国内年齢区分など)を学ぶ。 空席照会の入力方法と画面の見方を学ぶ。 ※航空会社コード(2レター)と月コードの小テスト実施
第3週	空席照会からの予約	空席照会の応用操作(復路便や接続便表示方法など)も学ぶ。 空席照会から直行便と乗り継ぎ便の予約を行う。
第4週	旅客データの入力 I	旅客名の入力を学ぶ。(国内ヘボン式ローマ字入力と家族・外国人・同伴幼児含) 連絡先・申込者の入力を学ぶ。
第5週	旅客データの入力 II	旅客名・連絡先・申込者の訂正や削除を学ぶ。 ※旅客氏名入力(ヘボン式ローマ字) 小テスト
第6週	PNRの完了と中断	PNR(予約記録)の構成と必要な4要素を学ぶ。 PNR作成までの流れを学び、基本的な入力を行う(アクセス基本操作取得)。 PNRの完了と中断、抽出方法を学ぶ。
第7週	その他の予約方法	キャンセル待ちの予約・便指定の予約方法を学ぶ。 様々なPNRを作成し、予約コードの流れを確認する。 新規予約のロールプレイ(空席照会～予約～旅客名の入力まで)を行う。
第8週	予約の変更と取り消し	予約便の取り消しと変更の手順を学ぶ。
第9週	事前座席指定 I	事前座席指定の入力方法と、その注意点を学ぶ。 国内線機内シートマップの見方を学ぶ。 シートマップより機内窓側や通路側を選択し座席指定を行う。
第10週	事前座席指定 II	予約変更～事前座席指定までの復習(質疑応答形式)。 予約変更に伴う座席の変更について説明を行う。
第11週	ロールプレイ	事前座席指定以外の特別サービスについて学ぶ(SSR入力)。 予約変更時のロールプレイ(予約便変更～座席指定まで)を行う。 アクセスの予約基本～応用まで習得。
第12週	期末テスト	前期のまとめ(空席照会～事前座席指定までの流れを理解できているか PNRを作成しながら確認する) 期末テスト

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	危険物取扱者試験対策		担当講師	金森 和彦
到達目標 国家資格危険物取扱者(丙)の資格取得を目指す。 航空機に給油する燃料の引火点、発火点について理解する。 危険物の航空輸送に関しての航空法を学ぶ。				
使用テキスト これだけ！乙種4級 危険物試験合格大作戦 パワーポイント 必要に応じプリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 20% 期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	国家資格内容 空港事故と危険物	国家資格取得レベルや試験までのスケジュールについて説明する 過去の国内空港の事故と危険物の関連について説明する 危険物の種類について説明する
第2週	危険物に関する法令	危険物の定義・分類(6つの性質)について学ぶ 指定数量(危険物の規制に関する政令別表第3)について学ぶ 製造所等の区分、申請・認可・許可等の手続きについて学ぶ
第3週	危険物に関する法令	危険物取扱者の責任内容について理解させる 危険物保安監督者の責任内容について理解させる 危険物保安統括管理者の責任内容について理解させる
第4週	過去問題	前年度の出題傾向を紹介し理解させる 過去の問題を活用し出題パターンを理解させる 配点の合格ライン到達のコツについて説明する
第5週	危険物に関する法令	危険物施設保安員の意義・業務内容について理解させる 予防規定に定めるべき事項、製造所の位置・構造・設備の基準について学ぶ
第6週	危険物に関する法令	製造所の位置・構造・設備の基準、貯蔵・取り扱いの基準について学ぶ 製造所等において危険物を貯蔵する場合の法令に定められた技術上の基準について学ぶ 各類型ごとの危険性について共通基準を学ぶ
第7週	危険物に関する法令	＜運搬・移送の基準＞ 危険物の運搬と移送の違いについて学ぶ タンクローリー(移送タンク貯蔵所)との取り扱いの違いについて理解する。
第8週	燃焼及び消化	燃焼の定義、消化の原理について理解する 燃焼の仕方、危険物の物性、自然発火、水分との接触による発火、混合による危険について学ぶ 消化法、消化設備について学ぶ
第9週	危険物の性質及び 消化方法	危険物一覧、危険物の類ごとに共通する性質について学ぶ 第1. 2. 3類の危険物について理解する 第4. 5. 6類の危険物について理解する
第10週	模擬問題	危険物に関する法令の問題について小テストを行い理解させる 基礎的な物理学・基礎的な化学について小テストを行い理解させる 危険物の性質・火災予防・消化方法について小テストを行い理解させる
第11週	危険物の航空輸送	荷送人の責任、出荷時の注意事項、危険物の種類について学ぶ 危険物のダメージ等の事故の際、作業者の取るべき緊急時の3原則について学ぶ 取り扱い及び搭載方法、放射性物質、隔離基準について学ぶ
第12週	まとめ	危険物の定義「IATA DGR」、危険物輸送について理解する 期末試験の内容について解説する 後期全体を振り返って復習する

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	航空英語		担当講師	高木 美希
到達目標				
航空業界(特にグランドハンドリング)の仕事内容について理解する。				
航空業界で使われる英語を学び、入社試験や英語の検定試験に備える。				
使 用 テキスト				
プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験80% 平常点20%				

	テーマ	授業内容
第1週	講義紹介	講義の概要と目的 成績評価方法の説明
第2週	航空業界	航空業界にはどのような職種があるのか理解する。 飛行機が出発するまでの流れを把握する。
第3週	搭乗手続き	国内線での搭乗手続きの手順・注意事項を理解する。 お手伝いの必要なお客様への接客を理解する。
第4週	搭乗手続き	搭乗手続き(チェックイン)の手順について学ぶ。 搭乗手続きを体験(ロールプレイ)する。
第5週	手荷物	手荷物の種類と、取り扱う際の注意事項を理解する。 手荷物を預かる際の手順について学ぶ。
第6週	手荷物	受託・持込に制限のある手荷物について理解する。 超過手荷物料金について理解する。
第7週	搭乗口	搭乗口(ゲート)での業務について学ぶ。 英語アナウンスの練習と発表をする。
第8週	CIQ	国内線と国際線の違いを理解する。 税関・出入国管理・検疫の仕事内容を理解する。
第9週	機内サービス	機内食等、機内でのサービスについて理解する。 各航空会社のサービスの特徴を学ぶ。
第10週	イレギュラー	遅延・欠航等、イレギュラー運航の種類を理解する。 イレギュラー運航時の対応について学ぶ。
第11週	期末試験 解説	答案返却と解説
第12週	まとめ	前期に学習した内容の復習

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	就職活動講座	担当講師	吉原 正彦	
到達目標 就職に至るまでの基本的流れを理解するとともに、就職活動の重要性を認識する。 自分を分析し、長所や短所を理解し能力や適性を把握する。 自己PRポイントを文章にする力を身につける。				
使用テキスト 「SUCCESS 勝つための就職ガイド」 「就職ノート」 必要に応じプリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度等を基に評価する。				

	テーマ	
第1週	オリエンテーション	・前期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する ・就職ノートの活用について説明し、就職活動年間スケジュールについて確認する ・「就職」「就職活動」について理解を深めさせ、就職指導要領について説明する
第2週	就職活動の心構え	・就職室・閲覧室の活用方法について説明し理解する ・就職活動の心構えについて発表させ学ぶ ・学生と社会人の違いについて認識する
第3週	就職活動の心構え	・就職活動の基本的な流れについて説明し理解する ・仕事の持つ意味と企業が求める人材について学ぶ ・将来の目標(思考・まとめ・発表)について理解する
第4週	エントリーシートの書き方	・エントリーシート記入のポイントについて学ぶ ・企業のホームページ、就職情報サイトからのエントリーについて学ぶ ・履歴書とエントリーシートの違いについて理解する
第5週	履歴書の書き方	・履歴書について説明し理解を深める ・履歴書の正しい書き方について学ぶ ・履歴書における自己PR記載のための準備について理解する
第6週	自己分析	・自分を振り返り自分について分析する ・自分の長所と短所を理解する(短所を長所に変えて表現する) ・自分の能力や適性を把握する
第7週	自己分析	・自分史を見直す(自己分析記入補足と自分史進化編記入) ・自分自身について文章で表現する(文字数制限なし) ・自己分析をもとに発表し、現在の自分を見直す。
第8週	業界と自分	・航空業界(企業グループ)を理解する ・企業が求める人材とは何かについて学ぶ ・業界と自分の接点について理解する
第9週	志望動機の作成	・志望動機とは何か、意味を理解する ・志望動機の考え方について学ぶ ・志望動機の書き方について学ぶ
第10週	自己PR作成	・自己分析の結果から自己PR出来るものを抜き出す ・原稿用紙の使い方について学ぶ ・自己PRについて文章にする(600字・志望業界に対応した内容)
第11週	自己PR作成	・文章の書き方(結論・他人の言葉での表現等)について学ぶ ・自己PRについて文章にする(300字・エントリーシート記入に対応した内容) ・自己PRでなにが判断されるか学ぶ
第12週	前期の振り返りと補足	・自分自身をどの程度分析できたか確認する ・自分の良いところ、不足するところは何かを理解する ・前期まとめ ・夏休みを迎えるにあたって(目標を持って過ごす)

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	グランドハンドリング搭載Ⅲ	担当講師	吉原 正彦	
到達目標 空港におけるグランドハンドリングの役割と業務内容を深く理解させ、航空業界に就職した際の必要な知識の習得を目的とする。				
使用テキスト 航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会) パワーポイント 必要に応じプリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 20% 期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	グランドハンドリング 関連業務	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)前期授業内容を具体的に説明する グランドハンドリング関連業務について学ぶ JAL・ANA系グランドハンドリング企業の紹介と業務内容について学ぶ
第2週	安全管理	安全管理一般・航空機優先について学ぶ 機体付近の安全(グランドハンドラーの危険地帯)について学ぶ 高所作業の安全・事故事例・消火器・防具について学ぶ
第3週	品質管理 品質管理一般	品質管理とはについて学ぶ 航空輸送の品質について学ぶ サービスの品質・物的サービスと人的サービス・社内サービスについて学ぶ
第4週	品質管理 作業の安全と品質	品質管理の効用とコストについて学ぶ 不具合対策の先取り(ヒューマン・エラーの防止対策)について学ぶ 品質管理の実施について説明し理解する
第5週	グランドハンドリング 関連情報	ULDの種類とタイプおよびIATA IDコードについて更に学ぶ グランドハンドリング・サービス・ポイントの寸法および位置について学ぶ 運航スケジュールの見方、日本の航空会社運航機材について学ぶ
第6週	グランドハンドリング 関連情報	空港のスリーレター・コードを再確認し理解する 空港規則(制限区域内の車両安全)・福岡空港危険箇所を説明し理解する 空港内ランプ、誘導路などの表示、標識・車両の走行について説明し理解する
第7週	搭載監督者業務 空港・航空会社コード	出発便の搭載監督者業務・到着便の搭載監督者業務について学ぶ 搭載監督者の資格と責任について学ぶ IATA・ICAO空港コード(地理的空港の位置)について学ぶ
第8週	所有器材一覧 GROUND SUPPORT EQUIPMENT	自走車両の名称、主用途、特徴について学ぶ 非自走車両の名称、主要途、特徴について学ぶ 各社所有器材の名称、主用途、特徴について学ぶ
第9週	安全と危険 航空保安体制の現状	航空機の安全と危険、作業者の安全確保(3つの防止体制)について学ぶ 航空における保安対策について学ぶ 事故・災害防止のために必要な心構え・基本的作業の考え方について学ぶ
第10週	空港内の特殊法令 空港管理規則	安全教本パワーポイントから説明し理解する 福岡空港制限区域内における人の立入り、車両の使用方法について学ぶ 交通規則を定め、同区域内の円滑な運用について説明し理解する
第11週	危険物輸送	危険物の航空輸送に関する法規について学ぶ 航空危険物について具体的に説明し理解する 輸送禁止品目について学ぶ
第12週	危険物輸送	搭載(運航者の責任)における問題点について学ぶ 情報伝達(運航者の責任)方法について学ぶ 荷送人の責任・緊急時の処置について学ぶ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	グランドハンドリング搭載Ⅳ		担当講師	吉原 正彦
到達目標 航空業界関連業務に興味を持たせ、より一層の知識の向上を目的とする。 グランドハンドリングの役割と業務を更に深く理解する				
使用テキスト プリント パワーポイント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 20% 期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	世界の航空輸送の発展	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)前期授業内容を具体的に説明する 世界の航空輸送の歴史について学ぶ 世界の航空輸送と政策について学ぶ
第2週	国際旅客輸送の現状	国際旅客輸送実績について学ぶ 世界の航空会社とアライアンスについて学ぶ 2014年度世界・日本(旅客・貨物)ランキングについて学ぶ
第3週	旅客機の飛行計画	飛行経路について具体的に説明し理解する 重心と重心位置、燃料搭載量について学ぶ 飛行機に働く基本的な4つの力についてより深く学ぶ
第4週	運航の安全	ウインドシアーについて具体的に説明し理解する 冬季運航(氷結)について学ぶ 鳥の衝突(バード ストライク)について説明し理解する
第5週	航空機入門	航空機取り扱い上の基本について更に学ぶ 航空機各部の名称について具体的に説明し理解する 航空機、専門用語について学ぶ
第6週	航空機整備	航空会社の整備の特徴について説明し理解する 航空会社の整備体制について説明し理解させる 整備士の業務内容について学ぶ
第7週	空港関連	空港の役割・空港の整備について学ぶ 空港の経営主体・空港の分類について学ぶ 空港で働く人々・空港の問題点について学ぶ
第8週	地上支援業務	地上支援業務とGSEについて学ぶ 地上支援業務について具体的に説明し理解する 業務の重点項目について説明し理解する
第9週	グランドスタッフ業務	出発業務について学ぶ 到着業務について学ぶ 教育とフォロー体制について説明し理解する
第10週	定時性・安全性向上への取り組み	定時性の向上への取り組みについて学ぶ 安全性の向上への取り組みについて学ぶ 環境対策の背景、目的について説明し理解する
第11週	航空貨物の現状	航空貨物の現状について学ぶ 航空貨物需要の拡大について説明し理解する 航空会社別輸送量について学ぶ
第12週	まとめ	グランドハンドリング業務の役割について学ぶ グランドハンドリング業務のまとめ

前期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	エアカーゴ概論		担当講師	松下 良朗
到達目標				
航空貨物輸送の基礎知識を得るとともに航空貨物概要について考え方と実務を理解する。				
使 用 テキスト				
プリント配布				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
※期末試験 80% 平常点 20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	コース概要説明・授業の進め方
第2週	国際航空貨物の動向	国際航空貨物統計に見る、市場動向と経済の流れを知る。
第3週	国際貨物の受託から発送	直送貨物と混載貨物の輸送経路 貨物代理店規則とIATA混載業者 貨物利用運送事業法と国際貨物混載業を知る
第4週	通関について	税関の役割について学ぶ 保税について学ぶ 蔵置場から航空会社上屋 混載仕立て B/U 通関について学ぶ
第5週	国際貨物と関係法令について	他法令関係を学ぶ 外国為替 貿易管理法 文化財保護法 大麻 覚せい剤取締法 植物防疫法 家畜伝染病予防法 ワシントン条約 etc を学ぶ
第6週	輸出通関の流れ	インボイス パッキングリスト 作成を知る Naccs FWDRの手続き 集荷 梱包 輸出通関について学ぶ 外国為替 貿易取引 Letter of Credit
第7週	国際 郵便の取り扱い	万国郵便連合を知る 郵便物の国際航空輸送 CN38/CN41/CN37 郵便物の保税運送を学ぶ 国際郵便通関交換局 一般貨物と郵便物の違いを学ぶ 書状 郵便はがき 小型包装物 印刷物 小包郵便物 国際スピード郵便物(EMS)
第8週	国際貨物運送状	MAWB HAWB を学ぶ 運送状を作成する 料金体系 IATA TRAFFIC CONFERENCE AREA 貨物運賃を知る
第9週	輸入通関の概略	食品検査の重要性 動物検査 食物検査 を学ぶ
第10週	危険物の受託	保安爆発物検査 国際ルールに係る航空貨物危険物の輸送について知る。 危険物申告書 IATA TI
第11週	後期期末試験フィードバックおよび授業まとめ	前期期末試験問題解説および出題問題を中心とした復習
第12週	企業が求める人材	最終授業テーマ 企業の社会的責任CSR コンプライアンス法令順守 社会常識

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	エアポート課	Wクラス
科目名	就職対策講座		担当講師	吉原 正彦
到達目標 業界の就職先、企業の絞り込みと企業研究を充実させ、求人スケジュールに沿った授業を推進する。 面接対策のフォローアップを行い、志望する企業への内定を勝ち取る。				
使用テキスト 「SUCCESS 勝つための就職ガイド」 「就職ノート」 必要に応じプリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度等を基に評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について説明し理解する 2年生となり、就職活動の気構えについて理解する 最終模擬面接に向けての準備を行う
第2週	受験準備	求人票の見方について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 最終模擬面接に向けての準備を行う
第3週	受験対策 1	就職活動(学校の規則・手続き等)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 最終模擬面接を振り返りを行う
第4週	受験対策 2	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する
第5週	受験対策 3	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する
第6週	受験対策 4	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う
第7週	受験対策 5	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う
第8週	社会人として 1	企業別、雇用体系の違いについて学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う
第9週	社会人として 2	社会人と未成年の違いについて学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う
第10週	社会人として 3	企業組織の役割について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う
第11週	受験対策	2次募集の就職の流れについて説明し理解させる 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う
第12週	まとめ	前期のまとめを行う 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2	年	対象クラス	エアポート科 W クラス
科目名	航空業界筆記試験対策		担当講師	北村 正雄
到達目標 航空各社の採用試験過去問を解くことで学生は本試験の筆記試験に合格できる学力を修得できます。西鉄エアサービス・ORC・南国交通・APS・AGS・JGSK・JGSQ・ORC・グラテックなど航空各社のハンドリングの実際の採用試験過去問題に沿った内容なので無駄なく航空各社の傾向とレベルを知ることができます。週1回の講義で社会・一般常識 英語 時事問題 SPI非言語分野(数学) SPI言語分野(国語 英語)の全てを講義します。最近の航空業界は必ずしもSPI(株リクルート社)を採用してはいません。SPIだけでは最近の航空各社の試験に対応できません。				
使用テキスト なし(JAL系ANA系他航空会社過去の採用試験問題をベースにしていきます)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験＋平常点				

	テーマ	授業内容
第1週	SPI非言語(数学)	ANA福岡空港株式会社 JGS APS AGS JALSKY九州 ORC グラテック 南国交通 SFJ SolaseedAir ANAウングスの採用試験の傾向問題 鶴亀算の歴史(約1400年まえの奈良時代に中国から伝わった)鶴亀算の考え方と連立方程式 つるかめ算が使える条件 n進法(数) 10進数からn進数(又は逆)
第2週	WEB・SPI(数学・非言語)	推論(立方体・サイコロの回転図・展開図 この問題は立方体の面の公式を使用することで短時間に正解に到達 前後・左右に回転した時Aの面の位置) 推論(論理命題 一定の条件が与えられて結論を導く) 計算(分数、小数点の付いた加減乗除 虫食い算・数字の一部が空白・資料の解釈・桁数の大きい数字)
第3週	WEB・SPI(数学・非言語)	損益算(原価・定価・売価・利益率・利益を求める公式) 定価=原価×(1+利益率) 売価=定価×(1-割引率) 利益=定価-売価-原価 追い掛け算・旅人算(列車がある鉄橋に差し掛かってから完全に通過するまでの時間(何秒? 何分?)同時方向～円形の公園を出発した場合に出会う時間と出会う地点問題他)
第4週	SPI非言語(数学)	年齢算の公式 父と子の年齢が?X倍になるのはY年後 ?X倍だったのはY年前 確率probability(少なくとも＝余事象の問題が勝負)必ず1-マイナスから始まる $0 < P < 1$ 確率は航空各社の採用試験で頻出問題 確率は分数で表示
第5週	SCOA玉手箱GAB	加減乗除の四則計算 短時間に多くの問題を正確に解くことにより事務処理能力の適性をみる問題 集合ドモルガンの法則 集合はベン図を正確に書き(カブリ)を理解する 順列(permutation)・組合せ(combination) 順列nの公式 組合せcの公式
第6週	SPI非言語(数学)	推論(推論は現場思考の問題でSPI・SCOA・GABに頻出問題 順位・カード問題・平均算など論理的能力を評価) 食塩水の濃度を求める公式と過去問題(食塩量食塩水の重さ、濃度の異なる食塩水を混ぜたときに出来る食塩水の濃度など)
第7週	WEB・SPI(数学・非言語)	表を使った電車・バスの速度算 速度算追いかけ算の応用問題 表の意味を理解 距離=時速・分速・秒速×時間 時間=距離÷時速・分速・秒速 流水算(静水時の船の速さ)=上りの船の速さ+下りの船の速さ÷2 (流水の速さ)=下りの船の速さ-上りの船の速さ÷2 速さ=距離÷時間
第8週	SPI言語(英語・国語)	JGS・APS・AGS・JALSKY九州・ORC・グラテックの採用試験の出題傾向に沿った問題と過去出題問題 国語は分類・照合(この問題は公務員試験の適性試験問題と同じ)①航空運輸関係英語 欠航 遅延 到着 出発 国語・英語も文章並び替え、文意と異なっているものを選ぶ
第9週	SPI言語(英語・国語)	JGS APS AGS JALSKY九州 ORC グラテック ANAエアサービス福岡 南国交通 SFJ SolaseedAir ANAウングスの採用試験の出題傾向に沿った問題と過去出題問題 ②旅行観光出入国関係英語(出入国 検疫 PNR 往復旅行 搭乗率 貨物 保証金 片道旅行 料金 工事中 立ち入り禁止 など)
第10週	社会・世界史・世界地理	国内航空運送約款の意味 世界各地の特色・空港コード・都市コード 世界四大文明 ルネサンスの三大発明 第一次世界大戦とヨーロッパ 韓国・中国を中心としたアジアの世界遺産、名所・旧跡 世界各国の首都 世界の政治家 国際問題
第11週	社会・理科・政治経済・	三権分立の意味 国会、内閣、裁判所の仕事 憲法改正 選挙制度の種類(小選挙区制・大選挙区制・比例代表制) 選挙権と選挙年齢の移り変わり 18歳が世界の主流(韓国、中国、アメリカ他多数、日本は少数 成年年齢の引き下げ 憲法改正 社会保障と税(直接税・間接税 消費税)環境問題 気象・電気・光の単
第12週	社会総合 数学総合	国際2都市間の時差の計算方法 GTMと子午線 搭乗時間の計算方法(ストップオーバー、トランジットを含めない場合がほとんど) 数列 数字が一定の法則で並んでいる場合、途中抜けた数字を考える(航空各社の採用試験問題)他

夜間総合観光科

夜間総合観光科

学年	科目名	クラス	ページ
1	ホテル業界研究	Z	149
1	ブライダル業界研究	Z	150
1	旅行業界研究	Z	151
1	航空業界研究	Z	152
1	就職対策（LHR）	Z	153
2	コミュニケーションイングリッシュ	Y	154
2	就職対策（LHR）	Y	155
2	面接対策	Y	156
2	レストラン&バンケットサービス	Y	157
2	フロントサービス	Y1	158
2	日本旅館のサービス	Y1	159
2	ブライダルセールス（商品知識）	Y1	160
2	観光地理	Y2	161
2	旅行実務	Y	162
2	空港実務	Y2	163
2	エアラインビジネス	Y2	164

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	1 年		対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス	
科目名	ホテル業界研究			担当講師	松原 栄治	
到達目標						
・ホテルを体系的に理解し、業務として興味と関心を高める。						
・ホテルにおける専門知識とサービス実務を学び就職に活かす能力を高める。						
使 用 テキスト						
ホテル概論						
DVD・プリント・パワーポイントを使用						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
・期末試験80%+平常点(授業態度・出欠・提出物・研究発表)						

	テーマ	授業内容
第1週	接客の基本	・グリーミング、基本動作(お辞儀・笑顔・立ち姿・待機姿勢・案内) ・接客用語と挨拶・言葉遣い ・ホテルで求められるサービスと働く魅力について
第2週	ホテルの基本	・ホテルの歴史・職種・組織紹介 ・ホテルの形態と種類 ・ホテル・旅館紹介(関東～関西)
第3週	ホテル紹介	・ホテル・旅館紹介(関西～九州・沖縄) ・ホテルの形態と種類 ・世界のホテルブランド
第4週	研究発表	・企業研究発表 市内ホテル見学・研究発表を各自で行う
第5週	宿泊知識	・客室の快適性・居住性 ・客室の種類と設備・寝具の基本知識 ・「眠りにこだる」各ホテルの取り組みについて
第6週	料飲実務の基礎知識	・レストランメニュー、レストランの種類 ・レストラン業務の流れと基本
第7週	基本的な業務知識Ⅰ	・フランス料理の基本知識 ・フランス料理の特色、代表的な地方料理 ・メニュー構成
第8週	料飲部 料理知識Ⅱ	・日本料理の基本知識 ・日本料理の種類と歴史 ・献立(メニュー構成)
第9週	料飲部 料理知識Ⅲ	・中華料理の基本知識 ・中華料理の種類と特徴 ・メニュー構成
第10週	料飲部 料理知識Ⅳ	・飲料の基本知識 ・飲料用語・分類・種類
第11週	ホテル情報	・最新ホテル情報Ⅰ ・ホテル業界の現状・サービスをTVプログラム・専門誌で紹介
第12週	まとめ	・最新ホテル情報Ⅱ ・ホテル業界の現状・サービスをTVプログラム・専門誌で紹介 ・前期のまとめ

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年		1年	対象クラス		夜間総合観光科	Zクラス
科目名		ブライダル業界研究		担当講師		松原 栄治
到達目標						
・ブライダルをビジネスとして体系的に理解し、業務として興味と関心を高める。						
・ブライダルにおける専門知識とサービス実務を学び就職に活かす能力を高める。						
使 用 テキスト						
ブライダルビジネス入門						
プリント・DVD						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
・期末試験80%+平常点(授業態度・出欠・提出物・研究発表)						

	テーマ	授業内容
第1週	ブライダルの基本知識Ⅰ	・ブライダルの定義 ・挙式・披露宴の種類と形態
第2週	ブライダルの基本知識Ⅱ	・挙式・披露宴の種類と形態Ⅱ ・宗教によるスタイル ・企業紹介
第3週	ブライダルの基本知識Ⅲ	・ブライダルの定義 ・挙式・披露宴の概要 ・日本におけるブライダルの習慣・しきたり
第4週	ブライダルの基本知識Ⅳ	・結納 ・ブライダル衣裳・ヘッドドレスの種類 ・ファシリティ分析&カウンセリングの重要性を考える
第5週	ブライダル実務Ⅰ	・ブライダル商品アイテムと業務知識 ・業務内容と婚礼サービス流れ
第6週	ブライダル実務Ⅰ	・ブライダルデーター分析 ・2015～2016 人気のホテル・ゲストハウスから見える「成功する結婚式」 ・結婚トレンド調査・ホテル婚礼ラインキング
第7週	ブライダル実務Ⅱ	・婚礼当日のサービス ・会場設営
第8週	ブライダルの現状と課題Ⅰ	・結婚式の移り変わり ・結婚式のスタイルと特性 ・結婚式の二極化を考える
第9週	ブライダルの現状と課題Ⅱ	・ブライダルの市場規模 ・ブライダル市場をめぐる近年の動向 ・人気施設から考える各商品の特徴とトレンド
第10週	研究発表	≪グループワーク≫ ・徹底比較「ホテルvsハウスウェディング」
第11週	研究発表	・課題・製作
第12週	研究発表	・課題のテーマに基づき各グループプレゼンテーション

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1 年	対象クラス	夜間総合観光科	Z クラス
科目名	旅行業界研究		担当講師	松原 栄治
到達目標				
・旅行業界で働く上で求められる基本知識を学び、旅行業務の理解を深める。				
使 用 テキスト				
・旅行業務入門				
・プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・期末試験80%+平常点(授業態度・出欠・提出物・研究発表)				

	テーマ	授業内容
第1週	旅行業界の基本知識Ⅰ	・旅行業とは～旅行会社を利用するメリット～ ・提供するサービスと取り扱う商品と種類 ・MICEとは
第2週	旅行業界の基本知識Ⅱ	・旅行会社の分類・関係機関 ・旅行会社の収入 ・旅行会社紹介
第3週	旅行会社研究Ⅱ	・旅行会社取扱商品とサービス ・HPで各旅行会社の商品を検索(他社商品比較) ・各社パッケージブランド
第4週	研究発表	・課題「旅行会社と商品比較」 各自発表とプレゼンテーション
第5週	観光立国九州Ⅰ	・九州の観光列車 ・九州の観光資源 ・「課題」地元観光促進を考える
第6週	観光立国九州Ⅱ	・「課題」発表 各自発表&プレゼンテーション
第7週	観光立国九州Ⅲ	・明治日本の産業遺産 ・九州の縦断の絶景紹介
第8週	脱旅行	・脱「観光旅行」の紹介～各社の取り組み～ ・新しい旅行の提案 ・「体験」「地域促進」「見学」「ジオパーク」キーワードで探る新しい提案
第9週	AXESS①	AXESS操作の基本知識 必要知識(空港コード/都市コード/航空会社コード/月コード) 予備知識(予約受付・発券期限/国内年齢区分)
第10週	AXESS②	空席照会の入力 基本操作演習
第11週	AXESS③	直行便・乗継便・復路便・接続便・予約取り消し AXESS応用操作
第12週	旅行会社研究	・過去3年間の求人企業紹介 ・JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・H. I. S. JR九州・西鉄旅行など ・ホールセラー・ラウンドオペレーター・新幹線パーサー・鉄道系企業紹介

前期シラバス

2016年度					前期				
対象学年		1 年		対象クラス		夜間総合観光科		Zクラス	
科目名		航空業界研究			担当講師		松原 栄治		
到達目標									
・空港機能を体系的に理解し、様々な業務に対する興味と関心を高める。									
・エアポートビジネスの専門知識とサービスを学び就職に活かす能力を高める。									
使 用 テキスト									
ANAグランドスタッフ入門									
DVD・プリント・パワーポイントを使用									
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。									
・期末試験80%+平常点(授業態度・出欠・提出物・研究発表)									

	テーマ	授業内容
第1週	航空業界の基本	・航空会社の職種紹介 ・航空会社紹介(客室乗務員・グランドスタッフ・グランドハンドリング・ラウンジ等) ・空港勤務の職業紹介
第2週	航空業界の歴史	・日本航空業界の歴史 ・新規航空会社の参入とLCCの台頭 ・コードシェア
第3週	航空業界の歴史Ⅱ 日本の空港の基本知識Ⅰ	・・アライアンスの意義と種類 ・空港の定義と基本的機能
第4週	日本の空港の基本知識Ⅱ	・空港政策 ・空港の種類・数と施設・設備・3レターコード
第5週	旅客業務Ⅰ	～予約から搭乗の流れ～ ・搭乗手続き・航空券の種類と見方 ・出発・到着業務
第6週	旅客業務Ⅱ	・航空運賃・各種料金 ・受託手荷物サービス業務 ・手荷物のルール、手荷物タグ・収納ケース
第7週	旅客業務Ⅲ	・特別旅客サービス ・出入国書類(パスポート・ビザ) ・CIQ(入国管理)の基本知識
第8週	航空業務	・航務(Flight Operation) ・専門用語(オペレーション&ハンドリング関連・航空運賃・旅客サービス等)
第9週	航空業界知識	・航空業界情報(2015～2016) ・データーから見る航空業界 ・エアーステージの活用とホームページの見方
第10週	JAL&ANA 二大FSA	～サービス比較～ ・機内サービス(クラス別サービス比較)、国内外定期便・就航数 ・系列LCCとの比較、各社企業理念
第11週	演習	・グループワーク 課題「空港&航空会社にあったら良いサービス」
第12週	まとめ	まとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	就職対策(LHR)		担当講師	松原 栄治
到達目標 就職活動に向けて意識を高め具体的な行動・準備ができるようになる 就職活動の基本事項の完成を目指す。				
使 用 テキスト 就職ノート・パワーポイント・プリント使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題・提出物で評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	就職活動の心構え	就職活動とは、学生と社会人の違い、なぜ働くのか？(目的・目標・課題) 職業意識の確立と実現に向けて 採用の基準(求めらる人材・適性を考える)
第2週	就職活動の基本	入社試験の内容と流れ IBC夜間部の2年間と就職活動プラン作成 就職活動のルール
第3週	自己分析Ⅰ	動機の因数分解 自分の軸となるモノをつくる 理想のサービスと企業像を考える
第4週	自己分析Ⅱ	～課題作成 発表～ 各自の就職プランと「軸」を発表 基本質問を考える(入学理由・業界・職種に興味をもったきっかけと理由)
第5週	自己分析Ⅲ	1年後の素材集めと自己分析 ・アルバイトからの素材集め ・打ち込んだこと・向上心・成長をテーマに素材集め
第6週	自己PRⅠ	・自己PRの作り方 ・自己PRの様々な質問パターンと回答パターンを考える ・自己PRの作成
第7週	自己PRⅡ	・自己PRのまとめ方(ロング・ショート・ベリショートバージョン) ・他の質問例(長所・短所&改善点、自分を何かに例えと…) ・パーソナルチェック(挫折・困難&克服、ストレス解消法など)
第8週	質問事例Ⅰ	「テーマに基づく質問・回答」Ⅰ ・接客・サービス・おもてなしについての質問 ・感動のサービス、接客で大切なこと、実践しているサービス
第9週	質問事例Ⅱ	「テーマに基づく質問・回答」Ⅱ ・職業感と社会人の意識に関する質問 ・採用するメリットを考える
第10週	キャリアビジョン	キャリアビジョンを考える 入社後の将来設計と具体的な目標設定 入社してやってみたいこと、3年後・5年後・10年後の私
第11週	コミュニケーションスキル	自分の意見・考えをまとめる・伝える練習 即答訓練 1分間スピーチに挑戦！ 時事問題(最近、気になるニュースなど)
第12週	企業研究	働きたい会社を見つけよう！ 企業研究と志望動機(後期に向けて) 前期のまとめ

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	1年		対象クラス	夜間総合観光科		Zクラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			担当講師	Geoffrey Wolfson	
到達目標						
To make the students enjoy using English.						
To improve the students spoken English.						
To improve the students confidence in regards to English						
使 用 テキスト						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						
Class participation and attitude - 50% Oral test - 50%						

	テーマ	授業内容
第1週	Greetings	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 1 Phrases: Hello. / Goodbye. / How are you? / I'm fine, thank you. / etc
第2週	Basic Personal Information 1	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 2 Phrases: What's your name? / How old are you? / etc
第3週	Basic Personal Information 2	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 3 Phrases: What's your favorite subject at school? / Where were you born? / etc
第4週	General Topics 1	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 4 Phrases: What day is today? / What's the date today? / etc
第5週	General Topics 2	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 5 Phrases: What time is it? / What time do you wake up every morning? / etc
第6週	Basic Personal Information 3	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 6 Phrases: Do you like ____? / Can you ____? / etc
第7週	Basic Personal Information 4 + Extra	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 7 Phrases: Which do you prefer, ____ or ____? / How often do you ____? / etc
第8週	Basic Personal Information 5	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 8 Phrases: What do you like? / What does your mother like? / etc
第9週	Basic Personal Information 6	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 9 Phrases: Which do you want? / What do you have to do? / etc
第10週	Basic Personal Information 7 + Requests	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 10 Phrases: What don't you have to do? / Let's _____. / etc
第11週	Oral Test	Verbal Questions and Answers from Phrase List
第12週	Permission 1 + Polite Phrases	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 11 Phrases: May I ____? / What would you like? / etc

前期シラバス

対象学年	2 年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	就職対策(LHR)		担当講師	松原 栄治
到達目標 直前に控えた入社試験を想定して各自の受験企業に応じた対策を行い指導を行い内定を勝ち取る				
使 用 テキスト プリント対応				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題・提出物で評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーリング	2年次就職活動の注意点 最終模擬面接対策(想定質問応答準備)
第2週	受験対策	最終模擬面接振り返りと改善 面接練習
第3週	受験対策	最終模擬面接振り返りと改善 各自入社試験準備 受験企業研究と応募書類作成
第4週	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第5週	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第6週	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第7週	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第8週	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第9週	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第10週	論文対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第11週	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第12週	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成・添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を指示)

前期シラバス

対象学年	2 年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	面接対策		担当講師	松原 栄治
到達目標 直前に控えた入社試験を想定して各自の受験企業に応じた対策を行い内定を勝ち取る				
使 用 テキスト プリント対応				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題・提出物で評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	最終模擬面接対策	最終模擬面接事前練習
第2週	受験対策	最終模擬面接直前練習
第3週	受験対策	各自最終模擬面接課題の掘り起こし 最終模擬面接振り返り 面接・グループディスカッション練習
第4週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第5週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・未受験者は受験予定企業の面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第6週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・未受験者は受験予定企業の面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第7週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・未受験者は受験予定企業の面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第8週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・未受験者は受験予定企業の面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第9週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・未受験者は受験予定企業の面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第10週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・未受験者は受験予定企業の面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第11週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・未受験者は受験予定企業の面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)
第12週	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・未受験者は受験予定企業の面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究(課題を指示)

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y1クラス
科目名	レストラン＆バンケットサービス		担当講師	長野 美穂
到達目標				
・ホテルにおける宴会業務の役割を理解する				
・婚礼をはじめ、宴会でのサービス技術を身に付ける				
使 用 テキスト				
・テキスト無し。プリント適宜使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・期末実技試験80% 平常点20% の合計で評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	レストランの復習	・レストランの種類・特徴 ・トレーサービス復習
第2週	レストランの値段	・原価率のお話 ・モノの値段の決め方 ・サーバー復習(ブラッターサービス)
第3週	日本料理のサービス	・調理道具の話 ・畳での立ち居振る舞い
第4週	宴会という仕事	・必須知識(六輝、日本の行事12カ月) ・立食パーティーのセッティングとサービスとマナー
第5週	ブライダル①	・婚礼の流れ ・挙式の種類 ・チューリンサービス
第6週	ブライダル②	・結婚にまつわる欧米の文化・習慣 ・宗教の話 ・ワインサービス
第7週	ブライダル③	・披露宴の演出 ・ノンアルコールカクテル
第8週	テーブルコーディネート	・チームに分かれてテーマを決める ・材料集め
第9週	テーブルコーディネート②	・チームに分かれて実際にコーディネート ・作品発表
第10週	期末試験にむけて	・期末試験課題発表、練習 ・実技の苦手を個別に克服
第11週	期末試験にむけて	・個別に練習
第12週	期末試験	・期末試験フィードバック ・1年間の復習・まとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y1 クラス
科目名	フロントサービス		担当講師	中牟田 登喜枝
到達目標				
1 FO業務についての基本的知識を学ぶと共にホテル全体の流れを理解する				
2 部内における担当業務を覚える				
3 現場で即戦力になるべくロールプレイングも取り込む				
使 用 テキスト				
[宿泊業務の基礎] 日本ホテル教育センター				
宿泊実習室備品 プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点＋期末試験＝100点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業内容、評価方法、期末試験について ベットメイキング① その他
第2週	ベットメイキング	ベットメイキング②
第3週	オフィスの業務	組織体系と呼称を覚えましょう 予約～オペレーターの業務内容の復習 インターネット予約～知っておきたいサイト名～
第4週	リザベーション業務 I	宿泊受付け業務 ① 予約の手段とツール ～個人と団体～ ② 予約の種類
第5週	リザベーション業務 II	宿泊受付け業務 ① 電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③ リザベーションカードの作成 ④キャンセルチャージ
第6週	レセプション業務 I	宿泊受付け業務 ①インターネット予約業務 ②その他業務について
第7週	レセプション業務 II	ルーミング ①個人予約 ②団体予約 プレアサインメント インフォメーションについて
第8週	レセプション業務 III	チェックインの手順 レジストレーションカードの記入方法 その他
第9週	レセプション業務 III	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応 レートチェンジとルームチェンジの処理手順
第10週	キャッシャー業務 I	チェックアウトの手順 ナイトクラークの仕事内容について
第11週	キャッシャー業務 II	外貨両替について その他
第12週	前期のまとめ	まとめ 関連用語の復習

前期シラバス

2016年度		前期		
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y1 クラス
科目名	日本旅館のサービス		担当講師	長野 美穂
到達目標 日本旅館は実はとても新しくて面白い所です。まずは和の世界に興味を持ってもらい、旅館や和食レストランに必要なサービス知識を楽しく学んでいきたいと思います。和作法をしっかり身につけた渋い若者になってください。				
使 用 テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト100%				

	テーマ	授業内容
第1週	はじめに	自己紹介＆授業内容 はじめまして
第2週	日本旅館概要	旅館で働く人々 ホテルと旅館の違いってなに？
第3週	立居振舞	和室のルール 右と左について。湯茶のサービス方法。
第4週	言葉遣い	NGワード 「ご飯を盛る」とは言いません
第5週	会席料理①	「かいせき」料理とは コースの流れとサービスのポイント
第6週	会席料理②	かいせき料理まとめ ◎このマークが関係あります。
第7週	飲料のサービス①	セッティング＆お箸について お箸の歴史とマナー
第8週	飲料のサービス②	アルコールのサービス ビール・日本酒・焼酎を美味しく提供するために
第9週	食材研究	覚えておきたい基本食材 鶏・牛・豚
第10週	食材研究②	日本三大珍味 日本人大好き魚卵食品
第11週	料理以外のサービス	和の演出 和室のお手入れ・掛け軸に隠された意味
第12週	まとめ	まとめ＆復習 期末テスト振り返り

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y1クラス
科目名	ブライダルセールス(商品知識)		担当講師	船藏 大志
到達目標				
・結婚式における業界知識(ブライダル業界の仕組み)の習得。 ・結婚式をプランニングする際の、具体的な手順・オペレーションの理解。 ・多項的でトレンド転換の早いブライダル業界の、商品知識(商品紹介)の習得。 ・セミオーダー式のウェディングプランニングを実践。				
使 用 テキスト				
・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点20点 + 提出物評価20点 + 期末テスト60点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・2015年度後期授業内容(ブライダルセールス)の復習を行います。 ・2016年度前期今授業の授業内容説明を行います。 ・お客様とのお打ち合わせ内容をまとめる「請け書」について解説します。
第2週	販売・見積もり	・お客様が結婚式場を決め、会場を決めることを「成約(せいやく)」といいます。 ・成約にいたるまでのプロセスについての確認と会場案内についてのロールプレイングを行います。 ・会場ごとの特徴や、お客様のニーズを理解し、成約に繋げる方法を解説します。
第3週	招待状・席次表	・成約後のお客様にまずしていただくことが、「招待客のリストアップ」です。 ・「招待状」についての知識・発送に至るまでの流れや、間違えやすい漢字を確認します。 ・招待者の配席についての知識や、「席次表」の作り方を習得します。
第4週	衣裳・ヘアメイク	・大変な結婚式の準備の中で、お客様が楽しみにしているお打ち合わせの一つが「衣裳」です。 ・衣裳や小物の種類、当日着ることのできる着数について解説します。 ・衣裳に合わせたヘアメイクの流れ解説、お打ち合わせ手順について解説します。
第5週	婚礼料理	・新郎新婦が招待客をもてなす「婚礼料理」の流れについて解説します。 ・アレルギーの種類や対応、また日本では珍しいベジタリアン(菜食主義)について解説します。 ・また、テーブルコーディネートについても解説・実践します。
第6週	司会	・結婚式を演出・進行する「司会者(MC)」についての知識です。 ・司会者の業務内容やオペレーションについて解説します。 ・司会者がどんなことを喋るのか、実践します。
第7週	音響	・結婚式を演出する上で欠かせないのが「音楽・音響(PA)」です。 ・挙式や披露宴の際使用する進行表(当日の流れ)に沿って、選曲を行います。 ・また、当日の具体的なオペレーションについて解説・実践します。
第8週	フラワーアイテム	・会場を華やかに演出する「フラワーアイテム」について解説します。 ・ブーケ・ブートニアの歴史や種類の解説します。 ・会場装花や花材について解説します。
第9週	ウェディングアイテム	・新郎新婦の感性やテーマに沿った様々な「ウェディングアイテム」について紹介します。 ・お客様の席に用意する「引き出物」について、どんなものがあるか解説します。 ・その他、演出に使用する代表的なアイテムについて解説します。
第10週	写真・映像商品	・挙式・披露宴当日に上映するVTRや、写真・動画といった記録撮影について解説します。 ・VTRについての商品知識や、持ち込みVTR上映に至るまでの流れや注意点を確認します。 ・記録撮影の商品知識や納品までの流れを解説します。
第11週	前期テストの解説	・2016年度前期テストの回答・解説を行います。 ・今授業を通して学習した内容をもとに、テーマを決めプランニングを行います。 ・請け書への記入を通して、オペレーションの具体的な流れを学習します。
第12週	プランニング発表	・今授業を通して学習した内容をもとに、テーマを決めプランニングを行います。 ・プランニングした内容を発表します。 ・今授業の復習を行います。

2016年度 前期				
対象学年	2 年	対象クラス	夜間総合観光科	Y2 クラス
科目名	観光地理		担当講師	金森 和彦
到達目標				
海外・日本の空港情報、文化風習について学ぶ				
使 用 テキスト プリント対応				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点 20%				
・期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	欧州残り	海外の文化風習・空港について
第2週	アフリカその他	海外の文化風習・空港について
第3週	関東周辺	関東の空港・主な観光資源について説明 他の地域との文化風習の違いについて
第4週	関東周辺	関東の空港・主な観光資源について説明 他の地域との文化風習の違いについて
第5週	関西周辺	関西の空港・主な観光資源について説明 他の地域との文化風習の違いについて
第6週	関西周辺	関西の空港・主な観光資源について説明 他の地域との文化風習の違いについて
第7週	北海道・東北	北海道・東北の空港・主な観光資源について説明 他の地域との文化風習の違いについて
第8週	北海道・東北	北海道・東北の空港・主な観光資源について説明 他の地域との文化風習の違いについて
第9週	九州	九州の空港・主な観光資源について説明 他の地域との文化風習の違いについて
第10週	九州	九州の空港・主な観光資源について説明 他の地域との文化風習の違いについて
第11週	試験対策	試験対策 期末の出題範囲
第12週	日本まとめ	まとめ

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y2クラス
科目名	旅行実務		担当講師	草野 智子
到達目標				
・地域別、予約時の注意点や、よくある質問、空港からの距離、主なホテル・観光地について学ぶ。(国内・海外)				
・JR時刻表を使って、旅行の行程がひけるようになる。(JR時刻表・応用編)				
・AXESS(JAL端末)の基本知識を習得する。				
・旅行手配の基本知識を学ぶ。(取消料、チェックイン～チェックアウトまでの流れ、専門用語、査証など)				
使用テキスト				
・指定するパンフレット ・JR時刻表				
・プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験80%、小テスト20パーセント				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーションと1年生の復習をしよう。	・オリエンテーション 授業の進め方、授業内容について案内。 ・1年生の復習。(取消料・JR時刻表の引き方・旅行予約時の聴取事項について・専門用語) ・海外旅行に必要な英単語(入国診査など)を学ぶ。
第2週	地域別の知識①と時刻表問題①	・予約時の注意点、よくある質問、空港からの距離、主なホテル・観光地・通貨について。 (九州・アジア方面) ・JR時刻表問題①
第3週	地域別の知識②と時刻表問題②	・予約時の注意点、よくある質問、空港からの距離、主なホテル・観光地・通貨について。 (関西・アジア方面) ・JR時刻表問題②
第4週	地域別知識③、旅行プランニングとは	・予約時の注意点、よくある質問、空港からの距離、主なホテル・観光地・通貨について。 (アメリカ方面)・ESTAについて ・旅行プランニング(JR時刻表でプランニングをしてみよう)
第5週	地域別知識④、旅行プランニングの続き	・予約時の注意点、よくある質問、空港からの距離、主なホテル・観光地・通貨について。 (リゾート方面)・ETAS(オーストラリア)について ・旅行プランニング、前回の続き。(JR時刻表でプランニングをしてみよう)
第6週	地域別知識⑤、航空基本知識	・予約時の注意点、よくある質問、空港からの距離、主なホテル・観光地・通貨について。 (その他方面) ・航空基本知識(マイルージ、国内と国際の予約年齢区分、航空券の種類、2・3レター復習)
第7週	地域別知識⑥、海外旅行基本知識	・予約時の注意点、よくある質問、空港からの距離、主なホテル・観光地・通貨について。 (その他方面) ・海外旅行基本知識(通貨・電圧・時差・空港での流れ・服装・気候等)
第8週	AXESSとは？①、カウンター販売の対応姿勢	・AXESSとは。(概要案内) ・旅行カウンターでのマナーを学ぶ。(言葉使い・お辞儀・パンフレットの指さし方法等)
第9週	AXESS②、ワーキングホリデーについて	・AXESSでの練習問題を解いてみよう。(座学でできる範囲) ・ワーキングホリデーについて
第10週	期末テスト対策、AXESS③	・練習問題をといてみよう。 ・AXESSの続き
第11週	期末テスト解説、旅行商品の詳細	・期末テストの復習をしよう。 ・旅行商品(パッケージ)のコミッションや、団体手配の内訳などを学ぼう。
第12週	まとめ	・旅行業界について

前期シラバス

2016年度 前期				
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y2クラス
科目名	空港実務	担当講師	原田 歩	
到達目標				
1. 海外の空港や航空会社について学び、国際線における基礎知識を習得する				
2. 国際線におけるお客様の流れを理解する				
3. 障害のあるお客様が不自由に感じていることを体験し、対応できるようになる				
使 用 テキスト				
『ANAグランドスタッフ入門』 イカロス出版				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト80% 平常点(実技含む)20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 海外の空港	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・地域ごとの空港を知る ・空港の3レターを覚える
第2週	海外の航空会社	・海外の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・航空会社の2レターを覚える
第3週	国際線旅客運送①	・パスポートについて学ぶ ・ビザについて学ぶ ・出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ
第4週	国際線旅客運送②	・CIQの役割を理解する ・国際線における手続きを学ぶ ・国際線におけるお客様の流れを学ぶ
第5週	国際線旅客運送③	・国際線における手荷物のルールを学ぶ ・国際線の機内サービスを学ぶ ・危険物について復習する
第6週	アライアンス	・世界のアライアンスを知る ・各アライアンスの加盟航空会社を学ぶ ・アライアンス加盟によるメリットを理解する
第7週	保安	・アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ ・全日空機ハイジャック事件について学ぶ ・安全に対しより一層理解を深める
第8週	肢体障害者へのサービス①	・車椅子の基本操作を学ぶ ・自走する ・乗る側を体験し気付きを共有する
第9週	肢体障害者へのサービス②	・車椅子を利用する方を知る ・体験をもとにご案内時に注意することを学ぶ ・空港内を想定しご案内する
第10週	視覚障害者へのサービス	・視覚障害者を知る ・視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・視覚に障害がある方への接客を学ぶ
第11週	聴覚障害者へのサービス	・聴覚障害者を知る ・聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・聴覚に障害がある方への接客を学ぶ
第12週	まとめ	・前期の復習・補足

前期シラバス

2016年度					前期	
対象学年	2 年		対象クラス	夜間総合観光科	Y2	クラス
科目名	エアラインビジネス			担当講師	瀧内 洋	
到達目標						
航空業界とはどんな業界かを理解する。 次に、業界にはどんな仕事があり、その仕事をどんな会社が行っているかを理解する。						
使 用 テキスト						
特になし。必要に応じプリントを使用、基本は板書。						
成績評価方法						
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト80%、平常点(小テスト等)20% なお、理解を深めるため、適宜小テストを実施する。						

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介 (志望先、授業に望むこと等) シラバスと授業の目的説明
第2週	航空業界の基礎知識1	航空業界とはどのような業界かを学ぶ 運輸業界の中で航空業界を位置づける
第3週	航空業界の基礎知識2	航空業界を構成する事業分野を理解する 最初は空港とは何かである
第4週	航空業界の基礎知識3	日本の空港の現状 空港民営化の動き
第5週	航空業界の基礎知識4	航空会社の事業とは何か 本邦航空会社と外国航空会社
第6週	航空業界の現状1	大手航空会社の現状 JALとANAの説明 アライアンスとコードシェア
第7週	航空業界の現状2	新規航空会社とLCC 業界の課題と今後の方向性
第8週	空港業務の概要1	旅客業務1(出発旅客取扱)
第9週	空港業務の概要2	旅客業務2(到着旅客取扱、トラブルシューティング)
第10週	空港業務の概要3	航務業務、ステーションコーディネーション
第11週	到達度評価	期末テスト総括評価
第12週	空港業務の概要4、まとめ	航空会社以外の空港の職場の概要 まとめ(後期へのつながり)

